



取扱説明書

MOBILE MEDIA STATION

IVA-D800J



DIVX

dtc
2.0+Digital Out

DOLBY
DIGITAL

DVD
VIDEO/AUDIO

安全にお使いいただくために

基本操作

ラジオ

CD/MP3/WMA/AAC 操作

DVD/ ビデオ CD 操作

iPod/iPhone 操作

USB メモリ / ポータブルオーディオ
プレーヤー / チェンジャー操作

便利な機能

SETUP (セットアップ)

オプション

サブディスプレイ表示について

取り付けと接続

その他

安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12V マイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



車体に穴をあける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障または聴力障害の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

ディスク挿入口や可動ディスプレイのすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。また、リモコンスターター、カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

製品のお手入れ

お手入れは乾いた布か強く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくくと正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがあります。プレーヤーには影響ありません。車のサスペンションを通常より硬めにしていたり、サスペンションが壊れている場合は、音飛びする頻度が高くなります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは必ずアルパイン専用の「KAE-125C」（別売）を使用してください。「KAE-125C」以外のレンズクリーナーを使用すると、レンズの破損や故障の原因となります。

モニターのお手入れ

- モニターが汚れたら柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってからふきとってください。
- 「水」や「水で薄めた中性洗剤」は直接モニターにかけないでください。液体が内部に入り「シミ」や「故障」の原因になります。
- モニター表面は傷つきやすいため、硬いものでふいたり、こすったりしないでください。
- ベンジン、アルコール、シンナーは使用しないでください。変色、変質の原因になります。



安全にお使いいただくために

取り扱い上のご注意（ディスク）

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

ディスクのお手入れ

柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

新品のバリに注意

ディスクの側面やセンターホール面にバリ（突起）があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

本機で再生できるディスクについて

再生できるディスク

本機では次のディスクが再生できます。

	マーク（ロゴ）	記録内容	ディスクの大きさ
DVD ビデオ		音声 + 映像 (動画)	12cm*
			8cm
DVD オーディオ		音声 + 映像 (動画)	12cm*
			8cm
ビデオ CD		音声 + 映像 (動画)	12cm
			8cm
音楽 CD**		音声	12cm
			8cm (CD シングル)
DivX®		音声 + 映像 (動画)	12cm
			8cm

* DVD 二層ディスクに対応しています。

** ディスクレーベル面に「CD ロゴ」上記マークの入ったものなど JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。CD-R/CD-RW を含む。

再生可能フォーマット一覧

	CD-R/CD-RW	DVD-R/DVD-RW	DVD+R/DVD+RW
CD フォーマット	○	-	-
MP3 フォーマット ("mp3")	○	○	○
WMA フォーマット ("wma")	○	○	○
AAC フォーマット ("aac", "m4a")	○	○	○
DVD ビデオ フォーマット	-	○	○
DVD-VR フォーマット	-	○	-
DivX フォーマット ("avi", "divx")	○	○	○
ビデオ CD フォーマット	○	-	-

・ ファイナライズ処理されていないディスクは再生されません。

再生できないディスク

DVD-ROM、DVD-RAM、CD-ROM (MP3/WMA/AAC ファイルを除く)、フォト CD など。
CD 規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質の保証は致しかねます。

また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用の CD-R (CD-Recordable)/CD-RW (CD-ReWritable)、MP3/WMA/AAC ファイル形式の CD-R/CD-RW の再生が可能です。

次のようなディスクは、再生できないことがあります。
指紋やキズが付いている／車内や製品内に長時間放置した／データ書き込み状態が不安定／データ書き込みに失敗し再録音した場合など。

MP3/WMA/AAC ファイルは本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは 108 ページを参照ください。

コンパクトディスク（CD/CD-R/CD-RW）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない／直射日光下に置かない／ラベルを貼らない／ホコリやごみが付いたら拭きとる／バリが無いことを確認する／市販のアクセサリを使わない。

特に CD-R/CD-RW は以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

CD-R/CD-RW をご使用のお客様へ

- ・ CD-R/CD-RW が再生できない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っているかどうか、確認してください。
- ・ 行われていない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、お試しください。

DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW ディスクのご使用について

- ・本機は、DVD-Video モード、DVD-VR モード(DVD-R/DVD-RW のみ) で記録されたディスクに対応しております。
- ・ファイナライズ処理(再生専用 DVD プレーヤーで再生可能にするための処理) がされていないディスクは再生できませんのでご注意ください。
- ・ディスクの書き込みに使用した機器の仕様によっては再生できない場合があります。(本機には違法コピー検出機能を有しております。違法コピーを検出した際は再生を行いません。正しい方式で記録されない PC ソフトで記録した場合、本機では違法コピーと検出する場合があります)
- ・録画に使用した DVD レコーダや DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW ディスクの特性、傷、汚れ、または DVD プレーヤーのピックアップレンズの汚れ、結露などにより再生できない場合があります。
- ・DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW ディスクの取り扱いにあたっては、ディスクの使用上の注意を必ずお守りください。
- ・DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW ディスクのレーベル面や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- ・DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW ディスクは通常の DVD に比べ高温多湿環境や直射日光に弱く、一部のディスクや長時間車室内に放置したディスクは再生できない場合があります。
- ・ディスク本体の再生可能を温度範囲は次の通りです。
DVD-R/DVD-RW: -25 ~ +70℃
DVD-R/DVD-RW: +5 ~ +55℃

DVD リージョン番号(再生可能な地域番号)について

この DVD ヘッドユニットのリージョン番号は 2 です。DVD ビデオディスクに表示されている地域番号が下記のようなリージョン番号  を含んでいないまたは、 が表示されていないディスクは再生できません。なお、リージョン番号の設定を変更することはできません。



ビデオ CD について

本機は、プレイバックコントロール(PBC) 付き対応ビデオ CD (バージョン 2.0) に対応しています。PBC とはディスクに記録されているメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を対話形式で楽しむことができますを言います。

ディスクに関する用語について

タイトル

DVD ビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

USB 端子についてのご注意

- ・本機 USB 端子は、iPod/iPhone、USB メモリ、ポータブルオーディオプレーヤーのみ接続することができます。その他の USB 対応製品は動作保証対象外となります。
- ・USB 端子をご使用になるときは、必ず本機付属の USB ケーブルのみご使用ください。USB ハブには対応していません。
- ・接続する USB メモリによっては、動作しない場合があります。また、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- ・本機で再生できる音楽ファイル形式は、MP3/WMA/AAC です。
- ・アーティスト名、曲名などの表示を行うことができますが、文字を正確に表示できない場合があります。



注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

USB メモリについてのご注意

- ・本機は USB Mass Storage Class 対応の USB メモリを操作できます。再生できる音楽ファイル形式は、MP3/WMA/AAC です。
- ・USB メモリの動作保証はしていません。ご使用の際には、USB メモリの使用条件内でのご利用をお願いいたします。USB メモリの取扱説明書もよくお読みください。
- ・USB メモリは運転に支障をきたさない場所に固定してください。
- ・USB メモリは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- ・USB メモリは、USB メモリ規格に準拠したメモリをご使用ください。ただし、規格に準拠した USB メモリを使用しても、USB メモリの種類や状態により正常に動作できない場合があります。
- ・USB メモリの種類や記録状態、エンコードソフトの設定によっては再生や表示ができない場合があります。
- ・コピープロテクト(著作権保護)されたファイルは再生できません。
- ・USB メモリは、再生が始まるまで時間がかかる場合があります。特にオーディオデータ以外のファイルが USB メモリにある場合、再生するまでの時間やサーチ動作が著しく遅くなる場合があります。
- ・本機で再生可能なファイルの拡張子は“mp3” “wma” “m4a” です。
- ・オーディオデータ以外のファイルに上記の拡張子をつけないでください。本機がオーディオデータと誤認識してしまい、大きな音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。
- ・大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをお勧めします。



安全にお使いいただくために

MP3/WMA/AAC のご注意 (USB メモリ)

- ・本機で再生できる MP3/WMA/AAC は、本機対応のフォーマットで記録されたデータのみです。詳しくは、「MP3/WMA/AAC について」(108 ページ)を参照してください。
- ・DRM (著作権管理 Digital Rights Management) システムの WMA ファイル、iTunes Music Store で購入した DMR フリーでない AAC ファイル、コピープロテクト (著作権保護) されたファイルは、本機では再生できません。
- ・作成したライティングソフト / 変換ソフトによっては再生できない場合があります。
- ・AAC ファイルを作成したソフトによってはファイル形式と拡張子が異なります。本機では、iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルのみの再生に対応しています。

ポータブルオーディオプレーヤーについてのご注意

- ・本機は USB インターフェースつきのポータブルオーディオプレーヤーを操作できます。再生できる音楽ファイル形式は、MP3/WMA です。
- ・ポータブルオーディオプレーヤーの動作保証はしておりません。ご使用の際には、ポータブルオーディオプレーヤーの使用条件内のご利用をお願いいたします。また、ポータブルオーディオプレーヤーの取扱説明書もよくお読みください。
- ・また、以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
高温になった車内や炎天下など気温の高い場所 / 直射日光のあたる場所 / 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ・ポータブルオーディオプレーヤーは運転に支障をきたさない場所に固定してください。
- ・ポータブルオーディオプレーヤーは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- ・ポータブルオーディオプレーヤーの種類や記録状態、エンコードソフトの設定によっては再生や表示ができない場合があります。
- ・MSC/MTP 設定が切り換えられるポータブルオーディオプレーヤーでは、MTP に設定してください。
- ・USB Mass Storage でデータが記録されているポータブルオーディオプレーヤーは、本機で再生できない場合があります。
- ・ポータブルオーディオプレーヤー本体の設定により、Mass Storage として動作する場合があります。設定についてはプレーヤーの説明書を参照してください。
- ・大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをお勧めします。

MP3/WMA のご注意 (ポータブルオーディオプレーヤー)

- ・本機では Windows Media Player Ver.10、11 で同期してプレーヤーに転送した MP3/WMA ファイルを再生することができます。再生可能なファイルの拡張子は "mp3" "wma" です。
- ・Windows Media Player で同期せずに他の方法でデータを転送した場合は、正常に再生できない場合があります。
- ・本機で再生できる MP3/WMA は、本機対応のフォーマットで記録されたデータのみです。詳しくは、「MP3/WMA/AAC について」(108 ページ)を参照してください。
- ・コピープロテクト (著作権保護) されたファイルは、本機では再生できません。
- ・本機は WMDRM10 に対応しています。

iPod/iPhone についてのご注意

- ・iPod/iPhone の機能については、iPod/iPhone ユーザーズガイドを参照してください。
- ・iPod/iPhone を車内に放置しないでください。高温多湿の環境に弱いため、故障の原因になります。
- ・本製品は iPod/iPhone のビデオ再生機能には対応しておりません。
- ・本機で対応している iPod は次の通りです。
これ以前のバージョンの動作保証及び性能保証は致しかねます。
iPod touch (2nd generation) : Ver.3.0
iPod nano (4th generation) : Ver.1.0.2
iPod classic (120 GB only) : Ver.2.0.1
iPod touch (1st generation) : Ver.3.0
iPod nano (3rd generation) : Ver.1.1.3 PC
iPod classic (80,160 GB only) : Ver.1.1.2 PC
iPod nano (2nd generation) : Ver.1.1.3
iPod with video : Ver.1.3
iPod nano (1st generation) : Ver.1.3.1
- ・本機で対応している iPhone は次の通りです。
これ以前のバージョンの動作保証及び性能保証は致しかねます。
iPhone 3GS : Ver. 3.1
iPhone 3G : Ver. 3.0
- ・ご使用の iPod 製品名を確認するには、アップルのホームページをご覧ください。

目次

⚠ 安全にお使いいただくために

警告	2
注意	3
目次	7

基本操作

本体キーの名称	9
リセットする	9
電源の ON/OFF	10
モニター（メインディスプレイ）を立ち上げる／収納する	10
モニター（メインディスプレイ）をフラットにする	11
基本画面の見方とタッチスイッチ操作について	11
ソースの呼び出し	11
タッチスイッチの操作について	12
ショートカット画面	12
10 キー入力画面表示	13
USB ケーブルを接続する	13
iPod/iPhone を接続する	13
iPod/iPhone を接続する	13
iPod/iPhone を外す	14
USB メモリを接続する	14
USB メモリを外す	14
ポータブルオーディオプレーヤーを接続する	14
ポータブルオーディオプレーヤーを外す	14
時計を調整する (Clock Adjust)	15
音量を調整する	15
一時的に音量を下げる (ミュート)	15
解除するには	15

ラジオ

画面の見かた	16
ラジオを聞く	16
記憶させた放送局を選ぶ	16
放送局を記憶させる	16
手動で記憶させる	16
自動で記憶させる (Auto Memory)	17
道路交通情報を受信する TRF	
(トラフィックインフォメーション)	17

CD/MP3/WMA/AAC 操作

CD 操作	18
CD (ディスク) を聴く	18
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	18
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	19
MP3/WMA/AAC 操作	20
MP3/WMA/AAC を聴く	20
フォルダを選択する	20
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	20
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	21

DVD / ビデオ CD 操作

画面の見かた	22
DVD / ビデオ CD を再生する	22
メニュー画面が表示されたら	23
トップメニュー画面を表示する	24
メニュー画面を表示する	24
メニュー操作モード画面を表示する	24
プログラムリストの表示	24
プレイリストのリスト表示	25

再生中止 (Pre Stop)	25
再生停止	25
早送り／早戻し	25
チャプター／トラック／ファイルの頭出し	25
静止 (一時停止) する	26
コマ送り／戻し再生	26
スローモーション再生	26
ページ送り／戻し	26
タイトル／グループ／プログラム／プレイリスト／ フォルダ番号で頭出し	27
チャプター／トラック／ファイル番号で直接頭出し	27
リピート再生	27
音声言語切りかえ	28
多重音声が記録されている	29
アングル切りかえ	29
サブタイトル (字幕言語) 切りかえ	29

iPod/iPhone 操作

画面の見かた	30
聴きたい曲 (ファイル) を選ぶ	30
早送り／早戻しをする	30
一時停止する	30
曲順を変えて聴く Shuffle (M.I.X.)	30
解除するには	31
曲順を変えて聴く Shuffle All (M.I.X. All)	31
解除するには	31
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	31
解除するには	31
聴きたい曲／タイトルを探す	31
見たい映像を探す	33
ダイレクトサーチ / アルファベットスキップ機能	33
サーチポジションメモリー	34
ダイレクト UP/DOWN 機能	34

USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー / チェンジャー操作

BANK 機能 (USB メモリ)	35
聴きたい曲 (ファイル) を選ぶ	35
早送り／早戻しをする (USB メモリ / チェンジャー)	35
一時停止する	35
聴きたいディスクを選ぶ (チェンジャー)	35
6 連奏チェンジャー	35
12 連奏チェンジャー	36
聴きたいフォルダを選ぶ	36
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	36
解除するには	36
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	36
解除するには	37
アーティスト / アルバムのプレイリスト作成 (USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー)	37
聴きたい曲／タイトルを探す (USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー)	37
サーチポジションメモリー	38
ダイレクト UP/DOWN 機能	38
ダイレクトサーチ / アルファベットスキップ機能	38

便利な機能

サーチ機能	39
リアエンター機能	39
表示モードを切りかえる	40
音声はそのまま映像ソースのみを切りかえる (サイマル機能)	40
バックライトを OFF にする (BLACK OUT 機能)	41

SETUP (セットアップ)

画面の見かた	42
セットアップ (SETUP) する	42
Audio Setup (サウンド調整) 項目一覧	42
調整内容の記憶と呼び出し	46
Source Setup 項目一覧	46
DVD Setup (DVD セットアップ)	46
Radio Setup (Radio セットアップ)	51
Display Setup 項目一覧	51
General Setup 項目一覧	54
System Setup 項目一覧	55

外部オーディオプロセッサの操作 (オプション)

外部オーディオプロセッサについて	59
PXA-H800 について	59
ドルビーサラウンドの調整手順	59
外部オーディオプロセッサを設定する	59
サウンド調整項目一覧 (外部オーディオプロセッサ)	60
MX モードの設定	60
Bass Sound コントロールの設定	60
PRO LOGIC II を使う	61
X-Over (フィルタータイプ) の調整	61
タイムコレクション (Time Correction) の設定	62
位相切りかえ (Phase)	62
グラフィック EQ の調整 (G-EQ)	62
パラメトリック EQ の調整 (P-EQ)	63
スピーカーの設定をする	63
ドルビーデジタルを設定する	63
スピーカーセットアップ	65
DVD レベルを調整する	65
リニア PCM の設定	65
調整内容の記憶と呼び出し	65

IMPRINT (オプション)

IMPRINT 操作	66
MultEQ の ON/OFF	66
サウンド調整 (マニュアルモード)	66
サウンド調整項目一覧 (IMPRINT)	67
MX モードの設定	67
イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ (F-EQ)	67
パラメトリック EQ の調整 (P-EQ)	67
グラフィック EQ の調整 (G-EQ)	68
タイムコレクション調整単位の設定 (T.Corr Parameter)	68
タイムコレクション (Time Correction) の設定	68
X-Over (フィルタータイプ) の調整	69
ツィーター設定 (TW Setup)	69
調整内容の記憶と呼び出し	70
タイムコレクション (時間補正) について	71
X-Over について	73
周波数帯域と音質について	75

BLUETOOTH (オプション)

BLUETOOTH 操作	76
ハンズフリー電話 / オーディオ機器を登録する (ペアリング)	76
BLUETOOTH Setup (セットアップ)	77
BLUETOOTH Setup 操作	77
BLUETOOTH Setup 項目一覧	77
ハンズフリー電話	79
ハンズフリー電話について	79
ディスプレイ表示について	79
画面の見かた	79
電話を受ける	79
電話をかける	80
電話を切る	80
リダイヤル機能	81
受話音量の調整	81
音声を切りかえる	81
ボイスダイヤル操作	81
BLUETOOTH オーディオ操作	81
再生する	82
聴きたい曲を選ぶ	82
一時停止	82

ナビゲーション画面に切りかえる (オプション)

ナビゲーション画面に切りかえる (オプション)	83
-------------------------	----

AUX (外部入力) 操作 (オプション)

AUX (外部入力) 操作 (オプション)	84
-----------------------	----

リアカメラの操作 (オプション)

リアカメラの操作 (オプション)	85
リアカメラの映像	85

地上デジタルテレビの操作 (オプション)

地上デジタルテレビの操作 (オプション)	86
----------------------	----

サブディスプレイ表示について

サブディスプレイ表示について	87
----------------	----

取り付けと接続

取り付けと接続	89
---------	----

その他

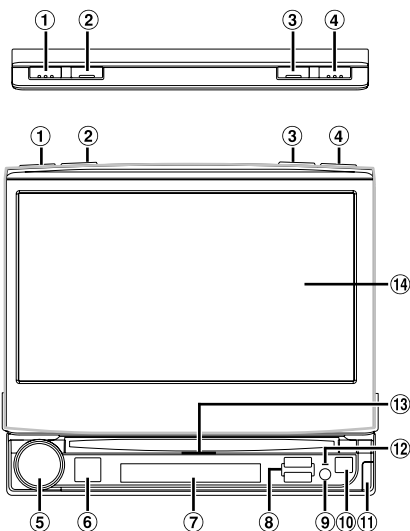
故障かな? と思ったら	99
規格	102
保証について	103
お問い合わせ窓口	104
用語解説	105
言語コード表	106
DVD について	107
DivX について	107
MP3/WMA/AAC について	108
索引	109

お知らせ

- 走行中は、安全のため一部の操作 (セットアップなど) ができません。
“走行中は安全のため操作できません” とメッセージが表示されたら、安全な場所に車を停止させてから操作を行ってください。



本体キーの名称



1 BAND/TRF ボタン

ラジオ：バンドを切りかえます。
映像ソース（ナビ画面以外）：表示モード切りかえます。
2秒以上押しで、TRF ON/OFF を切りかえます。（「道路交通情報を受信する TRF（トラフィックインフォメーション）」17 ページ参照）

2 VISUAL ボタン

モニター（メインディスプレイ）OPEN 時：VISUAL 選択画面を呼び出す。
モニター（メインディスプレイ）CLOSE 時：サブディスプレイ表示を切りかえます。

3 FLAT ボタン

立ち上げたモニター（メインディスプレイ）をフラット（水平）にする。「モニター（メインディスプレイ）をフラットにする」（11 ページ参照）

4 OPEN/CLOSE ボタン

モニター（メインディスプレイ）の立ち上げ / 収納をする。

5 ロータリーエンコーダー / Audio Mode / MUTE

左右に回して音量を調整する。
押すと Audio Mode 画面を表示する。
2秒以上押しで、ミュート ON/OFF を切りかえます。

6 SOURCE/ ϕ ボタン

電源を ON にする。3秒以上押しで OFF にする。
モニター（メインディスプレイ）OPEN 時：ソース選択画面を呼び出す。
モニター（メインディスプレイ）CLOSE 時：ソースを切りかえます。

7 サブディスプレイ

「サブディスプレイ表示について」（87 ページ参照）

8 $\ll \gg$ ボタン

ラジオ：プリセット UP/DOWN。
ディスク：トラック、ファイル、チャプターの UP/DOWN。

9 リモコン受光部

別売のリモコンで操作するときにはリモコン受光部に向けて 2m 以内で使用する。

10 $\triangle$ ボタン

ディスクを取り出す。

11 $\triangle$ ボタン

リセットする時に使用する。（「リセットする」9 ページ参照）

12 パワー / アクションインジケーター

電源を ON にした時に点灯、アクション時に点滅します。

13 ディスクスロットインジケーター

電源を ON にした時に点灯

14 モニター（メインディスプレイ）

お知らせ

本書での本体スイッチ表示について

- 本体のスイッチを押すときは、「 $\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ 」（「SOURCE/ ϕ 」など）でスイッチ名称を表示しています。

本書でのタッチスイッチ（タッチパネル上のスイッチ）表示について

- タッチスイッチにタッチするときは、 $[\bigcirc\bigcirc\bigcirc]$ （「[Source]」など）でスイッチ名称を表示しています。
- 本書では、タッチスイッチと本体スイッチが同じ機能をする場合は、タッチスイッチをメインに説明しています。

モニター（メインディスプレイ）について

- モニター（メインディスプレイ）が閉じた（収納）状態でラジオやオーディオを聞くことができます。
- モニター（メインディスプレイ）立ち上げ / 収納の際に水平になっているときは、画面の表示は消えています。

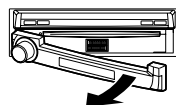
リセットする

初めて使うときや、チェンジャーなどを取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

1 イグニッションキー（エンジンキー）を OFF にする

2 を押す

パネルの右端をつかんで、静かに手前に取り外す。

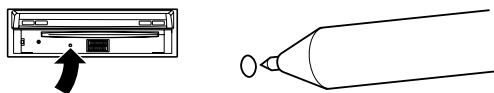


（次ページへつづく）

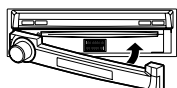


基本操作

3 リセットスイッチをペン先などで押す



4 パネルの左側を押さえながら、右端をまっすぐ、そのままゆっくりカチッと音がするまで押し込む



■ Memo

- リセットすると、時刻など記憶した内容が消去されます。もう一度、登録し直してください。
- モニター（メインディスプレイ）が立ち上がっている状態でリセットを行い、イグニッションを ACC にすると、モニター（メインディスプレイ）は自動的に収納されます。
- 取り外したパネル（特に裏側端子部）が暖かくなっても故障ではありません。
- 取り外したパネルを取り付ける前にコネクター端子に汚れやほこりがないこと、取り外したパネルとメインユニットの間に異物がないことを確認してください。

電源の ON/OFF

1 イグニッションキー（エンジンキー）を ACC または ON にする

2 を押す

システム電源が ON になる。

3 電源を切るときは、 を 3 秒以上押す

システム電源が OFF になる。

■ Memo

- 電源は「▲」、「OPEN/CLOSE」、「FLAT」以外のどのスイッチを押しても ON になります。
- 動きのない画面を長時間表示させないでください。同じ画像を長時間表示しているとその画像が他の画面に残ってしまうことがあります。
- 電源を入れた直後は、画面が暗く見にくいことがありますが、数分たちますと正常表示になります。
- 走行中は、一部の操作しかできません。（SETUP などの操作は、車を停止させてから行ってください。）
- 「走行中は安全のため表示できません」とメッセージが表示されたら、車を停止（パーキングブレーキを引いた状態）させてから、iPod/iPhone などの映像を楽しんだり、操作を行ってください。
- モニター（メインディスプレイ）が閉じた状態でも、別売りモコンからの操作は、ご使用できます（一部操作除く）。
- 使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。
- 製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなってきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。
- イグニッションキーを OFF にすると本機の電源も切れます。
- 本機と接続されている iPod/iPhone の電源は連動していますが、本機の電源が OFF になっても iPod/iPhone の電源が OFF になるまで、数分かかる場合があります。

モニター（メインディスプレイ）を立ち上げる／収納する

1 を押す

ブザー音 3 回とともに、モニター（メインディスプレイ）が自動的に立ち上がる。

2 を押す

ブザー音 3 回とともにモニター（メインディスプレイ）が収納する。



注意

モニター（メインディスプレイ）の開閉は、決して手動では行わないでください。故障の原因になります。

■ Memo

- モニター（メインディスプレイ）を立ち上げたときに障害物があったときは、ブザー音が鳴りその場で止まります。その時は障害物を取り除き、再度「OPEN/CLOSE」を押すとモニター（メインディスプレイ）は収納されます。
- モニター（メインディスプレイ）を手で無理に引っ張ったり押し戻したりしないでください。故障の原因となります。
- モニター（メインディスプレイ）立ち上げ工場出荷時角度は90°です。車種によっては、立ち上げ時にモニター（メインディスプレイ）背面が車側にあたる場合がありますので、ご注意ください。次回立ち上げ時からは、調整した角度を記憶します。「ディスプレイの角度調整 (Tilt)」(51 ページ) で調整してください。なお、調節後の角度は、車のバッテリー電源をはずしても記憶しています。

モニター（メインディスプレイ）をフラットにする

立ち上げたモニター（メインディスプレイ）の陰になってしまう車側のエアコン操作などをするときに便利な機能です。

1 を押す

モニター（メインディスプレイ）はフラット（水平な）状態になる。

2 再度 を押すと、モニター（メインディスプレイ）の角度はもとに戻る

■ Memo

- フラット（水平な）動作を開始してから約 10 秒後にモニター（メインディスプレイ）はもとの角度に戻ります。
- モニター（メインディスプレイ）が FLAT（水平な）状態のときに、モニター（メインディスプレイ）の背面に物を置くなど無理な力を加えますと故障の原因となります。

基本画面の見方とタッチスイッチ操作について

ソースの呼び出し

ここでは、ラジオモード画面の移りかわりを例にソースの呼び出し方を説明します。

1 表示されているメイン画面上の **Source** にタッチする

ソース選択画面が表示される。

< ソース選択画面表示例 >

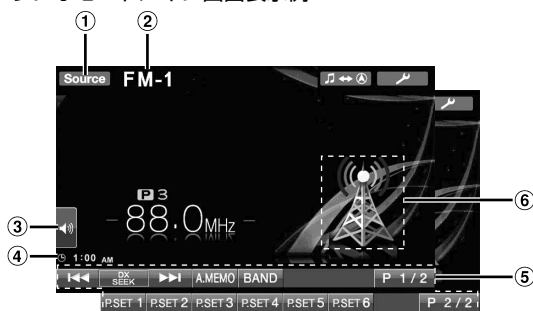


- ナビゲーション画面へ切りかわる**
「ナビゲーションモードを設定する (Nav. IN)」(56 ページ) で ON に設定した場合は、操作できます。
- セットアップ選択画面へ切りかわる**
- 次のページが表示される**
接続、各設定により表示されるソースモードの種類は異なるので、このキーが表示されない場合もあります。
- 元のモードに戻ります**
- Rear 選択画面へ切りかわる**
「外部モニター出力の設定 (AUX Out)」(57 ページ) で ON に設定した場合は、操作できます。
- 選択できるソースモードが表示される**
- ソース選択画面を閉じ、元の画面に戻ります**
- カメラ映像が出力される**
リアビューカメラ HCE-C107Dなどを接続して、「カメラ入力設定 (Camera IN)」(56 ページ) で Direct または AUX に設定した場合は、表示されます。
- Phone メニュー画面へ切りかわる**
「BLUETOOTH 接続設定 (BLUETOOTH IN)」(58 ページ) で Adapter に設定した場合は、表示されます。
- ナビゲーションメイン画面へ切りかわる**
「ナビゲーションモードを設定する (Nav. IN)」(56 ページ) で ON に設定した場合は、表示されます。

2 にタッチする

ラジオモードメイン画面に切りかわる。

< ラジオモードメイン画面表示例 >



(次ページへつづく)



基本操作

- 1 ソース選択画面へ切りかえる（手順 1 画面へ）
- 2 選択しているソース名（ラジオバンドなど）を表示する
- 3 ショートカットメニュー画面へ切りかわる
- 4 時刻を表示する
- 5 ファンクションガイド：

各ソースによって、ファンクションガイドの表示は異なります。[P1/2]*、[P1/3]*、[P1/4]*をタッチすると、ファンクションガイドの内容が切りかわり、さらに多くの操作が可能になります。

※ 接続する製品によって表示が異なる場合があります。
- 6 選択しているソースのアイコン

タッチスイッチの操作について

モニター（メインディスプレイ）保護のため、タッチスイッチは指の腹で軽くタッチしてください。

スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。

同時に 2 個以上タッチすると誤動作につながります。

お知らせ

本書でのタッチスイッチ表示について

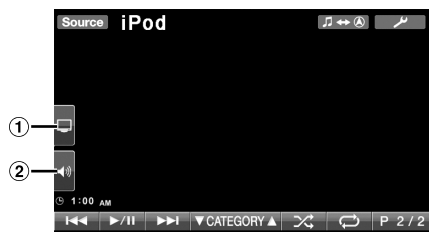
- タッチスイッチにタッチするときは、[○○○] ([Source] など) でスイッチ名称を表示しています。

本書での本体スイッチ表示について

- 本体のスイッチを押すときは、[○○○] ([SOURCE/φ] など) でスイッチ名称を表示しています。
- 本書では、タッチスイッチと本体スイッチが同じ機能をする場合は、タッチスイッチをメインに説明しています。

ショートカット画面

<ショートカット画面例>



- 1 映像の表示輝度が直接調整できる。
- 2 サウンドセットアップを呼び出す。

映像表示輝度ショートカット

1  にタッチする

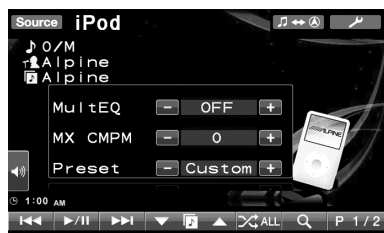
2   にタッチして OFF/Low/High を選んで調整します

サウンドセットアップショートカット

各メインソース画面に Media Xpander モード設定、Preset メモリーの呼び出し、MultEQ モード選択がショートカット画面に表示され、ダイレクトに設定することができます。

1 メインソース画面左端の  にタッチする

サウンドセットアップショートカットメニュー画面が表示される



MultEQ : 別売の IMPRINT オーディオプロセッサー (PXA-H100) と組み合わせると (MultEQ 機能がある IMPRINT BOX を接続した時)、MultEQ モードを選択できます。

設定値 : OFF/Curve 1/Curve 2

MX (Media Xpander) :

「MX モードの設定 (Media Xpander)」(44 ページ) で Media Xpander を ON に設定した場合は、現在表示されている音声ソースの MX モードが設定できる。(44 ページ参照)

設定値 : Level 0 ~ 3

Memo

- ・別売の IMPRINT オーディオプロセッサー (PXA-H100) を接続した時、MultEQ (66 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- ・「ディフューズ設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON の時は設定できません。

Preset : Preset メモリーを呼び出し (46 ページ参照)

設定値 : 1 ~ 6

Memo

- ・「ディフューズ設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON の時は設定できません。
- ・現在の設定が Preset 1 ~ 6 以外の場合は、Custom と表示されます。

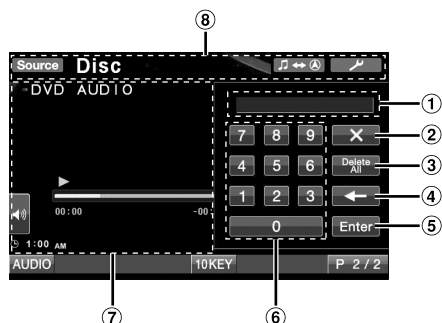
2 設定したい項目   にタッチし、調整をします

10 キー入力画面表示

DVD モード時のタイトル、チャプターなどの頭出しや、DVD セットアップ項目の暗証番号入力などで使う場合に、10 キー入力画面が表示されます。

1 各メインソース画面上の **10KEY** にタッチする

10 キー入力画面が表示されます



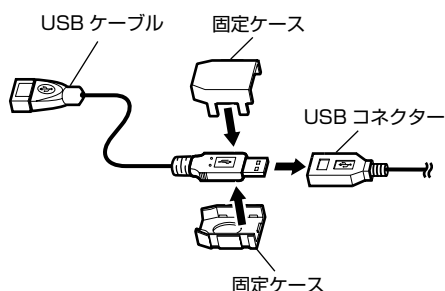
- 1 入力表示スペース
- 2 10 キー入力画面を閉じる
- 3 入力中の番号を全消去する
- 4 1 つ前の番号を消去する
- 5 入力した番号を設定する
- 6 10 キーパレット
- 7 10 キー入力画面表示中にこのエリアにタッチすると 10 キー入力画面は閉じる
- 8 10 キー入力画面表示中でもこのエリアの操作キーは受け付けます。

2 希望の数字にタッチする

3 **Enter** にタッチして設定する

USB ケーブルを接続する

USB コネクターを接続し、上下固定ケースで接続部を固定する



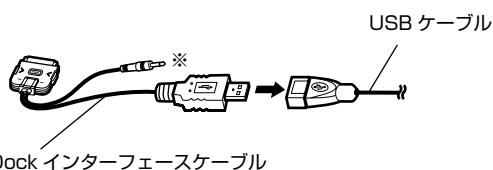
Memo

- 本機付属のUSBケーブルを使用してください。付属以外のケーブルを使用すると動作しない場合があります。

iPod/iPhone を接続する

iPod/iPhone を接続する

1 USB ケーブルに iPod Dock インターフェースケーブルを接続する



iPod Dock インターフェースケーブル

- ※ ビデオ対応 iPod を接続する際に、付属の iPod Video 用 AV 延長ケーブルを接続します。

2 iPod Dock インターフェースケーブルと iPod/iPhone を接続する



(次ページへつづく)



基本操作

Memo

- 運転中は iPod/iPhone を接続しないでください。事故・ケガの原因になります。
- 運転中は iPod/iPhone のイヤホンを使用しないでください。事故・ケガの原因になります。
- 再生中の iPod/iPhone を本機に接続すると、今まで聞いていた曲の続きから再生を行います。
- 別売の INTERFACE ADAPTER FOR iPod (KCA-420i) を使用しての接続は推奨しておりません。
- 本機は iPod FULL SPEED™ 接続に対応していません。そのため別売 BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) に FULL SPEED™ Connection Cable (KCE-433iV) を使用して iPod/iPhone を接続しても、iPod/iPhone を操作することはできません。
- iPod/iPhone を接続しても音が出ないときや、iPod/iPhone を認識できない場合は、一度 iPod/iPhone を外して再接続するか、iPod/iPhone のリセットを行ってください。
- 本機に iPod/iPhone を接続する前に、iPod/iPhone の EQ 機能を「オフ」に設定することをお勧めします。
- 本機付属の USB ケーブルを使用してください。付属品以外のケーブルを使用すると動作しない場合があります。

iPod/iPhone を外す

iPod Dock インターフェースケーブルから iPod/iPhone を外す

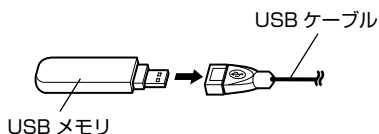


Memo

- 運転中は iPod/iPhone を外さないでください。事故・ケガの原因になります。
- iPod/iPhone モード以外のソースに切りかえてから iPod/iPhone を取り外してください。iPod モード中に取り外すとデータが破損する場合があります。
- iPod/iPhone のディスプレイに「接続を解除できます」の表示が出ていれば、いつでも取り外しできます。

USB メモリを接続する

USB ケーブルに USB メモリを接続する



Memo

- 運転中は USB メモリを接続しないでください。事故・ケガの原因になります。
- 本機付属の USB ケーブルを使用してください。付属品以外のケーブルを使用すると動作しない場合があります。
- USB メモリを接続しても音が出ないときや USB メモリを認識しない場合は、一度 USB メモリを外して再接続してください。

USB メモリを外す

USB ケーブルから USB メモリを外す

Memo

- 運転中は USB メモリを外さないでください。事故・ケガの原因になります。
- USB メモリを取り外す時には、USB メモリを真っ直ぐ引き抜いてください。
- USB メモリモード以外のソースに切りかえてから USB メモリを取り外してください。USB メモリモード中に取り外すとデータが破損する場合があります。

ポータブルオーディオプレーヤーを接続する

1 USB ケーブルに、ポータブルオーディオプレーヤー付属のケーブルを接続する

2 ポータブルオーディオプレーヤーと、プレーヤー付属のケーブルを接続する

ポータブルオーディオプレーヤーを外す

ポータブルオーディオプレーヤー付属のケーブルから、プレーヤーを外す

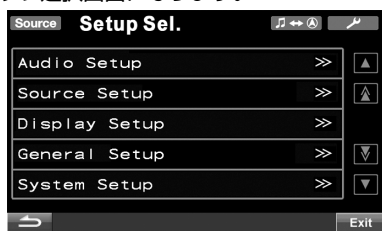
Memo

- 運転中はポータブルオーディオプレーヤーを接続 / 取外しをしないでください。事故・ケガの原因になります。
- 本機付属の USB ケーブルを使用してください。付属品以外のケーブルを使用すると動作しない場合があります。
- ポータブルオーディオプレーヤーの取扱説明書も参照してください。

時計を調整する (Clock Adjust)

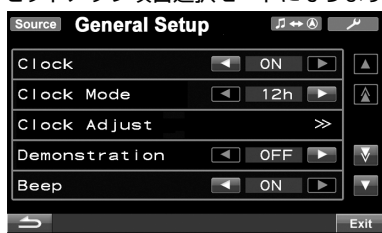
1 にタッチする

セットアップ選択画面になります。



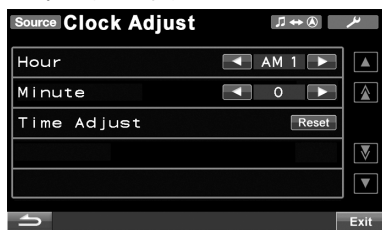
2 にタッチする

General セットアップ項目選択モードになります。



3 にタッチする

時計調整モードになります。



4 または にタッチして <Hour>(時)/<Minute>(分)を調整します

- 時報に合わせたいときは「時」設定後に  にタッチすると、「分」の表示が <0> になります。30 分を超えているときは「時」の表示が繰り上がり「分」の表示が <0> になります。

5 に2秒以上タッチする

元のモードに戻ります。

■ Memo

- セットアップ中に  にタッチすると、1 つ前の項目に戻ります。

音量を調整する

を廻し好みのレベルに調整します

設定内容：0 ～ 35 （出荷時の設定：10）

■ Memo

- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障、または聴力障害の原因になります。
- 使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。
- 録音や放送内容によっては、音量に差がでる場合があります。

一時的に音量を下げる (ミュート)

を2秒以上押す

瞬時に音量が下がります。

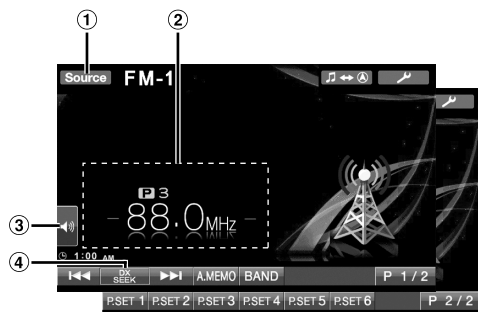
解除するには

を2秒以上押す

ミュートが解除されます。

画面の見かた

< ラジオ画面表示例とタッチ操作例 >



- 1 11 ページをご参照ください
- 2 プリセット No. / 周波数を表示します
- 3 12 ページをご参照ください
- 4 周波数受信時の DX(ディスタンスモード)、LOCAL (ローカルモード) が切りかわります

ラジオを聞く

1 メインソース画面上の **Source** にタッチする

ソース選択画面が表示される。

2 **Radio** にタッチする

ラジオモードメイン画面に切りかわる。

3 **BAND** にタッチする

バンドを選びます。

FM-1 → FM-2 → AM → FM-1…

4 **DX SEEK** にタッチする

チューニングモードリストが表示されます



チューニングモードリスト

5 チューニングモードを選ぶ

DX SEEK (ディスタンスモード) :

受信可能な放送局を自動で受信します。(自動選局) 工場出荷時はディスタンスモードに設定されています。

Local SEEK (ローカルモード) :

電波の強い放送局だけを自動で受信します。(自動選局)

MANUAL(マニュアルモード) :

1 段階ずつ周波数が変わります。(手動選局)

6 **◀◀** または **▶▶**、**◀◀** または **▶▶** にタッチして、聴きたい放送局 (周波数) をさがす

タッチし続けると連続で変化します。

■ Memo

・受信電波の弱い地域では、自動選局ができない場合があります。

記憶させた放送局を選ぶ

あらかじめ記憶 (プリセット) されている放送局を選んで受信します。

1 **P 1 / 2** にタッチする

ファクションガイドの内容が切りかわる。

2 記憶させた放送局の **P.SET 1** ~ **P.SET 6** のいずれかにタッチする

選択した放送局が受信されます。

■ Memo

・放送局を記憶させる操作については、「放送局を記憶させる」(16 ページ) を参照してください。

放送局を記憶させる

手動で記憶させる

1 記憶させたい放送局に周波数を合わせる

2 **P 1 / 2** にタッチする

ファクションガイドの内容が切りかわる。

3 **P.SET 1** ~ **P.SET 6** のいずれかに 2 秒以上タッチする

タッチした No. に放送局が記憶されます。

■ Memo

・放送局は 18 局まで記憶できます。
FM1…6 局、FM2…6 局、AM…6 局
・すでに記憶されている No. に記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動で記憶させる (Auto Memory)

1 にタッチする

バンドを選びます。

FM1 → FM2 → AM → FM1 . . .

2 に 2 秒以上タッチする

< A.Memo >と表示し、自動選局を開始します。

電波の強い順に 6 つの放送局が自動的に受信されて

 ~  に記憶されます。記憶が終わると  に

記憶されている放送局が受信されます。

Memo

- 受信電波の弱い地域では、Auto Memory での自動受信ができない場合があります。放送局を 1 つも受信 (記憶) できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォ メーション)

1 を 2 秒以上押す

TRF

TRF モードになり、AM 放送の 1620kHz または、1629kHz の交通情報を受信します。

2 または にタッチする

1620kHz / 1629kHz を切りかえます。

Memo

- 交通情報を行っている地域に合わせて周波数を切りかえてください。

3 を 2 秒以上押す

TRF

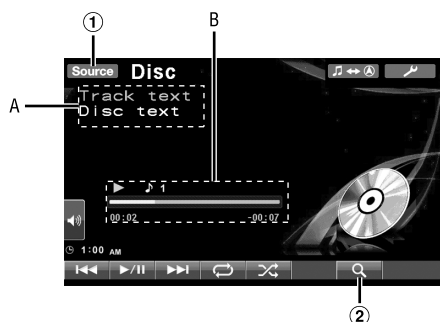
TRF モードを終了し、元のモードに戻ります。

Memo

- iPod、ラジオなど、いかなるモードのときでも交通情報を受信できます。
- TRF モード中、[P1/2] は無効です。

CD 操作

CD メイン画面表示例



1 11 ページをご参照ください

2 サーチスイッチ：39 ページ参照

A 上段にトラックテキスト^{*1}を表示します。下段には、ディスクテキスト^{*1}を表示します。

B ディスク No.^{*2} / トラック No. / 進捗バー / 演奏経過時間 / 残り時間を表示します。

※ 1：CD テキスト対応ディスク再生時

※ 2：CD チェンジャー接続時のみ

CD（ディスク）を聴く

1 ラベル面を上にしてディスクを挿入する

演奏が始まる。

■ Memo

- CD を再生するときは、ソース選択画面で [EXT.DVD] にタッチすると、EXT.DVD モードになり、演奏が始まります。
- 当社の CD チェンジャーを接続した場合、本機から操作することができます。(CD チェンジャーを使っているディスクの選びかたは 35 ページに記載しています。)
- シングル CD (8cmCD) はそのまま使用できますので、アダプター無しで挿入してください。
- ディスクによっては、演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。

2 〇を回して、音量 (0~35) を調整する

3 再生または 早送り にタッチして、聞きたい曲を選ぶ

- | | |
|-----------|-----|
| 演奏中の曲の頭出し | 再生 |
| 早戻し | 早送り |
| 次の曲の頭出し | 早送り |
| 早送り | 早送り |

4 演奏を一時中止するには 一時停止 にタッチする

再度 一時停止 にタッチすると、演奏を開始する。

5 ディスクを取り出すときは、ディスク を押す

■ Memo

- 「ディスク」を押して、ディスクを取り出さないまま、約 15 秒経過するとディスクは自動的に本機に挿入されます。この場合、一時停止状態になるので、「再生」にタッチして演奏を開始してください。

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

1 曲順変更 にタッチして、インジケータを点灯させる

順不同に曲を演奏する。



(※M.I.X. ALL対応チェンジャーモード時)

2 解除するには、再度 曲順変更 にタッチする

■ Memo

- チェンジャー接続時
曲順変更 を指定すれば、ディスクの曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していきます。
- ALL を指定すれば、1 曲ずつディスクをかえながら演奏します。(M.I.X. ALL 対応チェンジャーのみ)

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 演奏中に、 にタッチして、
＜ インジケーター＞を点灯させる

選んだ曲を繰り返し演奏する。



(※チェンジャーモード時)

- 2 解除するときは、再度  にタッチする

Memo

- チェンジャー接続時
 を指定すれば、そのディスクを繰り返し演奏させることができます。

お知らせ

-  にタッチすると、サーチモードになります。操作については、「サーチ機能」(39 ページ) をご覧ください。但し、CD チェンジャーモード時には、サーチモード機能はありません。
- テキストとは、あらかじめ CD に入力されている文字の表示ができることを言います。

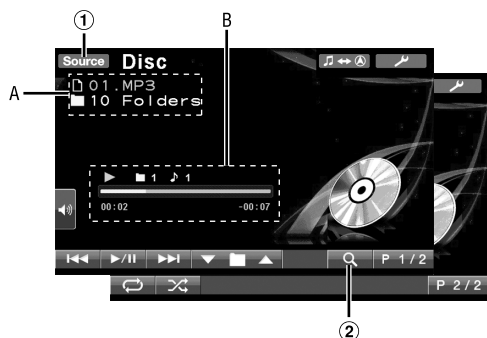


マークがついているものにはテキストが入っています。

文字を正確に表示できない場合もあります。

MP3/WMA/AAC 操作

< MP3/WMA/AAC 画面表示例 >



1 11 ページをご参照ください

2 **Q** スイッチ：39 ページ参照

A 上段にファイル名を表示後、ID3 タグ情報があれば曲名を表示します。

下段には、フォルダ名表示後、ID3 タグ情報があればアルバム名／アーティスト名が表示されます。

B ディスク No. *1 / フォルダ No. / ファイル No. / 進捗バー / 演奏経過時間 / 残り時間を表示します。

※ 1：MP3 対応 CD チェンジャー接続時のみ

・ CD/MP3 チェンジャーソースを選んだ時には、進捗バーなどを表示しません。

MP3/WMA/AAC を聴く

本機で再生できる MP3/WMA/AAC は、本機対応のフォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは、「MP3/WMA/AAC について」(108 ページ)を参照してください。なお、WMA 形式の DRM (著作権保護機能 Digital Rights Management) システムの WMA ファイルは、本機では再生できません。

1 MP3/WMA/AAC ファイルが収録されたディスクをラベル面を上にして挿入する

MP3/WMA/AAC ファイルを検索し、演奏が始まる。MP3/WMA/AAC のディスクは、演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。

Memo

- ・ MP3/WMA/AAC を再生するときは、ソース選択画面で [EXT. DVD] にタッチすると、EXT.DVD モードになり演奏が始まります。

2 を回転させて、音量 (0 ~ 35) を調整する

3 または にタッチして、聴きたい曲 (ファイル) を選ぶ

演奏中の曲の頭出し  にタッチする。

早戻し  にタッチし続ける。
次の曲の頭出し  にタッチする。
早送り  にタッチし続ける。

4 演奏を一時停止するときは、 にタッチする

再度  にタッチすると、演奏が再開する。

5 ディスクを取り出すときは、 を押す

Memo

- ・  を押して、ディスクを取り出さないまま、約 15 秒経過するとディスクは自動的に本機に挿入されます。この場合、一時停止状態になるので、 にタッチして演奏を開始してください。
- ・ 本機は CD オーディオデータと MP3/WMA/AAC データが混在するディスクでも再生が可能です。
- ・ CD オーディオデータ再生時のトラック表示はディスクに記憶されているトラック番号になります。
- ・ 作成したライティングソフト / MP3 変換ソフトによっては、再生できない場合があります。その際は他のソフトでお試しいださい。
- ・ 「MP3/WMA/AAC 再生データの設定」は 50 ページに記載しています。
- ・ VBR (Variable Bit Rate) で記録されたファイルを再生したとき、正確な再生時間を表示できない場合があります。

フォルダを選択する

1 または にタッチして、前後のフォルダを選ぶ

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

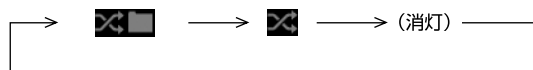
曲を順不同に演奏させることができます。

1 にタッチする

ファンクションガイドが切りかわる。

2 にタッチして、< インジケーター > を点灯させる

順不同に曲を演奏する。



 : フォルダ内のみを対象に順不同に演奏する。

 : ディスク内の曲を順不同に演奏する。チェンジャーモード時はディスク内の曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していく。

3 解除するには、再度 にタッチする

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

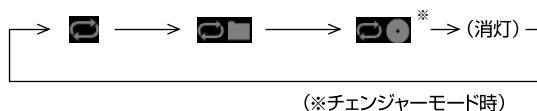
気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

1 にタッチする

ファンクションガイドが切りかわる。

2 演奏中に、 にタッチして、 ＜ インジケーター＞を点灯させる

選んだ曲を繰り返し演奏する。



: 1 曲のみを繰り返し演奏する。

: フォルダ内の曲のみを対象に繰り返し演奏する。

: そのディスクを繰り返し演奏する。

3 解除するときは、再度 にタッチする

お知らせ

-  にタッチすると、サーチモードになります。操作については、「サーチ機能」(39 ページ)をご覧ください。

画面の見かた

お知らせ

- プレイポジションメモリ機能:再生中に電源またはイグニッションキーを OFF にしたり、ソースを切りかえても次に電源を ON すると続きから再生します。

<DVD メイン画面表示例>



- A 再生しているディスク (DVD VIDEO、DVD AUDIO、PROGRAM/PLAYLIST(DVD-VR) または VIDEO CD) を表示します。
- B DVD ビデオはタイトル No. / チャプター No. / 進度バー / チャプター再生時間 / 残り時間を表示します。DVD オーディオはグループ No. / トラック No. / 進度バー / トラック再生時間 / 残り時間を表示します。DVD-VR はプログラムまたはプレイリスト No. / チャプター No. / 進度バー / チャプター再生時間 / 残り時間を表示します。ビデオ CD は PBC OFF 時にトラック No. / 進度バー / トラック再生時間 / 残り時間を表示します。DivX® はフォルダ No. / ファイル No. / 進度バー / ファイル再生時間 / 残り時間を表示します。

・ ディスクや再生画面によっては、操作できない場合があります。

注意

- ・ DVD の場合、ディスクによって各種操作を禁止しているものもあり、これらのディスクでは操作を受け付けられない場合もあります。
- ・ ディスクによっては本書で説明している操作とは異なる場合があります。ディスクの説明書もあわせてご覧ください。
- ・ ディスクに指紋が付くと再生しない場合があります。再生しない場合は、ディスクを取り出し、きれいにふき取ってからご使用ください。
- ・ 再生中に電源またはイグニッションキーを OFF にしたり、ソースを切りかえたりしても、次に電源を ON すると続きから再生します。ディスクを切りかえた場合はプレイポジションメモリは解除されます。
- ・ ディスクまたは再生状態によっては、その操作を受け付けられない場合があります。その時はモニター画面に ④ マークを表示します。
- ・ ナビゲーション用の地図ディスクは、絶対に挿入しないでください。故障の原因になります。

1 文字やイラストが書いてある面を上にしてディスクを挿入する

再生が始まる。

2 ディスクを取り出すときは、 を押す

お知らせ

- DVD / ビデオ CD モードのとき、各操作から 5 秒経過すると、操作画面から DVD / ビデオ CD 画面に切りかわります。再度、操作画面を表示させるには、モニター (メインディスプレイ) パネルにタッチしてください。

DVD / ビデオ CD を再生する

(DVD-V) (DVD-A) (DVD-VR) (V-CD) (DivX)

各項目で使用できるディスクの種類を下記マークで表します。

- (DVD-V) 市販の DVD ビデオディスク、またはビデオモードで記録された DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW のディスクが使用できる。
- (DVD-A) 市販の DVD オーディオディスクが使用できる。
- (DVD-VR) DVD-VR モードで記録された DVD-R/DVD-RW のディスクが使用できる。
- (V-CD) ビデオ CD ディスクが使用できる。
- (DivX) DivX モードで記録された CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW のディスクが使用できる。

■ Memo

- 両面ディスクの DVD は、自動でウラ面を再生しません。ディスクを取り出しウラ返しに入れ直してください。
- 別売の DVD / ビデオ CD / CD プレーヤーまたは、DVD チェンジャー製品と接続した場合、本機から操作ができます（一部操作除く）。また、ファンクションガイドの [P1/2] などの表示は、接続する製品によって異なる場合があります。
- 「DVD Setup」項目（46 ページ）もあわせてご覧ください。
- DVD チェンジャーまたは DVD プレーヤーと組み合わせたときには、本機側のリモート出力コードと組み合わせる側のリモート入力コードを必ず接続してください。接続しないと正常にタッチ操作ができません。
- 別売の Ai-NET 対応 DVD プレーヤーを接続した場合のソース名は、「外部入力の設定」（57 ページ）で、「EXT.DVD」を選択すると、ソース選択画面上に「EXT.DVD」と表示されます。
- ビデオ CD 再生時に、1 つ前の画面に戻るときは、ファンクションガイドの [P1/2] にタッチ後、[↵] にタッチする。但し、ディスクによっては異なる動作になります。
- 「▲」を押して、ディスクを取り出さないまま、約 15 秒経過するとディスクは自動的に本機に挿入されます。この場合、停止状態になるので、[▶/⏮] にタッチすると再生が始まります。
- DivX® で、「Index reading」とメッセージが表示された場合、その表示中は、早送り／早戻しやリピート操作など一部の操作を受けつけません。
- “走行中は安全のため表示できません。”とメッセージが表示されたら、車を停止（パーキングブレーキを引いた状態）させてから、DVD などの映像を楽しんだり、操作を行ってください。

メニュー画面が表示されたら

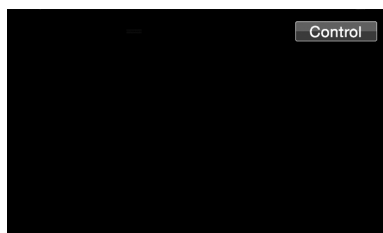
DVD やプレイバックコントロール (PBC) 付きビデオ CD では、自動的にメニュー画面が表示される場合があります。この時は次の操作を行い再生させてください。

■ダイレクトメニュー操作 (DVD-V) (DVD-A)

DVD メニュー項目に直接タッチする。

- ディスクによっては操作できない場合があります。

■メニュー操作 (DVD-V) (DVD-A)



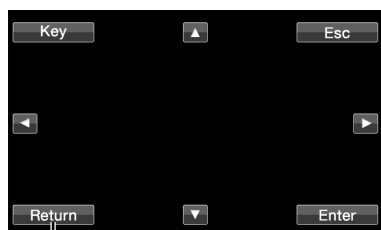
1 Control にタッチする

操作キーが表示される。



2 Key にタッチする

メニュー操作モードが表示される。



Return にタッチすると 1 つ前の表示に戻る
(ディスクによっては操作できない場合があります。)

3 ▲ ▼ ◀ ▶ にタッチして、メニュー項目を選ぶ

4 Enter にタッチして選んだ項目を決定する

■ 10 キー入力操作 (DVD-V) (DVD-A)



Return にタッチすると 1 つ前の表示に戻る

1 Control にタッチする

操作キーが表示される。

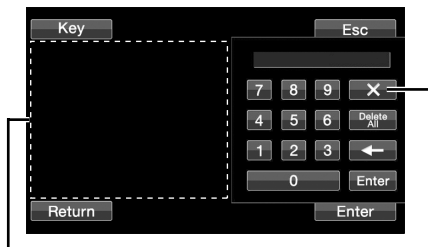
(次ページへつづく)

2 **Key** にタッチする

メニュー操作モードが表示される。

3 再度 **Key** にタッチする

10 キー入力モード画面が表示される。



10 キー入力画面表示中にこのエリアにタッチすると 10 キー入力画面は閉じる。
X にタッチすると 10 キー入力画面は閉じる。

4 希望の数字にタッチして入力する

5 10 キー入力モードの **Enter** にタッチして決定する

■ 10 キー入力操作 (V-CD)

PBC が OFF になっている場合は、メニュー画面は表示されません。その場合は PBC を ON にしてください。(「ビデオ CD 再生モードを設定する (PBC)」(51 ページ) 参照)

1. ビデオ CD モード時、**P 1/2** にタッチする。
ファンクションガイドが切りかわる。
2. **10KEY** にタッチする。
10 キー入力画面が表示される。
3. 希望の数字にタッチして入力する。
4. **Enter** にタッチして決定する。

トップメニュー画面を表示する

(DVD-V) (DVD-A)

複数のタイトルを持つ DVD では、トップメニュー画面が表示されます。

1 DVD モードメイン画面上の **TOP MENU** にタッチする

トップメニュー画面が表示される。

→ 「メニュー画面が表示されたら」(23 ページ) を参照して操作を行う。

メニュー画面を表示する (DVD-V)

複数のメニューを持つ DVD では、本編以外にチャプターリストや特典映像が選択できるメニュー画面が表示されます。

1 DVD モードメイン画面上の **MENU** にタッチする。

メニュー画面が表示される。

→ 「メニュー画面が表示されたら」(23 ページ) を参照して操作を行う。

メニュー操作モード画面を表示する (DVD-V) (DVD-A)

1 DVD モードメイン画面上の **P 1/2**※ にタッチする

ファンクションガイドが切りかわる。

※ DVD オーディオは **P 1/3** にタッチする。

2 **MENU CONT** にタッチする

操作キー画面に切りかわる。

→ 各操作については、「メニュー画面が表示されたら」(23 ページ) を参照。

■ Memo

- DVD オーディオは VCAP に設定している場合、操作することができます。(「DVD オーディオ再生モードを設定する (DVD-A Setup)」50 ページ参照)。

プログラムリストの表示 (DVD-VR)

1 DVD-VR 再生中に **TOP MENU** にタッチする

プログラムリスト画面が表示される。

2 希望のプログラムの **▶** にタッチする

選んだプログラムの再生が始まる。

■ Memo

- 手順 2 で PLAY LIST を選択すると、プレイリストのリスト画面が表示されます。

プレイリストのリスト表示 (DVD-VR)

1 DVD-VR 再生中に **MENU** にタッチする

プレイリストのリスト画面が表示される。

2 希望のプレイリストの **▶** にタッチする

選んだプレイリストの再生が始まる。

■ Memo

- ・プレイリストが作成されているディスクでのみ操作できます。
- ・手順 2 で PROGRAM LIST を選択すると、プログラムリスト画面が表示されます

再生中止 (Pre Stop)

再生中に停止ボタンを押すと止まり、その位置を記憶します。

1 再生中に **■** に 1 回タッチする

「Pre Stop」と表示される。

2 Pre Stop 中に **▶/||** にタッチする

再生中止した位置から再生される。

■ Memo

- ・ディスクによっては Pre Stop したとき、再生中止位置を正しく記憶できない場合があります。
- ・VOFF 設定時の DVD オーディオは、PRE STOP 機能はありません。(「DVD オーディオ再生モードを設定する (DVD-A Setup)」50 ページ参照)

再生停止

再生中に **■** に 2 回タッチする

「Stop」と表示される。

■ Memo

- ・**■** を 2 秒以上タッチしても再生は停止します。
- ・停止中に **▶/||** をタッチすると始めから再生されます。
- ・VOFF 設定時の DVD オーディオは、**■** を 1 回タッチすると再生停止 (Stop) になります。(「DVD オーディオ再生モードを設定する (DVD-A Setup)」50 ページ参照)

早送り / 早戻し

(DVD-V) (DVD-A) (DVD-VR) (V-CD) (DivX)

DVD ビデオ / DVD オーディオ (VCAP モード) ※ / ビデオ CD / DivX®

1 再生中に **⏮** (早戻し) または **⏭** (早送り) にタッチし続けると、2 倍速で早戻し / 早送りする。さらにその状態で 5 秒以上タッチし続けると 8 倍速で早戻し / 早戻しができる。10 秒以上タッチし続けると、21 倍速で早戻し / 早戻しができる

DVD オーディオ (VOFF モード) ※

1 再生中に **⏮** (早戻し) または **⏭** (早送り) にタッチし続けると、早戻し / 早送りする

※ VCAP または VOFF は「DVD オーディオ再生モードを設定する (DVD-A Setup)」50 ページを参照してください。

2 通常再生に戻すには **⏮** または **⏭** から指を離す

■ Memo

- ・早送り / 早戻し中に音声は出力されません。
- ・PBC (プレイバックコントロール) 付きビデオ CD では、再生中のトラックのみ早送り / 早戻しができます。
- ・DVD およびプレイバックコントロール (PBC) 付きビデオ CD では早送り / 早戻し中にメニュー画面に戻ることがあります。
- ・ディスクによっては操作できない場合があります。

チャプター / トラック / ファイルの頭出し

(DVD-VR) (V-CD) (DivX)

1 再生中に **⏮** または **⏭** にタッチする

タッチするたびにチャプター、トラック、ファイルが切りかわる。選んだチャプター、トラック、ファイルの再生が始まる。

⏭ : 一つ後のチャプター / トラック / ファイルの頭から再生。

⏮ : 現在のチャプター / トラック / ファイルの頭から再生。続けてタッチすると、一つ前のチャプター / トラック / ファイルの頭から再生。

(次ページへつづく)

Memo

- DVD によっては、チャプターが無いものもあります。
- PBC (プレイバックコントロール) 付きビデオ CD では、トラックの頭出しができない場合があります。「ビデオ CD 再生モードを設定する (PBC)」(51 ページ) を PBC OFF に設定してください。
- DVD オーディオ、DivX® では、一時停止中も本操作を行うことができます。

補足説明

チャプターとは、DVD に記憶されている映像や曲の区切り。トラックとは、ビデオ CD や CD に記憶されている映像や曲の区切り (1 曲分)。
プレイリストとは、再生する映像の再生順を記録したリスト。グループとは、DVD オーディオに記憶されているトラック (1 曲分) がいくつかのグループにまとまっているもの。ディスクによっては、グループ再生の仕方が異なります。

プログラム／プレイリストを選択する (DVD-VR)

1 DVD-VR ディスク再生中、**P 1 / 3** に2回タッチし、ファンクションガイドを切りかえる

2 **▼ (P) ▲** または **▼ (M) ▲** にタッチして、前後のプログラム／プレイリストを選ぶ

- ▲：一つ後のプログラム／プレイリストの頭から再生。
- ▼：一つ前のプログラム／プレイリストの頭から再生。

Memo

- プレイリストの頭出しは、プレイリストが作成されているディスクでのみ操作できます。

フォルダを選択する (DivX)

1 **▼ (F) ▲** にタッチして、希望のフォルダを選ぶ

静止 (一時停止) する

(DVD-V) (DVD-A) (DVD-VR) (V-CD) (DivX)

1 再生中に **▶ (II)** にタッチする

2 再度、再生するには **▶ (II)** にタッチする

Memo

- 静止中は音声は再生されません。
- 一時静止画 (ポーズ) の状態から再生を開始すると画像や音声が一瞬止まる場合がありますが故障ではありません。

コマ送り／戻し再生

(DVD-V) (DVD-VR) (V-CD)

1 一時停止中に **◀◀** または **▶▶** にタッチする

タッチするたびに 1 コマずつコマ送り／戻し再生する。

2 通常再生に戻すには **▶ (II)** にタッチする

Memo

- コマ送り／戻し再生中に音声は再生されません。
- DVD-VR ディスク、ビデオ CD ではコマ戻し再生はできません。

スローモーション再生

(DVD-V) (DVD-VR) (V-CD)

1 一時停止中に **◀◀** または **▶▶** にタッチし続けると、1/8 倍速でスローモーション再生になる。さらにその状態で 5 秒タッチし続けると 1/2 倍速にスローモーションの速度が変わる

2 **◀◀** または **▶▶** から指を離すと一時停止になるので、**▶ (II)** をタッチして再生させる

Memo

- スローモーション再生中に音声は再生されません。
- スライドショーを再生中にスロー再生はできません。
- 1/2 倍速、1/8 倍速はおおよその速さです。ディスクによっても異なります。
- DVD-VR ディスク、ビデオ CD ではバックスローモーション再生はできません。

ページ送り／戻し (DVD-A)

ページとは、DVD オーディオに静止画付きの画像が記憶されている場合に操作できます。

1 DVD オーディオディスク再生中に **P 1 / 3** に2回タッチする

ファンクションがガイドが切りかわる。

- 2** ▼PA または GE▲ にタッチして、ページを切りかえる。2秒以上タッチすると、静止画の Home Page を表示する

■ Memo

- DVD オーディオディスクによっては、ページがないものもあります。また、スライドショー形式の映像は、操作できない場合があります。
- VCAP に設定している場合、操作することができます。([DVD オーディオ再生モードを設定する (DVD-A Setup)] 50 ページ参照)

タイトル／グループ／プログラム／プレイリスト／フォルダ番号で頭出し

(DVD-V) (DVD-A) (DVD-VR) (DivX)

DVD に記憶されているタイトル／グループ／プログラム／プレイリスト／フォルダから簡単に頭出しできます。

- 1** 再生停止中に P 1/2※ にタッチする

ファンクションガイドが切りかわる。

※ DVD オーディオ (VCAP) または DVD-VR は P 1/3 にタッチする。

- 2** 10KEY にタッチする

10 キー入力モード画面が表示される。

- 3** 再生させたいタイトル／グループ／プログラム／プレイリスト／フォルダ番号にタッチして入力する

→ 10 キー入力操作については (23 ページ) 参照。

- 4** Enter にタッチして決定する

選んだタイトル／グループ／プログラム／プレイリスト／フォルダ番号から再生が始まる。

■ Memo

- Pre Stop の状態ではチャプター／トラック番号の頭出しになりません。
- タイトル番号が記憶されていないディスクでは頭出しはできません。
- ディスクによっては操作できない場合があります。

チャプター／トラック／ファイル番号で直接頭出し

(DVD-V) (DVD-A) (DVD-VR) (V-CD) (DivX)

ディスクに記憶されているチャプター／トラック／ファイル番号を簡単に頭出しできます。

- 1** 再生停止時以外のに、P 1/2※ にタッチする

ファンクションガイドが切りかわる。

※ DVD オーディオ (VCAP) または DVD-VR は P 1/3 にタッチする。

- 2** 10KEY にタッチする

10 キー入力モード画面が表示される。

- 3** 再生させたいチャプター／トラック／ファイル番号にタッチして入力する

→ 10 キー入力操作については (23 ページ) 参照。

- 4** Enter にタッチして決定する

選んだチャプター／トラック／ファイルから再生が始まる。

■ Memo

- チャプターやトラックが記憶されていないディスクでは頭出しはできません。

リピート再生

(DVD-V) (DVD-A) (DVD-VR) (V-CD) (DivX)

ディスクのタイトルやチャプター、トラックなどを選び、繰り返し再生できます。

ディスクによってはリピートの種類が切り換えられない場合があります。

DVD ビデオ

- 1** 再生中に Repeat にタッチする

タッチすることによりリピートの種類が変わる。



■ Memo

- 再生時に Repeat に 2 秒以上タッチすると、強制的に Repeat OFF になります。

DVD オーディオ

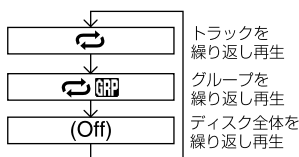
1 再生中に にタッチする

タッチすることによりリピートの種類が変わる。

■ VCAP モード



■ VOFF モード



■ Memo

- VCAP/VOFF の設定について「DVD オーディオ再生モードを設定する (DVD-A Setup)」(50 ページ) をご参照ください。

DVD-VR (プログラム再生時)

1 再生中に にタッチする

タッチすることによりリピートの種類が変わる。



DVD-VR (プレイリスト再生時)

1 再生中に にタッチする

タッチすることによりリピートの種類が変わる。



ビデオ CD

1 再生中に にタッチする

タッチすることによりリピートの種類が変わる。



■ Memo

- プレイバックコントロール (PBC) 付きビデオ CD ではトラックリピート/ディスクリピートは使用できません。「ビデオ CD 再生モードを設定する (PBC)」(51 ページ) を PBC OFF に設定してください。

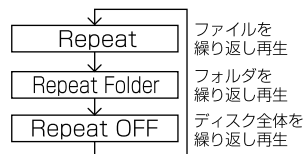
DivX®

1 再生中に にタッチする

ファンクションガイドが切りかわる。

2 再生中に にタッチする

タッチすることによりリピートの種類が変わる。



■ Memo

- 再生時に  に2秒以上タッチすると、強制的に Repeat OFF になります。

音声言語切りかえ

DVD-V DVD-A DVD-VR V-CD DivX

複数の音声または音声言語が記録されている DVD では、再生中に音声言語を一時的に切りかえることができます。

1 再生中に にタッチする

※ DVD オーディオ (VCAP) または DVD-VR は  をタッチする。

2 にタッチする

タッチすることによりディスクに記録されている音声切りかわる。

■ Memo

- 電源投入時/ディスク交換時は初期設定で設定されている言語になります。ディスクによっては、ディスクで決められている言語になります。
- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。そのときはディスクメニューから音声を選んでください。
- 音声変更まで多少時間がかかる場合があります。

多重音声が記録されている

DVD-VR V-CD

DVD-VR

1 再生中に P 1 / 3 にタッチする

2 AUDIO に2秒以上タッチする

タッチすることによりLチャンネル、Rチャンネル音声の組み合わせがかわる。

LR → LL → RR → LR

ビデオ CD

1 再生中に P 1 / 2 にタッチする

2 再生中に AUDIO にタッチする

タッチすることによりLチャンネル、Rチャンネル音声の組み合わせがかわる。

LR → LL → RR → LR

アングル切りかえ DVD-V DVD-A

複数のアングルで撮影された映像が記録されているDVDでは、再生中にアングル（角度）を切りかえることができます。

1 再生中に P 1 / 2 ※ にタッチする

※ DVD オーディオ (VCAP) は P 1 / 3 をタッチする。

2 ANGLE にタッチする

タッチすることによりディスクに記録されているアングルが切りかわる。

■ Memo

- アングル変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによって異なりますがアングル切りかえには2種類あります。
シームレス： つぎめなくスムーズにアングルが切りかわる。
ノンシームレス： アングル切りかえ時、一瞬静止画となりその後アングルが切りかわる。
- DVD オーディオはVCAPに設定している場合、操作することができます。（「DVDオーディオ再生モードを設定する (DVD-A Setup)」50ページ参照）

サブタイトル（字幕言語）切りかえ DVD-V DVD-A DVD-VR DivX

複数の字幕言語が記録されているDVDでは、再生中に字幕言語の切りかえや非表示にすることができます。

1 再生中に P 1 / 2 ※ にタッチする

ファンクションガイドが切りかわる。

※ DVD オーディオ (VCAP) は P 1 / 3 をタッチする。

2 SUB T. にタッチする

タッチすることによりディスクに記録されている字幕言語が切りかわる。また字幕をOFFにする。

■ Memo

- 字幕言語変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。そのときはディスクメニューから選んでください。
- 電源投入時／ディスク交換時は初期設定で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。但し、ディスクによっては、異なる場合があります。
- ディスクによってはOFFに設定しても、サブタイトルが表示される場合があります。但し、ディスクによっては、異なる場合があります。
- DVD オーディオはVCAPに設定している場合、操作することができます。（「DVDオーディオ再生モードを設定する (DVD-A Setup)」50ページ参照）

お知らせ

- ディスクメニューからの切りかえディスクによって異なりますが、音声言語、アングル、サブタイトルをディスクメニューから切りかえることができます。
1 [MENU] または [TOP MENU] にタッチして、メニューを表示させる。
2 項目を選び、設定する。（「メニュー画面が表示されたら」(23ページ) 参照）
- [WIDE] にタッチすると、表示モードが切りかわります。操作については「表示モードを切りかえる」(40ページ) をご覧ください。

画面の見かた

iPod/iPhone を本機に接続すると、本機から操作することができます。その際 iPod/iPhone からの操作はできなくなります。

- iPhone や iPod touch のインターネット機能や電話機能等は本機から操作することはできませんが、iPhone や iPod touch 本体を操作して使用することができます。
- iPhone を本機に接続すると iPod として使用することができます。iPhone をハンズフリー電話として使用するには、別売の BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) が必要です。

■ iPod/iPhone 画面表示例とタッチ操作例

<1/2 画面>



<2/2 画面>



- 1 11 ページをご参照ください
- 2 ソース名表示
- 3 プレイタイムバー
- 4 再生経過時間
- 5 残り再生時間
- 6 曲（ファイル）が戻ります
- 7 一時停止します
- 8 曲（ファイル）が進みます
- 9 サーチで選択しているアイテムがダイレクトに選べます（「ダイレクト UP/DOWN 機能」(34 ページ) 参照）
- 10 iPod/iPhone 内の全曲をシャッフルします
- 11 サーチ機能に切りかわります
- 12 ファンクションメニューを切りかえます
- 13 12 ページをご参照ください
- 14 シャッフル再生します
- 15 リピート再生します
- 16 ファンクションメニューを切りかえます

■ Memo

- 本機で英数、記号、カタカナ、ひらがな、第一水準漢字、一部の第二水準漢字に対応しています。また、第二水準漢字に対応しない場合、<■>と表示されます。
- 本機で表示できない文字情報の場合、< NO SUPPORT >と表示されます。
- 日本語は最大 64 文字、英数記号は最大 128 文字まで表示することができます。
- 文字を正確に表示できない場合があります。
- “走行中は安全のため表示できません”とメッセージが表示されたら、車を停止（パーキングブレーキを引いた状態）させてから、iPod/iPhone などの映像を楽しんだり、操作を行ってください。

聴きたい曲（ファイル）を選ぶ

⏮ にタッチする

再生中の曲（ファイル）の頭に戻ります。タッチ続けると前の曲（ファイル）の頭出しをします。

⏭ にタッチする

次の曲（ファイル）に進みます。

■ Memo

- Podcast 及びオーディオブックがチャプター対応の場合は、[⏮] または [⏭] で選択することができます。

早送り／早戻しをする

⏮ にタッチし続ける

早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。

⏭ にタッチし続ける

早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。

一時停止する

⏸ にタッチする

< Pause >と表示し、再生が一時停止します。再度タッチすると再生を開始します。

曲順を変えて聴く Shuffle (M.I.X.)

曲（ファイル）を順不同に再生させることができます。

1 iPod 操作画面でファンクションメニュー P 1/2 にタッチする

2 ⌘ にタッチする

- ⌘ にタッチするたびに、M.I.X. モードが切りかわります。

■タッチスイッチ表示

音楽ソース	ミックス再生モード	
iPod	M.I.X. ALBUMS <🔀📀>	M.I.X. SONGS <🔀🎵>

M.I.X. ALBUMS (ミックス・アルバム) :

iPod/iPhone 内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに再生します。

M.I.X. SONGS (ミックス・ソング) :

サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内の曲を全曲、順不同に再生します。

■ Memo

- ミックス・アルバム / ミックス・ソングは、iPod/iPhone のシャッフル・アルバム / シャッフル・曲と同じ動作になります。

解除するには

🔀 を繰り返しタッチする

通常の再生に戻ります。

曲順を変えて聴く Shuffle All (M.I.X. All)

iPod/iPhone 内の全曲を順不同に再生させることができます。

🔀 ALL にタッチする

曲が順不同に再生されます。

■タッチスイッチ表示

音楽ソース	ミックス再生モード
iPod	M.I.X. ALL <🔀 ALL>

解除するには

🔀 ALL にタッチする

通常の再生に戻ります。

■ Memo

- ビデオファイル再生時には、本操作はできません。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

iPod モードでのリピート機能は、1 曲リピートのみになります。

1 iPod 操作画面でファンクションメニュー P 1/2 にタッチする

2 🔁 にタッチする

■タッチスイッチ表示

音楽ソース	リピート再生モード
iPod	REPEAT ONE <🔁>

REPEAT ONE :

再生中の曲 (ファイル) を繰り返し再生します。

解除するには

🔁 にタッチする

通常の再生に戻ります。

■ Memo

- 接続する iPod によっては、リピート再生中は [⏮]、[⏭] にタッチして他の曲を選ぶことはできない場合があります。
- ミックス・リピート両方を設定するとどちらのインジケータも表示されますが、動作は 1 曲リピートになります。

聴きたい曲／タイトルを探す

iPod/iPhone には数百曲・数千曲が入るため聴きたい曲を探し出すのが大変です。そのため、本機ではサーチ機能を使用して様々な検索を行うことができます。

検索には大きく 8 つのサーチモードがあります。それぞれのサーチモードには下表のように階層があり、より絞り込んだ検索ができます。

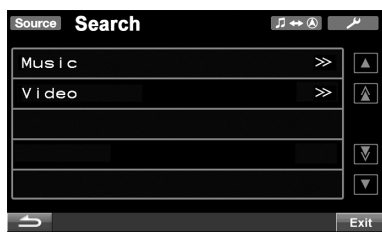
第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
Playlists	Songs	—	—
Artists	Albums	Songs	—
Albums	Songs	—	—
Songs	—	—	—
Podcasts	Episodes	—	—
Genres	Artists	Albums	Songs
Composers	Albums	Songs	—
Audiobooks	—	—	—

(次ページへつづく)

ここでは、アーティストサーチを例に説明します。ほかのサーチモードの場合でも、検索できる階層は異なりますが、同様の操作で検索ができます。

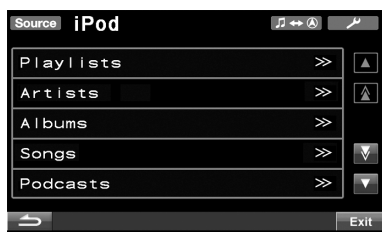
1 iPod 操作画面で にタッチする

サーチモードになります。



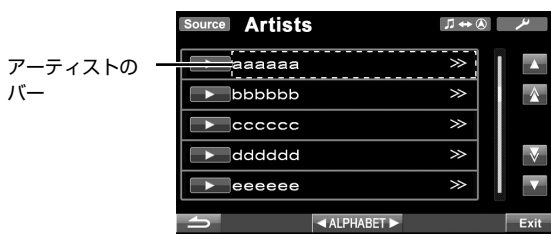
2 Music >> にタッチする

Music サーチモードになります。



3 Artists >> にタッチする

Artist サーチモードになり、アーティスト名がリスト表示されます。



4 希望のアーティストにタッチする

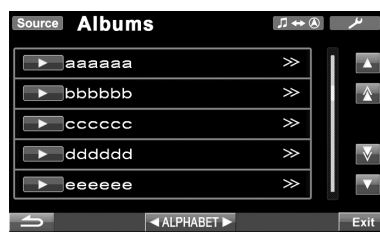
ダイレクトにアーティストの曲を再生する

 にタッチした場合は、選択したアーティストの全ての曲を再生します。

アーティストのアルバムを検索する

選んだアーティストのバーにタッチする。

選択したアーティストの Album サーチモードになり、アルバム名がリスト表示されます。

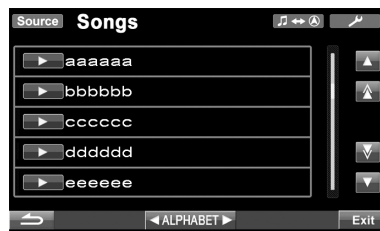


 にタッチした場合は、選択したアルバムの全ての曲を再生します。

アルバムの曲を検索する

「アーティストのアルバムを検索する」で、希望のアルバムのバーにタッチする。

選択したアルバムの Song サーチモードになり、曲名がリスト表示されます。



希望の曲の にタッチする

選択した曲が再生されます。

■ Memo

- サーチメニューおよびサーチリスト表示中に、リストを直接タッチして選択することもできます。
- リスト表示時にダイレクトサーチ / アルファベットスキップ機能を使うことができます。詳しくは「ダイレクトサーチ / アルファベットスキップ機能」(33 ページ) を参照してください。
- サーチモード中に [] に 2 秒以上タッチすると、サーチモードは解除されます。
- [] にタッチすると、1 つ前の項目に戻ります。
- 本機で対応していない文字情報の場合、< NO SUPPORT > と表示されます。
- サーチモード中、ALL のバーにタッチすると、次の階層の全てのタイトルを検索することができます。例えば、アーティストサーチモードで ALL のバーにタッチして全アルバムのリストが表示されます。

見たい映像を探す

ビデオ対応 iPod 接続時、映画やミュージックビデオなどを、リスト表示から選択することができます。

ビデオファイルサーチは、基本的に iPod の動作に準じます。iPod 側の仕様変更に伴い、本機でのサーチモードも変更になる場合があります。

■ Memo

- System Setup の「外部入力の設定 (AUX2 IN)」(57 ページ) で iPod Video に設定した場合は、操作できます。

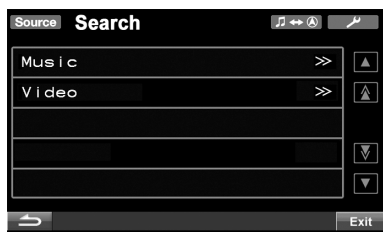
■ ビデオサーチモード例

- ・ Video Playlists
- ・ Video
- ・ Music Videos など

ここでは Video サーチを例に説明します。他のサーチモードの場合でも検索できる階層は異なりますが、同様の操作で検索ができます。

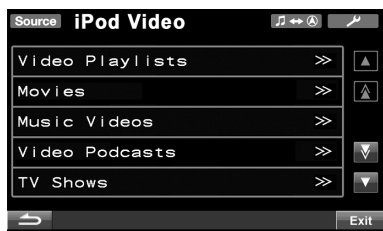
1 iPod 操作画面で にタッチする

サーチモードになります。



2 にタッチする

Video サーチモードになります。



3 にタッチする

ビデオファイルリストが表示されます。

4 希望のビデオファイルの にタッチする

選んだビデオが再生されます。

■ Memo

- ダイレクトサーチ機能を使用してより効率良く検索することができます。詳しくは「ダイレクト UP/DOWN 機能」(34 ページ) を参照してください。
- M.I.X. 再生中にサーチ機能を使用すると、M.I.X. モードは解除されます。

ダイレクトサーチ / アルファベットスキップ機能

本機にはより効率よく検索するために、ダイレクトサーチ / アルファベット スキップ機能が用意されています。それぞれのサーチモード時に利用することで、探したいアーティストや曲などをすばやく探し出すことができます。

ここでは、Song サーチを例に説明します。

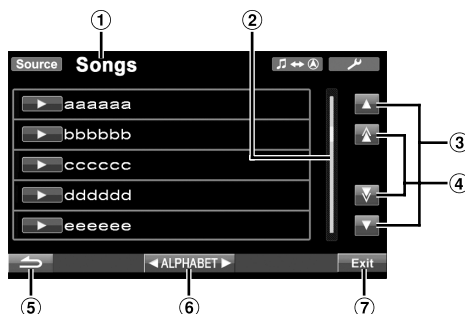
ダイレクトサーチ：

ダイレクトサーチバーを上下方向に移動させるとお好みの曲を選びます。

アルファベットスキップ機能 (ALPHABET)：

「A → B」のように次のアルファベット順にスキップします。または、「B → A」のように逆送りすることもできます。

■ Song サーチ画面表示例とタッチ操作例



- 1 現サーチモード名を表示します
- 2 ダイレクトサーチバー
- 3 リストを一行ずつスクロールする
- 4 1 ページずつ切りかえる
- 5 1 つ前のリスト画面に戻る
- 6  または  にタッチすると希望のアルファベットにスキップされます
タッチし続けると連続で切りかわります
- 7 元のメイン画面に戻る

■ Memo

- 同じアルファベットのタイトルが 200 以上連続している場合、200 タイトルずつスキップしアルファベット内でのスキップが終わった後に次のアルファベットへスキップします。
- タイトルが「A」または「THE」の冠詞で始まるタイトルの場合、「A」または「THE」の次の頭文字がアルファベットスキップ機能の検索対照となります。例えば、タイトルが「A PLAYER」または「THE PLAYER」の場合、「A」「THE」の次のアルファベット「P」が検索の対照となります。その際、ディスプレイに表示されるタイトルは「A PLAYER」、「THE PLAYER」と表示されます。
- リストの並び順は、iPod/iPhone の仕様に依存します。

サーチポジションメモリー

再生時、サーチモードで最後に曲を決定した階層にすぐに戻ることができます。

🔍 に2秒以上タッチする

サーチモードで最後に曲を決定した階層が表示されます。

ダイレクト UP/DOWN 機能

例えばサーチモードでアルバムを選択して決定すると、そのアルバムを繰り返し再生します。

その場合ダイレクトアップ / ダウン機能を使用すると、簡単に別のアルバムを選ぶことができます。

画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで最後に決定したモードになります。

■ダイレクトサーチメニュー表示

現在どのアイテムを UP/DOWN できるかは、ダイレクトアップダウンメニューに表示されます。



ダイレクトアップダウンスイッチ

▼ にタッチする

前のアイテムに戻ります。

▲ にタッチする

次のアイテムに進みます。

■ Memo

- サーチを行っていない、または SONG サーチを行った場合は、操作できません。
- ビデオサーチ時にも、ダイレクトサーチ機能を利用することができます。
- アーティストサーチからアルバムを絞り込んだ場合は、アルバムが対象となります。
- M.I.X. (シャッフル) 再生中は、操作できません。

BANK 機能 (USB メモリ)

本機は、USB メモリ / ポータブルオーディオ内の曲を、自動的に 1,000 曲毎に分割する BANK 機能があります。BANK とは、USB メモリ / ポータブルオーディオ内の 1,000 曲分の音楽ファイルをスキャンし、タグ情報を製品内部にライブラリ化します。

USB メモリ接続時は、1Bank 内の総ファイル数 1000 曲は以下の条件で書き込まれている場合の保証値であり、条件が違う場合は 1000 曲以下となる場合があります。

条件 (以下の構成での試算値)

Playlist : 32 文字 (64Byte) × 20 個
Genre : 32 文字 (64Byte) × 10 種類
Composer : 32 文字 (64Byte) × 30 種類
Artist : 32 文字 (64Byte) × 30 種類
Album : 32 文字 (64Byte) × 100 種類
Title : 32 文字 (64Byte) × 1000 種類
Folder : 32 文字 (64Byte) × 100 種類
File : 32 文字 (64Byte) × 1000 種類
File Path : 128 文字 (256Byte) × 1000 種類

1 つの Bank に最大 1,000 曲格納され、最大 20Bank (20,000 曲) まで認識します。この 1,000 曲単位でライブラリ化されたものを Bank と呼び、Bank 構築中の動作を Banking と呼びます。初期設定では 1 ~ 1,000 曲までが格納される Bank1 内の操作になるため、1,001 曲 (Bank2) で以降を選択する場合は、下記の Bank 切り替え操作を行ってください。

BANK No.	曲 数
BANK 1	1 ~ 1,000
BANK 2	1,001 ~ 2,000
⋮	⋮
BANK 20	19,001 ~ 20,000

1 USB Audio 操作画面で、**P 1 / 2** にタッチする

2 ▼ BANK ▲ にタッチする

選択された BANK 内で各操作を行うことができます。

■ Memo

- BANK 内に登録される順番は、USB メモリ / ポータブルオーディオに書き込まれた順番となるため、パソコン上 (エクスプローラーなど) で表示される順番と異なる場合があります。そのため同じフォルダ内のファイルであっても、次の BANK に別れる場合があります。
- BANKING 中は "Banking" と表示され、電源 ON 時や車両 ACC ON 時、または USB メモリー接続時、他の BANK 選択時に BANKING が開始されます。BANKING が終了する時間は数秒から数分程度かかる場合もありますが、USB メモリ / ポータブルオーディオ内のファイル数やフォルダ数により異なります。

■ BANKING 中の操作について

- BANKING 中 (BANK 構築中) はサーチやタグ情報表示切り替えは正しく動作しません。
- 通常の早送りや次の曲を選ぶなどの操作は可能です。しかし、ポータブルオーディオが接続された時に、BANKING 中 (BANK 構築中) は音声が出れません。
- BANKING 中に再生される曲順は、USB メモリ / ポータブルオーディオ内の曲順と異なる場合があります。

聴きたい曲 (ファイル) を選ぶ

◀◀ にタッチする

再生中の曲 (ファイル) の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲 (ファイル) の頭出しをします。

▶▶ にタッチする

次の曲 (ファイル) に進みます。

早送り / 早戻しをする (USB メモリ / チェンジャー)

◀◀ に2秒以上タッチする

早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。

▶▶ に2秒以上タッチする

早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。

■ Memo

- 接続するポータブルオーディオプレーヤーによっては、早送り / 早戻しを行うことはできない場合があります。

一時停止する

▶ / || にタッチする

< Pause > を表示し、再生が一時停止します。再度タッチすると再生を開始します。

聴きたいディスクを選ぶ (チェンジャー)

6 連奏チェンジャー

1 CD チェンジャモードメイン画面で、**P 1 / 2** ※ にタッチする

※ MP3 対応チェンジャーまたは DVD チェンジャー接続時は、ディスク No. が表示されるまでタッチする。

2 DISC 1 ~ DISC 6 のいずれにタッチする

選択したディスクの最初の曲が再生されます。

12 連奏チェンジャー

1 CD チェンジャーモードメイン画面で、**P 1/3** → **P 2/3** にタッチする

ファンクションガイドの内容が切りかわる。

2 **DISC 1** ~ **DISC 12** のいずれかにタッチする

選択したディスクの最初の曲が再生されます。

■ Memo

- 別売の Virsatile Link Terminal (KCA-410C) を使用し、チェンジャー 2 台を接続している場合は、ファンクションメニュー上の [CHG SEL] にタッチしてまたは「BAND」を押して製品を選びます。
- 別売の DVD チェンジャーを接続した場合、CD チェンジャー同様に本機から操作することができます。詳しい操作については、DVD チェンジャー側の取扱説明書をご覧ください。
- 12 連奏チェンジャー (CHA-1214) は現在発売されていません。

聴きたいフォルダを選ぶ

▼ ■ ▲ にタッチしてフォルダを選ぶ

■ Memo

- USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤーの M.I.X. 再生中には、本操作を行うことはできません。
- USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー接続時に、「聴きたい曲 / タイトルを探す」(37 ページ) で選択したアイテム (アルバムなど) を再生している場合は、ほかのアイテムに切りかわります。詳しくは、「ダイレクト UP/DOWN 機能」(34 ページ) を参照してください。

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲 (ファイル) を順不同に再生させることができます。

1 各音楽ソース画面上のファンクションメニュー **P 1/2** にタッチする

2 に繰り返しタッチする

音楽ソースによってミックス再生の種類が異なります。それぞれのミックス再生モードは右上の表を参照してください。

■ タッチスイッチ表示

音楽ソース	ミックス再生モード	
USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー (MP3/WMA/AAC)	M.I.X. SONGS <  >	M.I.X. ALL <  >
チェンジャー (CD)	M.I.X. ONE *1 <  >	M.I.X. ALL <  >
チェンジャー (MP3)	M.I.X. ONE *1 <  >	M.I.X. FOLDER <  >

※ 1 REPEAT DISC 中に M.I.X. ONE にすると、そのディスク内での M.I.X. 演奏になります。

M.I.X. SONGS :

サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内の曲を全曲、順不同に再生します。

M.I.X. ONE :

1 枚のディスクの全曲を順不同に再生し、次のディスクに移動します。

M.I.X. FOLDER :

フォルダ内のファイルを順不同に再生します。

M.I.X. ALL :

- USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー内の全曲を順不同に再生します。
- すべてのディスクの全曲を順不同に再生します。(M.I.X. ALL 対応チェンジャーのみ)

解除するには

に繰り返しタッチする

通常の再生に戻ります。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

曲 (ファイル) を繰り返し再生させることができます。

1 各音楽ソース画面で **P 1/2** にタッチする

2 に繰り返しタッチする

音楽ソースによってリピート再生の種類が異なります。それぞれのリピート再生モードは下表を参照してください。

■ タッチスイッチ表示

音楽ソース	リピート再生モード		
USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー (MP3/WMA/AAC)	REPEAT ONE <  >	—	—
チェンジャー (CD)	REPEAT ONE <  >	REPEAT DISC *2 <  >	—
チェンジャー (MP3)	REPEAT ONE <  >	REPEAT FOLDER <  >	REPEAT DISC *2 <  >

※ 2 M.I.X. ONE 中に REPEAT DISC にすると、そのディスク内での M.I.X. 演奏になります。

REPEAT ONE :

再生中の曲（ファイル）を繰り返し再生します。

REPEAT FOLDER :

フォルダ内のファイルを繰り返し再生します。

REPEAT DISC :

ディスク内の曲を繰り返し再生します。

解除するには

🔄 に繰り返しタッチする

通常の再生に戻ります。

アーティスト / アルバムのプレイリスト作成 (USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー)

現在 BANK 内の曲を再生しているときに、その再生している曲のタグ情報からアーティストまたはアルバムの全ての曲をプレイリスト作成することができます。

1 再生中に、ファンクションメニュー P 1 / 2 にタッチする

2 X-RPT ALBUM または X-RPT ARTIST にタッチする

X-RPT ALBUM : 現在 BANK 内で再生しているアルバムのプレイリストを作成し、そのアルバムを繰り返し再生します。

X-RPT ARTIST : 現在 BANK 内で再生しているアーティストのプレイリストを作成し、そのアーティストを繰り返し再生します。

聴きたい曲 / タイトルを探す (USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー)

本機ではサーチ機能を使用して様々な検索を行うことができます。

検索には大きく 8 つのサーチモードがあります。それぞれのサーチモードには下表のように階層があり、より絞り込んだ検索ができます。

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
Playlists *1	Songs	—	—
Artists	Albums	Songs	—
Albums	Songs	—	—
Songs	—	—	—
Genres	Artists	Albums	Songs
Composers	Albums	Songs	—
Folders *2	Files	—	—
Files	—	—	—

※ 1 ポータブルオーディオプレーヤー接続時は、Playlist を選択することができません。

※ 2 ルートフォルダは < ROOT > 表示になります。

ここでは、アーティストサーチを例に説明します。ほかのサーチモードの場合でも、検索できる階層は異なりますが、同様の操作で検索ができます。

■ Memo

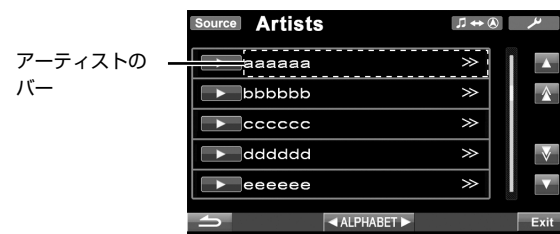
- ・ダイレクトサーチ機能 / アルファベットのスキップ機能を使用し、より効率良く検索することができます。詳しくは「ダイレクトサーチ / アルファベットのスキップ機能」(38 ページ) をご参照ください。

1 🔍 にタッチする

サーチモードになります。

2 Artists > にタッチする

Artist サーチモードになり、アーティスト名がリスト表示されます。



3 希望のアーティストにタッチする

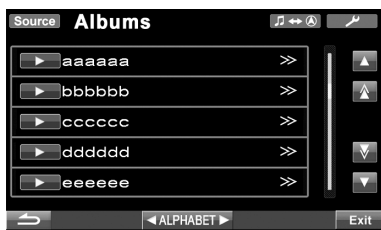
ダイレクトにアーティストの曲を再生する

▶ にタッチすると、選択したアーティストのすべてのファイルを再生することができます。

アーティストのアルバムを検索する

選んだアーティストのバーにタッチする。

選択したアーティストの Album サーチモードになり、アルバム名がリスト表示されます。

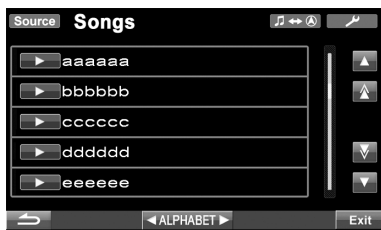


▶ にタッチした場合は、選択したアルバムの全ての曲を再生します。

アルバムの曲を検索する

「アーティストのアルバムを検索する」で、希望のアルバムのバーにタッチする。

選択したアルバムの Song サーチモードになり、曲名がリスト表示されます。



希望の曲の ▶ にタッチする

選択した曲が再生されます。

■ Memo

- サーチメニューおよびサーチリスト表示中に、リストを直接タッチして選択することもできます。
- M.I.X. 再生中にサーチ機能を使用すると、M.I.X. モードは解除されます。
- サーチモード中に [↵] に 2 秒以上タッチすると、サーチモードは解除されます。
- サーチモード中に [↵] にタッチすると、1 つ前の項目に戻ります。
- 本機で対応していない文字情報の場合、< NO SUPPORT > と表示されます。
- サーチモード中、ALL のバーにタッチすると、次の階層の全てのタイトルを検索することができます。例えば、アーティストサーチモードで ALL のバーにタッチして全アルバムのリストが表示されます。

サーチポジションメモリー

再生時、サーチモードで最後に曲を決定した階層にすぐに戻ることができます。

🔍 に 2 秒以上タッチする

サーチモードで最後に曲を決定した階層が表示されます。

ダイレクト UP/DOWN 機能

「聴きたい曲／タイトルを探す」(37 ページ) で選択したアイテム (Album など) を再生している場合、簡単な操作で聴きたいアイテムに切りかえることができます。

例えば、任意の Album に絞り込んでお聴きの場合は、ほかの Album に切りかえることができます。

▼ にタッチする

前のアイテムに戻ります。

▲ にタッチする

次のアイテムに進みます。

■ Memo

- PLAYLIST/ARTIST/ALBUM/GENRE/COMPOSER/FOLDER サーチをしていない場合は、操作できません。
- SONG/FILE サーチをした場合は、操作できません。
- タイプの異なるアイテムを選択することはできません。
- M.I.X. 再生しているときは操作できません。

ダイレクトサーチ / アルファベットスキップ機能

本機にはより効率よく検索するために、ダイレクトサーチ / アルファベット スキップ機能が用意されています。それぞれのサーチモード時に利用することで、探したいアーティストや曲などをすばやく探し出すことができます。詳しくは 33 ページをご参照ください。

■ Memo

- アルファベットスキップは UTF-16 の文字コードで記述されたアルファベットのみが選択対象となります。
- アルファベットスキップのリストの並び順は (USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー) の仕様依存します。
- PLAYLIST サーチモードでは、この機能は使用できません。

サーチ機能

1 CD、MP3/WMA/AAC または DivX® モード時に、ファンクションガイドの にタッチする

サーチリスト画面が表示される。

お好みのトラックまたはフォルダを選ぶ。

- ・グイレクト再生する場合は  にタッチする。
- ・下の階層にリストがある場合は [>>] が表示される。
そのバーにタッチするとその下の階層のリスト画面に切りかわる。



- 1 ダイレクト選択となり、そのトラック / フォルダ / ファイルが再生される
- 2 下の階層にリストがある場合は [>>] が表示される
- 3 リストを一行ずつスクロールする
- 4 1 ページずつ切りかえる
- 5 1 つ前のリスト画面に戻る
- 6 元のメイン画面に戻る

■ Memo

- ・DVD、ビデオ CD、CD チェンジャーでは、サーチ機能はありません。
- ・DVD プレーヤー (DVA-5210)、MP3 対応チェンジャー接続時には、MP3/WMA/AAC 再生時のみフォルダリストを表示します。

内蔵 CD モード

1 トラックテキスト※画面に切りかわる

※ CD テキスト対応ディスクの場合のみ。

2 お好みのトラックテキスト※の にタッチする

選んだトラックが再生される。

※ CD テキスト対応ディスクの場合のみ。

■ Memo

- ・CD にテキストがない場合は、トラックテキストリストに "TRACK" と表示します。

内蔵 MP3/WMA/AAC/ DivX® プレーヤー / 外部 MP3 対応 DVD プレーヤー / チェンジャーモード

1 フォルダリスト画面に切りかわる

お好みのフォルダ名のバーにタッチする。(選択したフォルダにファイルがある場合は [>>] が表示される。)

ファイルリスト画面が表示される。

- ・フォルダ内の全曲を一曲目から再生する場合は  にタッチする。

2 お好みのファイル名の にタッチする

選んだファイルが再生される。

リアエンター機能

リアエンター機能を設定すると、車室内のフロント席とリア席で、それぞれ独立した空間をつくり出すことができます。たとえば、フロント席でラジオなどのオーディオソースを聴きながら、リア席では別売リアモニターの使用で DVD などを楽しむことができます。

1 通常画面で を押す

ソース選択画面が表示されます。

2 にタッチする

リア選択画面が表示されます。



3 希望の映像系ソースにタッチする

リアモニターに映像が出力されます。

(次ページへつづく)

Memo

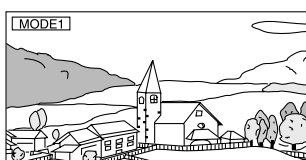
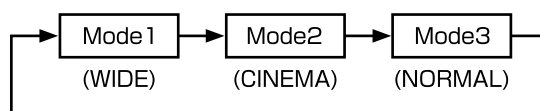
- System Setup の「外部モニター出力の設定 (AUX Out)」(57 ページ) を ON に設定してください。
- System Setup の「外部入力の設定 (AUX1 IN)」(57 ページ) が OFF の場合、または「外部入力の設定 (AUX2 IN)」(57 ページ) を iPod Video にした場合、外部入力ソースは表示されません。
- iPod は Video ファイル再生時のみ選択できます。
- リアモニターをリモコン操作する場合は「リモコン受光部を切りかえる (Remote Sensor)」(55 ページ) を参照してください。
- [Of] にタッチすると、この機能は解除されます。
- リア席で DVD CHG/EXT.DVD (Ai-Net 系) などの映像を見るにはメインソース (フロント席) では同じな映像を見てください。

表示モードを切りかえる

この操作は停車中に行ってください。

1 映像系ソース時に、各ソースメイン画面上の **WIDE** にタッチする

タッチするたびに表示モードが切りかわる。



ノーマル映像を水平方向に均等に広げ、画面いっぱいに表示します。



ノーマル映像を水平・垂直両方向に拡大します。
16:9 のシネマサイズの映像に適しています。



通常のテレビ放送 (4:3) の映像は中央に映ります。
(ノーマル映像)

Memo

- 映像ソースモード時、本体の「BAND」を押すたびに表示モードを切りかえることができます。

音声はそのまま映像ソースのみを切りかえる (サイマル機能)

音声ソースをそのまま、見たい映像だけを切りかえることができます。

1 メインディスプレイを立ち上げた時に **VISUAL** を押す

VISUAL 選択画面に切りかわる。

2 お好みの映像ソースにタッチする

選んだ映像ソースに切りかわる。

サイマル機能を解除するには

1 メインディスプレイを立ち上げた時に **VISUAL** を押す

2 **Normal** にタッチする

サイマル機能は解除される。

Memo

- 別売の DVD ビデオプレイヤーを接続している場合は、サイマル機能で DVD 映像 / 音声を呼び出すことができます。
DHA-S680 を接続している場合は、付属リモコンの V.OUT スイッチを 2 秒以上押すと、DVD 映像 / 音声呼び出せます。
また、DVA-5210 または DHA-S690 を接続している場合は、付属リモコンの V.OUT を押すと、DVD 映像 / 音声呼び出せます。
- 音声ソースがナビゲーションモードの時はサイマル機能は使用できません。
- System Setup の「外部入力の設定 (AUX1 IN)」(57 ページ) が OFF の場合、または「外部入力の設定 (AUX2 IN)」(57 ページ) を iPod Video にした場合、外部入力ソースは表示されません。
- DVD CHG/EXT.DVD (Ai-Net 系) などを選んだらメインソースでは同じなソースを選んでください。

バックライトを OFF にする (BLACK OUT 機能)

メインディスプレイ表示部のバックライトを消灯することで、よりよい高音質を実現させることができます。

- 1 メインディスプレイを立ち上げた時に、 を押す

VISUAL 選択画面が表示される。

- 2  にタッチする。

メインディスプレイ表示部のバックライトが消える。

- 3 解除するには、再度  にタッチする。

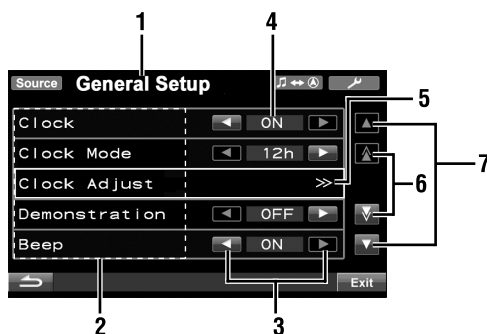
■: Memo

- バックライトが消灯しているときに他のスイッチ操作を行った場合、表示部のバックライトを 5 秒間だけ点灯させ、再び消灯させます。

SETUP (セッティング)

画面の見かた

<General Setup 例>



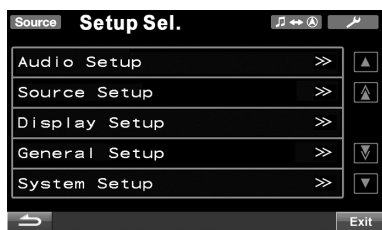
- 1 セットアップモード名
- 2 設定項目
- 3 設定が切りかわります
- 4 設定
- 5 [>>] があればこのバーにタッチすると次の階層へ切りかわります
- 6 1 ページずつ切りかわります
- 7 1 項目ずつ上下にスクロールします

セッティング (SETUP) する

本機には、さまざまなセッティング (SETUP) 機能が用意されています。自分好みの設定に変更してお使いください。設定の調整は、車を停止させてから行ってください。

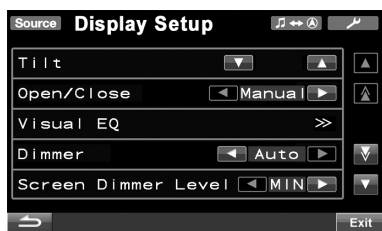
1 にタッチする

セッティング選択画面が表示されます。

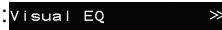


2 お好みの設定のバー (例: >>) にタッチする

設定画面になります。



3 お好みの設定項目 または 、 または にタッチし、設定をかえる

[>>] があればそのバー (例:  >>) にタッチし、設定画面に切りかわります。

■ Memo

・詳細はそれぞれの設定項目をご参照してください。

4 に 2 秒以上タッチする

通常モードに戻ります。

■ Memo

・セッティング中に  を押すと、1 つ前の項目に戻ります。

Audio Setup (サウンド調整) 項目一覧

設定項目	切替内容		参照 ページ
Audio Setup			
Balance/ Fader	Balance	L15-R15	43 ページ
	Fader	F15-R15	43 ページ
Bass/ Treble * 1/ * 7	Bass Level	-7 ～ +7	43 ページ
	Treble Level	-7 ～ +7	43 ページ
Subwoofer	ON/OFF		43 ページ
	Level * 2/ * 3	0 ～ 15	43 ページ
	Phase * 2/ * 3/ * 6	0°/180°	43 ページ
	System * 2/ * 3/ * 6	System1/ System2	43 ページ
	Channel * 2/ * 3/ * 6	Stereo/Mono	44 ページ
Subw. Level * 8	0 ～ 15		44 ページ
Nav.Mix Level * 1/ * 2/ * 4	0 ～ 15		44 ページ
Media * 6 Xpander	ON/OFF		44 ページ
	MX Level * 1/ * 2/ * 5	No Effect/Level 1/ Level 2/Level 3	44 ページ
Time Correction * 2/ * 6	Front L/Front R/Rear L/Rear R/Subw.L/Subw.R		44 ページ
T.Corr Parameter * 2/ * 6	cm/Inch		44 ページ
EQ Select * 1/ * 2	G-EQ	-6 ～ +6	45 ページ
	P-EQ	Band/Freq./Level/Q	45 ページ
H.P.F. * 2	Front H.P.F.	OFF/60Hz/ 80Hz/100Hz	45 ページ
	Rear H.P.F.	OFF/60Hz/ 80Hz/100Hz	45 ページ
Defeat	ON/OFF		45 ページ

・A. Processor 操作については、「外部オーディオプロセッサーを設定する」(59 ページ) をご覧ください。

※ 1 「ディフェイト設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON の時に設定を行うことができません。

※ 2 外部オーディオプロセッサー接続時は、設定を行うことができません。

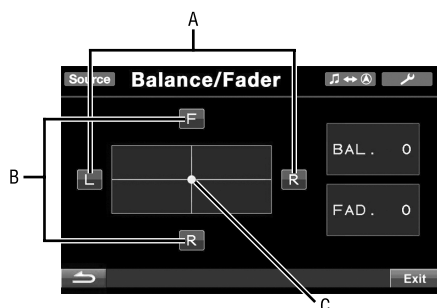
- ※ 3 「サブウーハー接続 (Subwoofer)」 (43 ページ) が ON の時に調整を行うことができます。
- ※ 4 Navi Mix が OFF の時は表示しません。
- ※ 5 MX が ON の時に調整を行うことができます。
- ※ 6 車を停止 (パーキングブレーキを引いた状態) させてから表示されます。
- ※ 7 別売の IMPRINT オーディオプロセッサ (PXA-H100) が必要になります。IMPRINT オーディオプロセッサを接続した時は MultEQ を OFF に設定すると、設定を行うことができません。
- ※ 8 外部オーディオプロセッサ接続時、「スピーカーの設定をする」 (63 ページ) の Subwoofer を OFF 以外モードに設定すると表示されます。

■: Memo

- AUDIO 設定は、外部オーディオプロセッサ、または IMPRINT オーディオプロセッサ (PXA-H100) 接続時には、さらに細かい設定ができます。詳しくは、「外部オーディオプロセッサの操作 (オプション)」 (59 ページ)、または「IMPRINT (オプション)」 (66 ページ) を参照してください。

バランス／フェダー 調整 (Balance/Fader)

前後左右のスピーカー音量を調整することができます。



◆A バランス調整

L (左) または **R** (右) にタッチし、左右のスピーカー音量を調整します。

設定内容 : L 15 ~ R 15 (出荷時の設定 : センター)

◆B フェダー調整

F (前) または **R** (後) にタッチし、前後のスピーカー音量を調整します。

設定内容 : F 15 ~ R 15 (出荷時の設定 : センター)

◆C バランス／フェダーをダイレクトに設定する

■ にタッチしながらお好の設定値へ移動させます。または、お好みの設定範囲値へタッチすると ■ がそのタッチした場所へ移動します。微調整をする場合は、A または B の操作で行ってください。

バス／トレブル調整 (Bass/Treble)

低高音域を強調したり、弱めたりすることができます。

Bass/Treble >> にタッチして、設定画面に切りかわります。

◀ または ▶ にタッチし、お好みで調整する。

◆ Bass Level (低音の強調)

低音域強めたり、弱めたりします。

設定内容 : -7 ~ +7 (出荷時の設定 : 0 (センター))

◆ 高音の強調 (Treble Level)

高音域を強めたり、弱めたりします。

設定内容 : -7 ~ +7 (出荷時の設定 : 0 (センター))

サブウーハー接続 (Subwoofer)

Subwoofer の ◀ または ▶ にタッチし、設定をかける。

設定内容 : ON (出荷時の設定) / OFF

ON : サブウーハー接続時に設定します。

OFF : サブウーハー未接続時に設定します。

Subwoofer ON 設定後、**Subwoofer** >> にタッチすると Subwoofer 設定画面に切りかわります。

◀ または ▶ にタッチし、お好みで調整する。

■: Memo

- Level 設定する場合は、◀ または ▶ にタッチし、調整してください。

◆ Level (サブウーハーレベル設定)

サブウーハーレベルを調整します。

設定内容 : 0 ~ 15 (出荷時の設定 : 0)

◆ Phase (サブウーハー出力の位相設定)

サブウーハー出力の位相 (0° / 180°) を切りかえます。お好みの音が得られる方を選んでください。

設定内容 : 0° (出荷時の設定) / 180°

◆ system (サブウーハーの設定)

別売のサブウーハーの効果を設定することができます。

設定内容 : System 1 (出荷時の設定) / System 2

System 1 : 音量と連動してサブウーハー効果が得られます。

System 2 : 音量が低くてもサブウーハー効果が得られます。

◆ Channel (サブウーハー出力の設定)

本機のサブウーハー出力をステレオ出力またはモノラル出力に設定することができます。組み合わせるサブウーハーに合わせて設定してください。

設定内容 : Stereo (出荷時の設定) / Mono

Stereo : サブウーハー出力をステレオ (L / R) で出力します。

Mono : サブウーハー出力をモノラルで出力します。

サブウーハーレベル (Subw.Level)

外部オーディオプロセッサ接続時に、サブウーハーのスピーカを OFF 以外のモードに設定した場合はレベルを調整できます。

設定内容 : 0 ~ 15 (出荷時の設定 : 0)

NAV. LEVEL 調整 (Nav.Mix Level)

Nav.Mix Level の ◀ または ▶ にタッチし、ナビゲーション割り込みの音量を調整する。

設定内容 : 0 ~ 15

■ Memo

- 「ナビゲーション音声の割り込み設定」(57 ページ) で Nav. Mix が ON 設定時にレベル調整ができます。

MX モードの設定 (Media Xpander)

MX (Media Xpander) モードでは、FM ラジオ / CD / iPod/iPhone など音楽モードごとにボーカルや各楽器の音を最適化し、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

Media Xpander の ◀ または ▶ にタッチし、設定をかえる。

設定内容 : ON/OFF (出荷時の設定 : OFF)

Media Xpander ON 設定後、Media Xpander >> にタッチする。Media Xpander 設定画面に切りかわります。

MX FM : No Effect, Level 1 ~ 3

こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生します。

MX CD : No Effect, Level 1 ~ 3

情報量豊富な CD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生します。

MX CPM (MP3/WMA/AAC/iPod/iPhone) : No Effect, Level 1 ~ 3

圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生します。

MX DVD (Video CD) : No Effect, Level 1 ~ 3

- MX レベル 1 ~ 2 : 映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生します。
- MX レベル 3 : ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生します。

MX AUX : No Effect, Level 1 ~ 3

接続するメディアに対応した MX モードが選べます。

■ Memo

- MX レベルで No Effect を選んだ場合は、現在の音楽モードの MX 効果が OFF になります。
- AM ラジオは MX を設定できません。
- Level は 1 → 3 の順に効果が大きくなります。
- 「ディフェイト設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- TV、NAV. モード時は本設定はできません。
- MX 連動機能を持つオーディオプロセッサ製品 (PXA-H701 など) と組み合わせる場合、オーディオプロセッサ側の MX 内容と連動させることができます。その場合オーディオプロセッサ側での設定が必要になります。詳しくは、オーディオプロセッサ側の説明書をご覧ください。その他のオーディオプロセッサと組み合わせる場合は、連動できません。
- 「ショートカット画面」(12 ページ) で、◀ にタッチし、直接調整することもできます。

タイムコレクションの設定 (Time Correction)

各スピーカーの距離 (時間) 補正值 (0.0 ~ 336.6) を調整します。

Time Correction >> にタッチする。設定画面に切りかわります。

◀ または ▶ にタッチし、お好みで調整する

設定内容 : 0.0cm ~ 336.6cm

■ Memo

- すべてのスピーカーの総距離は、680cm (268.1inch) 以上に調整することはできません。

タイムコレクション調整単位の設定 (T.Corr Parameter)

タイムコレクションの時間補正值の単位を cm または inch に変更することができます。

T.Corr Parameter の ◀ または ▶ にタッチし、設定をかえる。

設定内容 : cm (出荷時の設定) / Inch

cm : タイムコレクションの時間補正值の単位が cm になります。

Inch : タイムコレクションの時間補正值の単位が inch になります。

イコライザーモードの選択 (EQ Select)

イコライザーモードを 7 バンドグラフィックイコライザーにするか 5 バンドパラメトリックイコライザーにするかを設定することができます。

EQ Select の ◀ または ▶ にタッチし、設定をかえる。

設定項目：EQ Select

設定内容：G-EQ/P-EQ (出荷時の設定)

P-EQ : 5Band パラメトリックイコライザーが使えます。

G-EQ : 7Band グラフィックイコライザーが使えます。

◆グラフィック EQ の調整 (G-EQ)

7 つに分割された帯域範囲内で、思いどおりのきめ細かいレベル調整が可能です。

G-EQ を選んだ後、EQ Select ▶▶ にタッチする。G-EQ 設定画面に切りかわります。

◀ または ▶ にタッチし、各バンドのレベル (Level) を調整します

設定内容：-6 ~ +6 dB

◆パラメトリック EQ の調整 (P-EQ)

グラフィック EQ では隣接する帯域まで変化するため、ピーク (山) やディップ (谷) での急峻な特性の乱れをスポット的に補正するには限界があります。パラメトリック EQ は、中心周波数、Q (帯域幅)、レベルをそれぞれ調整できるので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うことができます。

P-EQ を選んだ後、EQ Select ▶▶ にタッチする。P-EQ 設定画面に切りかわります。



◀ または ▶ にタッチし、お好みで調整する

◆バンド (Band) 選択

設定内容：Band1/Band2/Band3/Band4/Band5

◆周波数 (Freq.) 設定

設定内容：Band1: 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 200Hz

Band2: 160 Hz / 250 Hz / 400 Hz / 630Hz / 1 kHz

Band3: 630Hz / 1 kHz / 1.6 kHz / 2.5 kHz / 4 kHz

Band4: 1.6 kHz / 2.5 kHz / 4 kHz / 6.3 kHz / 10 kHz

Band5: 10 kHz / 12.5 kHz / 16 kHz / 17.5 kHz

■ Memo

- 調整する中バンドの周波数の最大値は、次バンドの設定値以上に設定することはできない、最小値は、前バンドの設定値以内に設定することはできません。

◆レベル (Level) 調整

設定内容：- 6 ~ +6 dB

◆バンド幅 (Q) 設定

設定内容：1/2/3/4

HPF の設定 (H.P.F.)

サブウーハーと組み合わせたとき、設定した周波数から下の音域をカットすることでサブウーハーとの音のつながりを調整することができます。

設定項目：Front H.P.F./Rear H.P.F.

設定内容：OFF(FLAT)/60Hz/80Hz/100Hz
(出荷時の設定：OFF)

Defeat OFF 時、H.P.F. ▶▶ にタッチする。設定画面に切りかわります。

◀ または ▶ にタッチし、お好みで調整する。

ディフィート設定 (Defeat)

ON に設定すると低音の設定 (Bass)、高音 (Treble)、HPF の設定を初期値に戻します。

設定内容：ON/OFF (出荷時の設定：OFF)

Defeat の ▶ または ▶ にタッチし、設定をかえる。

SETUP (セッティング)

調整内容の記憶と呼び出し

調整 / 設定した Time Correction または P-EQ/G-EQ は記憶することができます。プリセットは6つまで使用することができます。

調整内容を記憶する

- 1 Time Correction または P-EQ/G-EQ を設定した後、**↶** にタッチし、Audio Setup 画面に切りかわる
- 2 ファンクションメニュー **MEMORY** にタッチする
- 3 5 秒以内に **P.SET 1** ~ **P.SET 6** のいずれかにタッチし続ける

調整した内容がタッチしたプリセット No. に記憶される。

■ Memo

- 「ディフェルト設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- 記憶した内容はバッテリー電源コードを外したときでも消去されません。

調整内容を呼び出す

「調整内容を記憶する」(46 ページ) で記憶した内容を呼び出すことができます。

- 1 ファンクションメニュー **P.SET 1** ~ **P.SET 6** のいずれかにタッチする

記憶した調整内容を呼び出す。

■ Memo

- 「ディフェルト設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- 記憶したプリセットメモリーを呼び出すには、多少時間がかかります。
- 「ショートカット画面」(12 ページ) で、**⏮** にタッチし、直接呼び出すこともできます。

Source Setup 項目一覧

設定項目	切替内容		参照ページ
Source Setup			
DVD Setup	Menu Language	Auto/EN/JP/ DE/ES/FR/IT/ SE/RU/CN	47 ページ
	Audio Language	Auto/EN/JP/ DE/ES/FR/IT/ SE/RU/CN	47 ページ
	SUBT. Language	Auto/EN/JP/ DE/ES/FR/IT/ SE/RU/CN	47 ページ
	Country Code	Auto/Other	47 ページ
	Parental	Parental	48 ページ
		Parental Level	
		Password Change	
	Digital Out Mode	Auto/LPCM	48 ページ
	Downmix Mode	Surround/ Stereo	50 ページ
	TV Screen	4.3LB/ 4.3PS/16:9	50 ページ
	Bonus Code	Code	50 ページ
	DVD-A Setup	Video/VCAP/ VOFF	50 ページ
	File Play Mode	CD/CMPPM	50 ページ
	DVD Play Mode	Audio/Video	51 ページ
DivX Info.		51 ページ	
PBC	ON/OFF	51 ページ	
Radio Setup	Tuner Condition	Normal/HiFi/ Stable	51 ページ

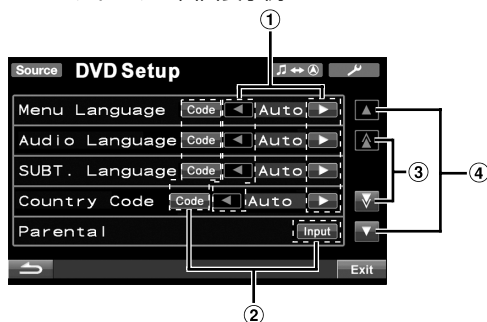
・BLUETOOTH Setup 操作については、「BLUETOOTH Setup (セッティング)」(77 ページ) をご覧ください。

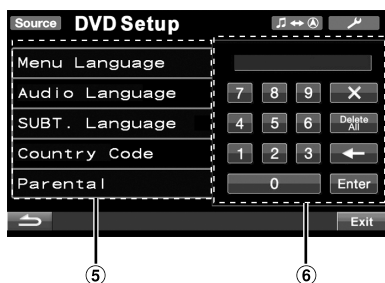
DVD Setup (DVD セットアップ)

DVD Setup >> にタッチし、DVD セットアップ画面に切りかわります。

・カレントソースにかかわらず、内蔵 DVD メカに DISC が挿入されていない場合、または DISC が STOP 状態のときは DVD Setup の操作を可能とし、設定の変更を適用させる。

< DVD セットアップ画面表示例 >





音声言語の設定 (Audio Language)

スピーカーから出力される音声言語が設定できます。

設定内容 : Auto/EN/JP/DE/ES/FR/IT/SE/RU/CN

- 「Auto」を選ぶとディスクに記録されている最優先の音声言語が再生される。

字幕言語の設定 (SUBT. Language)

画面に表示される字幕言語が設定できます。

設定内容 : Auto/EN/JP/DE/ES/FR/IT/SE/RU/CN

- 「Auto」を選ぶとディスクに記録されている最優先の字幕言語が再生される。

■ 表示されている以外の言語を再生したい場合

1 [Code] にタッチする

10 キー入力画面が表示される。

2 言語番号の 4 桁の数字にタッチする

言語番号は、「言語コード表」を (106 ページ) 参照。

3 [Enter] にタッチして、言語番号を記憶する

カントリーコード設定を変更する (Country Code)

視聴規制 (パレンタルロック) を設定するときの、国番号を設定します。

設定内容 : Auto/Other

- Auto : ディスクに記録されている最優先の国番号で再生される。
- Other : 国番号を入力する場合は、設定内容は "Other" に切りかわります。

■ Memo

- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずすと削除されます。

1 [Code] にタッチする

(変更する場合には、[Delete All] または [←] にタッチして、表示されている国番号を消去する。)

- ◀ または ▶ にタッチしてお好みで設定する。
- [Code] または [Input] にタッチすると 10 キー入力画面が表示される。
- 1 ページずつ切りかわります。
- 1 項目ずつ上下にスクロールします。
- 10 キー入力画面表示中にこのエリアにタッチすると 10 キー入力画面は閉じる。
- 10 キー入力画面表示されている以外の言語を再生させたい場合、またはパレンタルロックのパスワードを入力するときなどにキー入力する。

■ Memo

- DVD セットアップモード時 (システムが自動的に書き込みをしているとき) は、イグニッションキー (エンジンキー) を OFF にしないでください。
- イグニッションキー (エンジンキー) を OFF にすると、設定が変更されない場合があります。

言語設定を変更する

メニュー言語、音声言語、字幕言語をお好みに合わせ設定することができます。

設定された言語は固定され、常時日本語で聴きたい場合に便利です。(ディスクによっては、設定した言語にならない場合があります。その場合は、そのディスクの優先言語になります。)

- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずすと削除されます。
- 一時的に今観ているディスクの言語をかえたい場合は、DVD メニューからかえるか、または「音声言語切りかえ」(28 ページ) でかえることができます。
- 選んだ言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。

メニュー言語の設定 (Menu Language)

タイトルメニューなどのメニュー言語が設定できます。

設定内容 : Auto/EN/JP/DE/ES/FR/IT/SE/RU/CN

- 「Auto」を選ぶとディスクに記録されている最優先のメニュー言語が再生される。

(次ページへつづく)

2 国番号の 4 桁の数字にタッチする

日本の国番号は 7480 (工場出荷時の設定)。
アメリカの国番号は 8583。

3 **Enter** にタッチして、国番号を記憶する

視聴規制 (パレンタルロック) を設定する (Parental)

お子様などに見せたくない映像を規制することができます。

設定値 : Input → Parental / Parental Level / Password Change

■ Memo

- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずすと消去されます。
- 視聴制限がない DVD では視聴規制を設定しても再生は制限できません。
- 視聴規制に対応した DVD ソフトを制限して再生したい場合には、実際に規制レベルや国番号を変更してお確かめください。
- 設定した視聴規制は保持されます。違うディスクを再生したいときや視聴規制を解除したい場合は、設定を変更してください。

1 **Input** にタッチする

10 キー入力画面が表示される。

2 4 桁のパスワードをタッチ入力する

工場出荷時は 1111。

Enter にタッチして、パスワードをメモリーする。入力された数字は * で表示される。
Parental 画面に切りかわる。

◆ Parental の規制レベル設定 (Parental Level)

3 Parental の **▶** にタッチして、ON にする

4 Parental Level の **◀▶** または **▶** にタッチして、規制レベル値 (1 ~ 8) を選ぶ

■ Memo

- 規制を解除したいときや設定しないときは、OFF を選びます。数字が小さいほど、規制レベルは高くなります。

5 **◀** にタッチすると 1 つ前の画面に戻る

◆ パスワードを変更する (Password Change)

3 Password Change の **Input** にタッチする

10 キー入力画面が表示される。

4 数字にタッチして、新しいパスワード 4 桁を入力する

パスワードは忘れないように、メモなどをして保管してください。

5 **Enter** にタッチして、新しいパスワードをメモリーする

6 **◀** にタッチすると、1 つ前の画面に戻る

○ お知らせ

● テンポラリー・パレンタルレベル変更について

ディスクによっては、再生中に初期設定で設定した視聴規制レベル (パレンタルレベル) の変更を要求する場合があります。このとき、ディスプレイ画面に "Parental level change OK? <YES> <NO>" と表示します。この表示が出た場合は、下記の操作で設定してください。

● 変更したパレンタルレベルで再生する場合は、**Yes** にタッチする。

● パレンタルレベルを変更しないで再生する場合は、**No** にタッチする。

No にタッチした場合は、「視聴規制 (パレンタルロック) を設定する (Parental)」(48 ページ) で設定したパレンタルレベルで再生されます。

デジタル出力設定を変更する (Digital Out Mode)

本機から音声を設定します。

設定内容 : Auto / LPCM

Auto : 再生中の音声の記録方式に従いデジタル出力を自動で切りかえる。デジタルオーディオプロセッサと接続し、ドルビーデジタル音声で再生したいときは、必ず、Auto にする。

LPCM : ディスクに記録されている音声を 48kHz / 16bit (DVD) または、44.1kHz (ビデオ CD、CD) のリニア PCM 音声に変換して出力する。

■ Memo

- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずすと消去されます。

音声出力 / 光デジタル音声出力について

ディスク	音声記録方式		デジタル出力設定	光デジタル音声出力 (デジタルオーディオプロセッサ接続時)	アナログ音声出力 (Ai-NET、RCA 出力)
DVD	DTS		Auto	DTS エレメンタリ ストリーム	○
			LPCM	LPCM エンコード 2ch ダウンミクス (44.1kHz または 48kHz/16bit)	○
	ドルビーデジタル		Auto	ドルビーデジタル	○
			LPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
	リニア PCM	48kHz/16bit	Auto または LPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
		48kHz/20bit	Auto または LPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
		48kHz/24bit	Auto または LPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
		96kHz/16bit	Auto または LPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
		96kHz/20bit	Auto または LPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
		96kHz/24bit	Auto または LPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
	MPEG2		Auto または LPCM	LPCM (44.1kHz または 48kHz/16bit)	○
ビデオ CD	MPEG1		Auto または LPCM	LPCM (44.1kHz)	○
	リニア PCM		Auto または LPCM	LPCM (44.1kHz)	○
CD	DTS		Auto	DTS エレメンタリ ストリーム	○
			LPCM	LPCM エンコード 2ch ダウンミクス (44.1kHz/16bit)	○
MP3	MPEG-1 Audio Layer3 ビットレート : 32kbps~ 320kbps	32kHz/16bit	Auto または LPCM	LPCM エンコード 2ch (32kHz/16bit)	○
		44.1kHz/16bit	Auto または LPCM	LPCM エンコード 2ch (44.1kHz/16bit)	○
		48kHz/16bit	Auto または LPCM	LPCM エンコード 2ch (48kHz/16bit)	○
WMA	Windows Media™ Audio ビットレート : 32kbps~ 320kbps	32kHz/16bit	Auto または LPCM	LPCM エンコード 2ch (32kHz/16bit)	○
		44.1kHz/16bit	Auto または LPCM	LPCM エンコード 2ch (44.1kHz/16bit)	○
		48kHz/16bit	Auto または LPCM	LPCM エンコード 2ch (48kHz/16bit)	○

ダウンミックスモードの設定 (Downmix Mode)

本機能は、ドルビーデジタル、DTS ストリーム音声に対して有効です。

設定内容 : Surround / Stereo

Surround : サラウンド互換ダウンミックス
Stereo : ステレオダウンミックス

TV スクリーン設定を変更する (TV Screen)

お使いの別売の TV モニター (リアモニター) に合わせて、画面の比率 (アスペクト比) をかえることができます。但し、本設定は、本体モニターにも適用されますので、リアモニターを接続していない場合は、16:9 に設定してください。

設定値 : 4:3LB / 4:3PS / 16:9

- ・変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずすと消去されます。
- ・ディスクによっては設定した画面サイズにならない場合があります。(詳しくはディスクのジャケットに記載されている内容をご覧ください)

4:3 LETTER BOX :

従来サイズの 4:3 のモニターに接続したときに選ぶ。アスペクト比 16:9 の映像を再生した場合は、上下に黒帯が入る。



4:3 PAN-SCAN :

従来サイズの 4:3 のモニターに接続したときに選ぶ。画面全体に表示する。(アスペクト比 16:9 の映像を再生した場合は、左右が切れる。)



16:9 WIDE :

ワイドテレビに接続したときに選ぶ。



ボーナスグループを再生する (Bonus Code)

DVD オーディオには、通常のグループの他にボーナスグループが収録されているものがあります。ボーナスグループを選んだときは暗証番号入力画面が表示されますが、あらかじめこの 4 桁の暗証番号を入力しておくことができます。暗証番号については DVD ディスク側の情報をご覧ください。

設定内容 : Code

1 **Code** にタッチする

10 キー入力画面が表示される。

2 4 桁の暗証番号をタッチ入力する

3 **Enter** にタッチして、暗証番号をメモリーする。

- ・ボーナスグループの暗証番号が本設定で設定されている暗証番号と異なる場合は、入力画面が自動的に表示されます。

DVD オーディオ再生モードを設定する (DVD-A Setup)

DVD オーディオディスクの再生方法を設定することができます。DVD ビデオ / オーディオ混在ディスクの場合、DVD オーディオを再生するには VCAP または VOFF に設定してください。

設定内容 : Video / VCAP / VOFF

- Video : DVD ビデオ / DVD オーディオ混在ディスクの DVD ビデオを再生する。
VCAP : DVD オーディオを映像付きで再生する。
VOFF : DVD オーディオを映像なしで音声のみを再生する。

MP3/WMA/AAC 再生データの設定 (File Play Mode)

オーディオデータと MP3/WMA/AAC データ混在ディスクのオーディオデータのみを再生するか、MP3/WMA/AAC のみを再生するかを設定することができます。(オーディオデータと MP3/WMA/AAC データ混在ディスク使用時のみ)

設定内容 : CD / CMPM

- CD : オーディオデータのみを再生できます。
CMPM : MP3/WMA/AAC のみを再生できます。

- ・本機よりディスクを取り出してから設定をしてください。
- ・MP3 対応チェンジャーの場合、本設定は出来ません。

圧縮ファイル再生データの設定 (DVD Play Mode)

圧縮ビデオファイルと圧縮オーディオファイルの混在ディスク使用時にビデオのみ再生させるか、もしくは、オーディオのみを再生させるを設定することができます。

設定内容：Audio / Video

Audio：オーディオデータのみを再生できます。

Video：ビデオデータのみを再生できます。

DivX® レジストレーションコードを表示する (DivX Info.)

DivX Info. 〓 にタッチし、DivX® ディスクのレジストレーションコードと対応バージョンを表示します。

ビデオ CD 再生モードを設定する (PBC)

プレイバックコントロール (PBC) 付きのビデオ CD を再生する場合に、PBC を ON にするか OFF にするかをあらかじめ設定できます。

設定内容：ON / OFF

ON：ビデオ CD に収録されているメニューを表示し、メニューの操作ができる。

OFF：ビデオ CD に収録されているメニューは表示できない。

Radio Setup (Radio セットアップ)

TUNER(FM) 音質設定 (Tuner Condition)

FM ラジオの音質を設定することができます。

設定内容：Normal (出荷時の設定) / HiFi / Stable

Normal：標準設定

HiFi：音質重視設定

Stable：ノイズを抑えた設定

■: Memo

- HiFi 設定を使用の際、受信状態によってはノイズが目立つ場合があります。この様なときには Normal 設定での使用をお勧めします。

Display Setup 項目一覧

設定項目	切替内容		参照ページ
Display Setup			
Tilt			51 ページ
Open/Close *1	Manual/Full/Close		52 ページ
Visual EQ *2	Live Contrast *3	OFF/Low/High	52 ページ
	Visual EQ *3	OFF/Night M./ Soft/Sharp/ Contrast/P-1/P-2/ Custom	52 ページ
	Bright	- 15 ~ + 15	52 ページ
	Color *3	- 15 ~ + 15	52 ページ
	Tint *3	G15 ~ R15	53 ページ
	Contrast	- 15 ~ + 15	53 ページ
	Sharp *3	- 5 ~ + 5	53 ページ
	User Memory *3	P-1/P-2	53 ページ
Dimmer	Auto/ON/OFF		53 ページ
Screen Dimmer Level	- 15 ~ + 15		53 ページ
Function Guide Fade	ON/OFF		53 ページ
Base Color	Blue/Red/Green/ Amber		53 ページ
Screen Alignment			54 ページ

※ 1 Open/Close については「モニター (メインディスプレイ) を立ち上げる / 収納する」(10 ページ) で調整することもできます。

※ 2 この設定は、iPod オーディオと USB オーディオモード時に調整できません。

※ 3 この設定は、映像モード時 (RGB NAV. 以外) のみ可能です。
• Display セットアップモード時 (システムが自動的に書き込みをしているとき) は、イグニッションキー (エンジンキー) を OFF にしないでください。

イグニッションキー (エンジンキー) を OFF にすると、設定が変更されない場合があります。

ディスプレイの角度調整 (Tilt)

ディスプレイを見やすい角度 (40 ~ 105 度の間) に調整することができます。

▼ または ▲ にタッチし、10 箇所調整することができます。

■: Memo

- 角度調整の際に障害物にあたったときは、障害物を取り除いてください。
- 液晶ディスプレイは、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。見やすい角度に調整してください。
- 車のバッテリー電圧が低い場合、視野角度を調整すると画面がちらつくことがあります。故障ではありません。

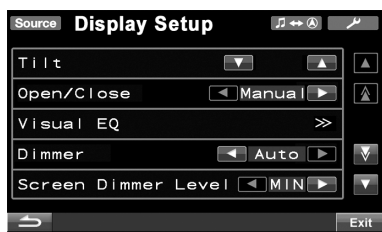
メインディスプレイ自動開閉の設定 (Open/Close)

設定値 : Manual / Full / Close

- Manual : 本体の  を押して、モニター (メインディスプレイ) の開閉を行います。
- Full : イグニッションキー (エンジンキー) の ACC または ON/OFF にすることで、モニター (メインディスプレイ) 開閉を自動的に行う。
- Close : イグニッションキー (エンジンキー) を OFF にすると、モニター (メインディスプレイ) は自動的に閉まる。

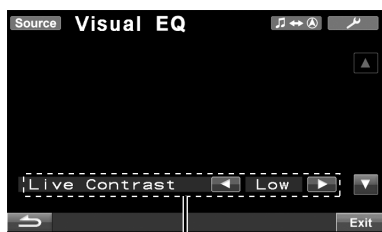
VISUAL EQ モードの設定

<Display Setup 顯示画面例>



1 にタッチする

Visual EQ 設定画面に切りかわります。



設定項目

2 または にタッチする

設定する項目が切りかわります。

3 または にタッチする

設定がかわります。

◆映像の表示輝度を調整する (Live Contrast)

Low または High に設定すると、周囲の明るさに応じて画像の明暗を自動的に調整します。

設定値 : OFF (出荷時の設定) / Low / High

「ショートカット画面」(12 ページ) で、 にタッチし、直接調整することもできます。その時、設定項目は Contrast と表示されます。

■ Memo

- 表示輝度の調整は、TV、AUX、DVD/ビデオ CD、NAV. (RGB NAV. 以外) モード時のみ可能です。

◆VISUAL EQ モードを選ぶ (Visual EQ) (メーカー設定)

色々な映像に応じて、モードを選ぶことができます。

設定値 : OFF(FLAT) / Night M. / Soft / Sharp / Contrast / P-1 / P-2

- OFF(FLAT) : 工場出荷時の設定
- Night M. : 暗いシーンが中心の映画に最適
- Soft : CG、アニメーションの映画に最適
- Sharp : 映像がくっきりしていない古い映画に最適
- Contrast : 最新の映画に最適
- P-1 : 「画質調整値の記憶」(53 ページ) でプリセット No.P-1 に記憶した VISUAL EQ モードを呼び出します
- P-2 : 「画質調整値の記憶」(53 ページ) でプリセット No.P-2 に記憶した VISUAL EQ モードを呼び出します

■ Memo

- お好みで映像の明るさや色の濃さを調整した場合は、Custom と表示されます。
- お好みで映像の明るさや色の濃さを調整した後に、あらためて初期値に戻す場合は、本機能の設定を OFF にしてください。

◆映像の明るさを調整する (Bright)

設定項目 : Bright

設定値 : - 15 ~ + 15 (出荷時の設定 : ± 0)

- 15 ~ + 15 の間で明るさを調整する。最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示する。

■ Memo

- Night M. ~ Contrast のいずれかを選択している場合、「ディスプレイの明るさを設定する (Dimmer)」(53 ページ参照) でオートに設定していれば、車内の明るさに連動して映像の明るさが自動的に調整されます。

◆映像の色の濃さを調整する (Color)

設定項目 : Color

設定値 : - 15 ~ + 15 (出荷時の設定 : ± 0)

- 15 ~ + 15 の間で色の濃さを調整する。最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示する。

■ Memo

- 色の濃さの調整は、TV、AUX、DVD/ビデオ CD、NAV. (RGB NAV. 以外) モード時のみ可能です。

◆映像の色あいを調整する (Tint)

設定項目 : Tint

設定値 : G15 ~ R15 (出荷時の設定 : ± 0)

G15 ~ R15 の間で色合いを調整する。最大値時は「G MAX」、[R MAX] とそれぞれ表示する。

■: Memo

- 色あいの調整は、TV、AUX、DVD/ビデオ CD、NAV. (RGB NAV. 以外) モード時のみ可能です。

◆映像コントラストを調整する (Contrast)

設定項目 : Contrast

設定値 : - 15 ~ + 15 (出荷時の設定 : ± 0)

- 15 ~ + 15 の間でコントラストの調整をする。最大値時は「HIGH」、最小値時は「LOW」と表示する。

■: Memo

- 「ディスプレイの明るさを設定する (Dimmer)」(53 ページ参照) でオートに設定していれば、車内の明るさに連動して映像のコントラストが自動的に調整されます。

◆映像画質を調整する (Sharp)

設定項目 : Sharp

設定値 : - 5 ~ + 5 (出荷時の設定 : ± 0)

- 5 ~ + 5 の間で画質の調整をする。最大値時は「HARD」、最小値時は「SOFT」と表示する。

■: Memo

- 映像画質の調整は、TV、AUX、DVD/ビデオ CD、NAV. (RGB NAV. 以外) モード時のみ可能です。

◆画質調整値の記憶 (User Memory)

お好みで調整した「映像の表示輝度 / 明るさ / 色あい / 濃さ / コントラスト / 画質」を記憶することができます。

1 「映像の表示輝度 / 明るさ / 濃さ / 色あい / コントラスト / 画質を調整する」(52 ページ参照) を調整後、User Memory の  または  にタッチして、記憶させたいプリセット No.P-1、P-2 を選ぶ

2 プリセット No. 選択後  にタッチする

調整した VISUAL EQ モードが記憶されます。

■: Memo

- ここで記憶した VISUAL EQ モードは、「VISUAL EQ を選ぶ (メーカー設定)」(52 ページ) の P-1、P-2 から呼び出すことができます。

ディスプレイの明るさを設定する (Dimmer)

車内の明るさに連動してディスプレイの明るさを切り替え、画面を見やすくすることができます

設定値 : Auto / ON / OFF

Auto : 車内の明るさに連動してディスプレイの明るさを自動で調光する。

ON : バックライトを暗いまま固定する。

OFF : バックライトを明るいまま固定する。

■: Memo

- ON または Auto 設定時に「照光ボタンの明るさレベルを調整する (Dimmer Level)」(54 ページ) で照光ボタンにも反映されます。

バックライトの最低レベルを調整する (Screen Dimmer Level)

本機はバックライト (LOW) の明るさを調整することができます。例えば、夜間走行時に画面の明るさを微調整するときなどに使います。

設定値 : - 15 ~ + 15

- 15 ~ + 15 の間でレベルを調整する。最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示する。

■: Memo

- 本調整を行う際には「ディスプレイの明るさを設定する (Dimmer)」(53 ページ) を ON にしてから調整することをおすすめします。

ファンクションガイド ON/OFF (Function Guide Fade)

Radio、USB などのソース時に、ファンクションガイドを表示するかどうか設定します。

設定項目 : ON / OFF

ON : ファンクションガイドは 5 秒表示された後に非表示になり、画面タッチで再表示されます。

OFF : ファンクションガイドを常に表示します。

■: Memo

- DVD ソース時に、ON または OFF に関係なくファンクションは表示します。

フォントバック表示色を切りかえる (Base Color)

フォントバック (ソースタイトル、ショートカット表示部など) 表示色をあらかじめ設定されている 4 種類の中から選べます。

設定値 : Blue / Red / Green / Amber

■: Memo

- 文字色はかえられません。

タッチパネルの調整 (Screen Alignment)

LCD 上の表示位置とタッチパネル上のタッチ位置が一致しなくなった場合に調整してください。

設定項目 : Screen Alignment

設定値 :  / Reset

1 にタッチする

調整画面に切りかわる。

2 左下の マークに正確にタッチする

調整画面が切りかわる。

3 右上の マークに正確にタッチする

調整を終了して、Display Setup モード画面に戻ります。

■ Memo

- 調整画面上の  にタッチした場合工場出荷時の調整画面に戻ります。

General Setup 項目一覧

設定項目	切替内容	参照ページ
General Setup		
Clock	ON/OFF	54 ページ
Clock Mode	12h/24h	54 ページ
Clock Adjust ^{※1}	Hour/Minute/Time Adjust	15 ページ
Demonstration	ON/OFF	54 ページ
Beep	ON/OFF	54 ページ
Auto Scroll	ON/OFF	54 ページ
Dimmer Level	- 2 / - 1 / 0 / + 1 / + 2	54 ページ

※1 Clock Adjust については「時計を調整する (Clock Adjust)」(15 ページ) を参照してください。

- GENERAL セットアップモード時 (システムが自動的に書き込みをしているとき) は、イグニッションキー (エンジンキー) を OFF にしないでください。イグニッションキー (エンジンキー) を OFF にすると、設定が変更されない場合があります。

時計を表示する (Clock)

ディスプレイ上に時計表示の ON/OFF が設定できます。

設定項目 : Clock

設定内容 : ON / OFF (出荷時の設定 : ON)

時間表示の設定 (Clock Mode)

12 時間表示 / 24 時間表示を設定します。

設定項目 : Clock Mode

設定内容 : 12h / 24h (出荷時の設定 : 12h)

デモンストレーション機能 (Demonstration)

本機には、各ソースの基本的な動作をモニター (メインディスプレイ) に表示させるデモンストレーション機能が用意されています。

設定値 : OFF / ON

ON : デモンストレーションモードになり、動作を自動的に行う。

OFF : デモンストレーションモードを解除する。

■ Memo

- OFF にしない限り、デモンストレーションの動作は自動的に繰り返します。

操作音設定 (Beep)

モニター (メインディスプレイ) にタッチしたときや本体スイッチを押したときに操作音を鳴らして操作を受けつけたことを伝えます。

設定項目 : Beep

設定内容 : ON / OFF (出荷時の設定 : ON)

ON : 操作音が鳴ります。

OFF : 操作音が鳴りません。

■ Memo

- 本設定の ON または OFF に関係なくモニター (メインディスプレイ) 開閉時のブザー音は鳴ります。
- モニター (メインディスプレイ) を閉じた状態でも ON に設定していれば、本体スイッチを押したときには操作音は鳴ります。

テキストスクロール設定 (Auto Scroll)

タイトルやテキスト情報、タグ情報などを表示させたときのスクロールタイプを設定できます。

設定項目 : Auto Scroll

設定内容 : ON / OFF (出荷時の設定 : OFF)

ON : 繰り返しスクロールします。

OFF : 最初の一度だけスクロールします。

■ Memo

- iPod/iPhone 接続時は、曲名、アーティスト名、アルバム名のスクロール表示を行います。
- サブディスプレイでは、スクロールの表示はしません。

照光ボタンの明るさレベルを調整する (Dimmer Level)

本機は、照光ボタンの明るさを調整することができます。例えば、夜間走行時に照光ボタンの明るさを調整するときなどに使います。

+ 2 → - 2 の順に、照光ボタンの明るさは暗くなります。

設定項目 : Dimmer Level

設定内容 : - 2/ - 1/0/ + 1/ + 2 (出荷時の設定 :0)

System Setup 項目一覧

設定項目	切替内容		参照ページ
System Setup			
IN Int.Mute ^{*1}	ON/OFF		55 ページ
IN Int.Icon	INT/TEL		55 ページ
Remote Sensor ^{*2}	Front/Rear		55 ページ
Camera IN	OFF/Direct/AUX		56 ページ
	Camera Signal	NTSC/PAL/Auto	56 ページ
	Guide Line	ON/OFF	56 ページ
	Guide Line Adjustment		56 ページ
Nav. IN	ON/OFF		56 ページ
Nav. Mix ^{*3}	ON/OFF		57 ページ
AUX1 IN ^{*4}	ON/OFF		57 ページ
	AUX Name	AUX/DVD/ GAME/ EXT.DVD/ DVD CHG/DTV	57 ページ
	Level	High/Low	57 ページ
	Signal	NTSC/PAL/ Auto	57 ページ
AUX2 IN	iPod Video/AUX		57 ページ
	Level	High/Low	57 ページ
	Signal	NTSC/PAL/Auto	57 ページ
AUX Out	ON/OFF		57 ページ
BLUETOOTH IN	OFF/Adapter		58 ページ
Optical Out	ON/OFF		58 ページ
AUX+ IN	ON/OFF		58 ページ
AUX+ Level ^{*5}	High/Low		58 ページ
Illumi Color	Blue/Red		58 ページ

※ 1 BLUETOOTH IN 設定が OFF のときに表示されます。

※ 2 AUX Out 設定が ON のときに表示されます。

※ 3 Nav. IN が ON のときに表示されます。

※ 4 Camera IN が AUX 以外のときに表示されます。

※ 5 AUX+ IN が ON のときに表示されます。

・SYSTEM セットアップモード時 (システムが自動的に書き込みをしているとき) は、イグニッションキー (エンジンキー) を OFF にしないでください。

イグニッションキー (エンジンキー) を OFF にすると、設定が変更されない場合があります。

外部割り込みモードの設定 (IN Int.Mute)

Ai-NET 割り込み Box(NVE-K200) と組み合わせると、アルパイン製テレビの音声などを本機に割り込ませることができます。組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

設定項目 : IN Int.Mute

設定内容 : ON / OFF (出荷時の設定 :OFF)

ON : 音声は出力されない。

「外部割り込みアイコン表示の設定 (IN Int. Icon)」(55 ページ) で設定しているアイコンが表示される。

OFF : 外部割り込みモードになり音量調整ができる。

■ Memo

- ・この機能は、対応製品との組み合わせで、INT (音声割り込み) コードが接続されている場合に有効です。

外部割り込みアイコン表示の設定 (IN Int.Icon)

外部割り込みモード時に表示されるアイコンを設定することができます。外部割り込み時のアイコン表示を INT にするか TEL にするかの違いだけです。どちらのアイコンをご使用になっても機能上問題はありません。

設定項目 : IN Int.Icon

設定値 : INT / TEL (出荷時の設定 :INT)

INT : INT アイコンが表示されます。

TEL : 外部割り込み (TEL) がされたとき、画面上に TEL のアイコンが表示されます。

リモコン受光部を切りかえる (Remote Sensor)

別売リモコンから操作をするときに拡張ユニット (外部モニターなど) のリモコン受光部をお好みで切りかえることができます。「リアエンター機能」(39 ページ) 使用時に設定します。

設定項目 : Remote Sensor

設定値 : Front / Rear (出荷時の設定 :Front)

Front : 本機のリモコン受光部を優先させます。

Rear : AUX OUT に接続した外部モニターのリモコン受光部が有効となり、ここで選んだソースに対してのみリモコン操作ができます。

(次ページへつづく)

■ Memo

- リアモニター用にアルパイン製タッチパネルリアモニターを接続 (モニターコントロールコードを接続) し、タッチ操作した場合には、リモコン受光部の切り替え設定にかかわらずタッチパネルリアモニターの受光部が優先します。但し、最後の操作から約 5 秒経過すると、設定していたリモコン受光部優先に戻ります。
- 別売 DVD チェンジャーや DVD プレーヤー接続時に Rear 側にリモコン受光部が設定している場合は、タッチスイッチの一部 ( STOP など) が操作できなくなります。この場合は、リモコン受光部を Front に切りかえてください

カメラ入力設定 (Camera IN)

本機は、アルパイン製フロントビューカメラ HCE-C200FD、リアビューカメラ HCE-C200R と HCE-C107D および市販のカメラを接続することができます。接続されるカメラにより接続方法の設定を行います。

設定内容 : Camera IN

設定値 : OFF / Direct / AUX (出荷時の設定 : OFF)

OFF : カメラ映像は映し出されません。

Direct : HCE-C107D など接続した際に設定します。

AUX : RCA 端子 (RCA 専用カメラ入力コネクター) を用いて接続した HCE-C200R や汎用の市販カメラ接続時に設定します。

Camera IN を Direct または AUX に設定後、

 >> にタッチし、Camera 設定画面に切りかえます。

◆カメラの映像信号設定 (Camera Signal)

カメラの映像信号の設定が切りかえられます。「カメラ入力設定 (Camera IN)」(56 ページ) で AUX または Direct に設定すると表示されます。

設定項目 : Camera Signal

設定内容 : NTSC / PAL / Auto (出荷時の設定 : Auto)

 または  にタッチして、設定が切りかわります。

◆ガイドラインの設定 (Guide line)

ガイドラインの表示するか表示しないかを設定します。

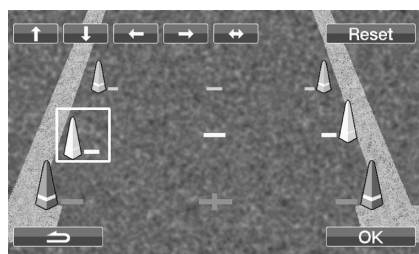
設定内容 : ON / OFF

 または  にタッチして、設定を切りかえます。

◆ガイドラインの座標調整 (Guide Line Adjustment)

1  にタッチし、ガイドライン調整画面に切りかえます

2 調整したいガイドを選択します



3 , ,  または  にタッチしてガイドの位置を調整します

調整後、 にタッチして、水平方向のガイドラインは自動的に水平になります。

4 調整が済んだら、 にタッチして調整値を記憶します

5  にタッチすると、設定画面に戻ります

- 調整中、 にタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- 走行中は調整を行うことはできません。お車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作を行ってください。

■ Memo

- 別売のフロントビューカメラ HCE-C200FD およびリアビューカメラ HCE-C200R 接続時には別売の電源ユニット KCX-C200B が必要です。
- フロントビューカメラ HCE-C200FD、リアビューカメラ HCE-C200R および電源ユニット KCX-C200B の操作について詳しくは、それぞれの取付説明書を参照してください。

ナビゲーションモードを設定する (Nav. IN)

別売のナビゲーション製品を接続した場合は、ON に設定してください。

設定項目 : Nav. IN

設定内容 : ON / OFF

ON : ナビゲーションソースを表示させる。

OFF : ナビゲーションソースは表示されない。本機からのナビゲーション関連の設定は出来なくなる。

ナビゲーション音声の割込み設定 (Nav. Mix)

当社のナビゲーション製品（ディスプレイコントロール、ガイドコントロールを接続したナビゲーション）と組み合わせる場合、CD やラジオなどを聴いていても、ナビゲーション側の音声案内を本機に割り込ませることができます。

設定項目 : Nav. Mix

設定内容 : ON / OFF

ON : ナビゲーション音声割込みモードになる。ナビゲーションの割り込み音量レベルを調整するには、本設定で ON にしたあと、「NAV. LEVEL 調整 (Nav.Mix Level)」(44 ページ) の Nav.Mix Level 調整を行う。

OFF : ナビゲーション音声割り込みをさせない。

■ Memo

- ナビゲーション音声案内割り込み中に、オーディオ音量を調整すると、その音量が音声案内割り込み時のオーディオ音量として設定されます。
- 設定しておく、ナビゲーション音声案内割り込み時に、自動的にその設定したオーディオ音量値と割り込み画面になり、割り込みが解除されると、もとのオーディオ音量と画面に戻るようになります。
- 但し、設定した値より小さいオーディオ音量で聞いていた時に割り込みが入ると、割り込み時のオーディオ音量は、その小さいオーディオ音量に再設定されます。(ナビゲーション音声案内が割り込まれた場合、割り込む前のオーディオ音量より大きくなる事はありません)
- System リスト画面の Nav.IN 設定が ON のときに有効です。

外部入力の設定 (AUX1 IN)

RCA 出力を持つテレビやビデオを本機に入力させることができます。

設定項目 : AUX1 IN

設定内容 : ON / OFF* (出荷時の設定 : ON)

* 別売の DVD プレーヤー、DVD チェンジャーを接続している場合は、OFF 表示はされません。また、OFF に設定すると、本機からの AUX1 関連の設定はできなくなります。

AUX1 IN を ON に設定した場合は、続いて以下の操作で外部入力製品の設定が可能です。

AUX1 IN >> にタッチし、外部入力製品の設定画面に切りかわります

◆ 外部入力製品の表示名設定

設定項目 : AUX Name

設定内容 : AUX / DVD / GAME / EXT.DVD / DVD CHG / DTV (出荷時の設定 : AUX)

■ Memo

- 選んだ表示名にあわせて AUX モードのソース名が切りかわり、ファンクションメニュー機能も切りかわります。

◆ 外部入力音声レベルの調整 (Level)

AUX1 IN を ON に設定した場合に、外部入力音声レベルの調整を行うことができます。

設定値 : High / Low (出荷時の設定 : High)

High : 外部入力の音声レベルを大きめに設定します。

Low : 外部入力の音声レベルを小さめに設定します。

◆ 外部入力信号の調整 (Signal)

AUX1 IN を ON に設定した場合の、外部入力映像信号を設定します。使用する外部入力映像に合わせて設定してください。Auto に設定すると自動で信号を切りかえます。

設定値 : NTSC / PAL / Auto (出荷時の設定 : Auto)

外部入力の設定 (AUX2 IN)

iPod ビデオミニジャックを持つケーブル (別売) を用いてテレビやビデオを本機に入力させることができます。

設定内容 : iPod Video / AUX (出荷時の設定 : iPod Video)

■ Memo

- カレントソースが AUX2 または iPod ビデオの場合、外部入力製品の表示名を調整できません。

AUX2 IN を AUX に設定した場合は、続いて以下の操作で外部入力製品の設定が可能です。

AUX2 IN >> にタッチし、外部入力製品の設定画面に切りかわります。

◆ 外部入力音声レベルの調整 (Level)

AUX2 IN を AUX に設定した場合に、外部入力音声レベルの調整を行うことができます。

設定内容 : High / Low (出荷時の設定 : High)

High : 外部入力の音声レベルを大きめに設定します。

Low : 外部入力の音声レベルを小さめに設定します。

◆ 外部入力信号の調整 (Signal)

AUX2 IN を AUX に設定した場合に、外部入力映像信号を設定します。使用する外部入力映像に合わせて設定してください。Auto に設定すると自動で信号を切りかえます。

設定内容 : NTSC / PAL / Auto (出荷時の設定 : Auto)

外部モニター出力の設定 (AUX Out)

「リアエンター機能」(39 ページ) を使用するとき ON に設定します。ON に設定すると、ソース切りかえ画面で **Rear** タッチスイッチから選択できます。

設定項目 : AUX Out

設定値 : ON / OFF (出荷時の設定 : ON)

ON : 接続している外部モニターへの出力を ON にし、リモコン操作を受け付けます。

OFF : ソース切りかえ画面でリアエンター機能の選択ができません。

BLUETOOTH 接続設定 (BLUETOOTH IN)

別売の BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) と組み合わせると、BLUETOOTH 搭載携帯電話でハンズフリー通話ができます。この設定は、別売の BLUETOOTH INTERFACE を接続して BLUETOOTH 機能を使用するときに設定します。BLUETOOTH 操作について、詳しくは別売の BLUETOOTH INTERFACE の取扱説明書を参照してください。

設定項目 : BLUETOOTH IN
設定内容 : OFF / Adapter
(出荷時の設定:OFF)

OFF : BLUETOOTH 機能は使用できません。
Adapter : BLUETOOTH 機能が使用できる。

デジタルアウトの設定 (Optical Out)

光デジタル対応製品と接続した場合に「ON」に設定します。

設定項目 : Optical Out
設定内容 : ON / OFF

- ・ 設定後、一度 ACC を OFF にしてから再度 ACC を ON にしてください。デジタルアウトの設定が確定されます

外部入力の設定 (AUX+ IN)

別売の KCE-237B (3.5 φミニジャック変換ケーブル) を BLUETOOTH インターフェースコネクタへ接続することで、ポータブルプレーヤーなどを本機に入力させることができます。

設定項目 : AUX+ IN
設定内容 : ON / OFF (出荷時の設定:OFF)

■ Memo

- ・ ON に設定後、ソース切りかえで、AUX+ モードを選び、音量などを調整します。

外部入力音声レベルの調整 (AUX+ Level)

AUX+ を ON に設定した場合に、外部入力音声レベルの調整を行うことができます。

設定項目 : AUX+ Level
設定値 : High / Low (出荷時の設定:Low)

High : 外部入力の音声レベルを大きめに設定します。
Low : 外部入力の音声レベルを小さめに設定します。

照光ボタンの色をかえる (Illumi Color)

照光ボタンの色をかえることができます。

設定項目 : Illumi Color
設定内容 : Blue / Red

外部オーディオプロセッサの操作（オプション）

外部オーディオプロセッサについて

外部オーディオプロセッサと接続している場合は、本機から操作することができます。但し、接続するオーディオプロセッサによって、操作できない場合もあります。ここでは、PXA-H700 または PXA-H701 と接続した場合を例に説明します。接続しているオーディオプロセッサ側の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- PXA-H510 または PXA-H900 と接続している場合は、一部の操作が本機からできません。その場合は、PXA-H510 または PXA-H900 側で操作を行ってください。
- MRA-D550 と接続している場合は、SPEAKER SELECT、Bass Sound コントロール、グラフィック EQ の設定はありません。MRA-F355 と接続している場合は、さらに MX モードの設定もありません。また、設定値については、PXA-H700 または PXA-H701 とは異なります。
- 設定の調整は、車を停止させてから行ってください。
- 接続しているオーディオプロセッサ側で調整 / 設定を行っているときは、本機から正しく操作することはできません。
- Ai-NET で PXA-H800 と接続時、下記「PXA-H800 について」を読んでください。

PXA-H800について

Ai-NETでPXA-H800と接続した場合、PXA-H800の一部操作を本機から行うことができます。

下記の操作は本機から行います。本機接続時はコマンダー、パソコンから操作することはできません。

- 電源の ON/OFF
- ソース切り換え
- サブウーファーレベル / バランス / フェダー / 音量の調整

ディフューズの設定と、記憶した設定値の呼び出し (PresetCall) は、本機、コマンダー、パソコンから操作可能です。

■ Memo

- PXA-H800側の取扱説明書も参照してください。

ドルビーサラウンドの調整手順

ドルビーデジタルや DTS サウンドをより正確に再現するには下記調整を行ってください。

<調整手順>

- 1 スピーカーセットアップ (P65)**
使用するスピーカーの有無または、特性を設定します。
- 2 スピーカーレベルを調整する (P64)**
各スピーカーへの信号出力レベルを調整します。
- 3 リアに低域音声をミキシングする (P64)**
リアスピーカーにフロントの音声信号をミキシングすることで後部座席でも聴きやすくさせることができます。

- 4 画像を調整する (P64)**
センタースピーカーが真正面にあるように画像を調整します。
- 5 迫力のある大音量再生を楽しむには (P64)**
必要に応じて、更に迫力のある「映画館のようなエネルギー感」を楽しむことができます。
- 6 DVD レベルを調整する (P65)**
ドルビーデジタル / PRO LOGIC II / DTS / PCM それぞれのモードでの音量信号レベルを調整します。
- 7 設定した内容を記憶する (P65)**
上記の内容に限らず本機で設定 / 調整した内容を全て記憶させることができます。

- 自動調整などと組み合わせて使用する場合は、ドルビーサラウンドの調整前に行うことをお勧めします。

外部オーディオプロセッサを設定する

- 1 42 ページ手順2で Audio Setup を選ぶ**

Audio セットアップモードになります。

- 2 A.Processor >> にタッチする**

A.Processor 選択モードになります。

- 3 お好みの設定項目 ◀ または ▶ にタッチし、設定をかえる**

[>>] があればそのバーにタッチし、設定画面に切りかわります。

サウンド調整項目の一覧 (60 ページ) も参照してください。
Media Xpander/Bass Sound Cont./Dolby PLII/Rear Fill/
X-Over/Time Correction/Phase/G-EQ/P-EQ/Speaker Select/
Multi Ch Setup/Speaker Setup/DVD Level/PCM Mode

- 4 [↶] に2秒以上タッチする**

元のモードに戻ります。

■ Memo

- 設定中に [↶] にタッチすると、1つ前の項目に戻ります。

外部オーディオプロセッサの操作（オプション）

サウンド調整項目一覧 （外部オーディオプロセッサ）

設定項目	切替内容		参照ページ
A.Processor			
Media Xpander	ON/OFF	MX CD/MX CMPM/ MX FM/MX DVD/ MX AUX(ON 時のみ設定)	60 ページ
Bass Sound Cont.	Bass Comp./ Bass Focus		60 ページ
Dolby PL II/ Rear Fill	Dolby PL II / Rear	OFF/PL II Movie/ PL II Music/Rear Fill	61 ページ
	Center Width Cont.	Off/0 ~ +7	61 ページ
X-Over	L+R/L/R	Freq./Level/Slope	61 ページ
Time Correction	L+R/L/R	距離（時間）補正	62 ページ
Phase	0° /180°		62 ページ
G-EQ	OFF/L+R/L/R	Freq./Level	62 ページ
P-EQ	OFF/L+R/L/R	Band/Freq./Level/Q	63 ページ
Speaker Select	Front1 /Front2/ Rear/Center/ Subw.		63 ページ
Multi Ch Setup	Bi-Phantom/ Rear Mix/ Listening Mode/ Output Level		63 ページ
Speaker Setup	OFF/Small/ Large		65 ページ
DVD Level	Dolby Digital/ Dolby PL II / DTS/PCM		65 ページ
PCM Mode	2CH/3CH		65 ページ

MX モードの設定

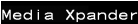
MX (Media Xpander) モードの ON/OFF を設定します。OFF に設定した場合は、すべての音楽モードで MX OFF となります。

Media Xpander の  または  にタッチし、設定をかえる。

設定内容：ON / OFF

MX レベルの設定

MX (Media Xpander) モードでは、FM ラジオ / CD iPod/iPhone など音楽モードごとにボーカルや各楽器の音を最適化し、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

Media Xpander ON 設定後、 にタッチする。Media Xpander 設定画面に切りかわります。

- ・ OFF を選ぶと MX の効果が OFF になります。
- ・ 現在選んでいる音楽モード (FM ラジオ / MP3 など) についてのレベルを調整できます。

MX CD : OFF/CD MX1 ~ 3

情報量豊富な CD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生する。

MX CMPM : OFF/CMPM MX1 ~ 3

圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生する。

MX FM : OFF/FM MX1 ~ 3

こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生する。

MX DVD (Video CD) : OFF/Movie MX1 ~ 2/DVD Music

Movie MX1 ~ 2 : 映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生する。

DVD Music : ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生する。

MX AUX : OFF/CMPM MX/Movie MX/Music MX

接続するメディアに対応した MX モード (CMPM、Music、Movie) が選べる。

■ Memo

- ・ AM ラジオは MX を設定できません。
- ・ MX レベルは 1 → 3 の順に効果が大きくなります。
- ・ 「ディフェイト設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- ・ iPod、BT Audio、USB メモリモード時は「MX CMPM」に割り当てられます。
- ・ ここで設定した内容は、PXA-H700 または、PXA-H701 側の MX モードに反映されます。

Bass Sound コントロールの設定

設定項目：Bass Sound Cont.

設定内容：Bass Comp. / Bass Focus

Bass Compressor の設定 (Bass Comp.)

低音域の音質をお好みに調整することができます。

設定内容：OFF / Mode1 ~ 3

Mode1 → 2 → 3 になるにつれて低音域を強め、より迫力のある音が楽しめる。

設定しないときは、「OFF」を選びます。

 または  にタッチして、設定が切りかわります。

Bass Focus の設定 (Bass Focus)

あらかじめ設定されているステップ値（時間差）を使用することで、前後 / 左右同時に時間差が設定でき、感覚的に時間補正を調整することができます。

設定内容：スピーカー選択 → 時間補正 0 ~ 400 ステップ (0.05ms 間隔)

1  にタッチする

Bass Focus セットアップ画面に切りかえる。

2 前後左右のスピーカーいずれかの

 または  にタッチして、前後 / 左右のステップを設定する

3 さらに別のチャンネル（スピーカー）を設定するには、手順 2 を繰り返す

4 にタッチすると、1 つ前の画面に戻る

■ Memo

- 「ディフェルト設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- Bass Focus での設定はタイムコレクション（時間補正）にも反映されます。

PRO LOGIC IIを使う

2 チャンネルで録音された音楽信号にプロロジック処理を行い、DOLBY PRO LOGIC II サラウンドとして楽しむことができます。また、2 チャンネルのドルビーデジタル、DTS 信号の場合は、リアにフロントの信号を出力する「Rear Fill」を使用することができます。

設定項目：Dolby PLII / Rear Fill

 にタッチして、設定画面にきりかわります。

Dolby PLII/Rear の  または  にタッチして、好みのモードを選ぶ。

- OFF : DOLBY PLII 機能を OFF にする。
- PLII Movie : ステレオ TV ショーやドルビーサラウンドでエンコードされたすべてのプログラムに向いています。その効果はディスクリット 5.1 チャンネルサウンドの質に迫る音場指向性の改善です。
- PLII Music : あらゆるステレオ音楽録音で用いられ、広く深い音場を確保できます。

※「PLII Music」を選んだ場合は、以下の操作でさらにセンター幅の調整が行えます。この機能はセンターチャンネル定位をセンタースピーカーと L/R スピーカーとの間に調整することにより、最良のボーカル定位を提供します。（この機能の動作中は「音像を調整する」(64 ページ) で調整を行っても効果がありません。）

センター幅調整 (Center Width Cont.)

設定内容：Center Width Cont. → Off/0 ~ +7

レベルは 0 ~ +7 まで調整でき、レベルが大きくなるとセンターチャンネル定位はセンタースピーカーの位置から両サイドに移ります。

Center Width Cont. の  または  にタッチして調整します。

 にタッチすると、Center Width Cont. 機能は OFF になります。

■ Memo

- 「ディフェルト設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- スピーカーセットアップでセンタースピーカーの設定を「Small」や「Large」にすると効果が得られます。
- Rear Fill について
入力信号によっては、音の出力がフロントスピーカーのみの場合があります。このとき Rear Fill を使用することでリアスピーカーからも音を出力させることができます。
- 本設定、調整中は、本機側でストップ/ポーズ（一時停止）/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。
- 「スピーカーの設定をする」(63 ページ) にて、設定したスピーカーが Center で OFF の時には、効果はありません。
- この機能は 2 チャンネル信号のみ有効です。DTS やドルビーデジタルの 5.1 ch 信号が入力されたときは効果がありません。
- Rear Mix が ON のときに Rear Fill の設定を行った場合、リア PCM 以外の 2 チャンネルデコード中は Rear Mix を優先させますので、Rear Fill 設定での音の変化はありません。
- リア PCM 信号の場合は、Rear Fill や Rear Mix の設定に関わらずリアスピーカーから音声出力されます。

X-Over (フィルタータイプ) の調整

X-Over 調整の際に、チャンネル L と R を同じ数値に設定するか個別に設定するかを設定することができます。ここで設定した内容によって「X-Over(クロスオーバー)の調整」(61 ページ参照) のバンド設定内容が変わります。

設定項目：X-Over

設定内容：L+R / L / R

L+R : X-Over 調整でチャンネル L/R が同じ調整値に設定されます。

L/R : X-Over 調整でチャンネル L/R を独立した調整値に設定できます。

X-Over の  または  にタッチし、設定をかえります

X-Over (クロスオーバー) の調整

スピーカー特性に合った最適な音響空間を設定することができます。操作の前に、「X-Over について」(73 ページ) を参照してください。

設定内容：周波数選択 (Freq.) / レベル調整 (Level) / スロープ設定 (Slope)

1  にタッチし、スピーカーリストに切りかわります

2 お好みのスピーカのバー（例：
 ）にタッチする

X-Over 調整画面に切りかわります。

3  または  にタッチし、お好みで調整をします

外部オーディオプロセッサの操作（オプション）

◆カットオフ周波数を選ぶ（Freq.）

設定内容：Freq.

カットオフ周波数（クロスオーバーポイント）を選ぶ

調整できる帯域はスピーカー（チャンネル）によって異なります。

◆レベルの調整（Level）

設定内容：Level

HPF または LPF のレベルを調整する

HPF : 設定した周波数より上の周波数帯域を出力する。

LPF : 設定した周波数より下の周波数帯域を出力する。

◆スロープの調整（Slope）

設定内容：Slope

HPF または LPF のスロープを調整する

■ Memo

- 「ディフェルト設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- スピーカーが OFF モードの時は、そのスピーカーの X-Over は設定できません。「スピーカーの設定をする」(63 ページ) を参照してください。
- 調整は、接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。
- スピーカーを保護するためサブウーハー L.P.F. でのフィルター OFF (スロープ OFF) 設定はありません。
- Front 1 で TW を選択している場合は、H.P.F. でのフィルター OFF (スロープ OFF) 設定はできません。また、サブウーハーが Stereo に選択している場合は、サブウーハーの調整内容になります。

タイムコレクション (Time Correction) の設定

お好みのリスニングポジションへの音の到達時間差を設定します。操作の前に「タイムコレクション（時間補正）について」(71 ページ) を参照して、各スピーカーの距離を測定して設定します。

設定項目：Time Correction

設定内容：スピーカー選択 → 距離（時間）補正（0.0 ～ 20.0ms / 1step:0.05ms）

1 Time Correction の または にタッチして、L+R または L/R を選びます

L+R : L+R で同じ調整値に設定できます。

L/R : L/R で独立した調整値に設定できます。

2 にタッチする

Time Correction セットアップ画面に切りかわる。

3 お好みのスピーカーの または にタッチして、時間補正値を調整する

4 さらに別のスピーカーを調整するには、手順 2 を繰り返す

5 にタッチすると、1 つ前の画面に戻る。

■ Memo

- スピーカーが OFF モードの時は、そのスピーカーの Time Correction は設定できません。「スピーカーの設定をする」(63 ページ) を参照してください。
- タイムコレクション（時間補正）での FRONT 2 スピーカーの調整値は、「Bass Focus の設定」(60 ページ) の FRONT スピーカーにも反映されます。
- 自動調整 (AUTO TCR) は本機では操作できません。

位相切りかえ (Phase)

接続しているスピーカーの位相を切りかえることができます。

設定項目：Phase

設定内容：スピーカー選択 → 0° / 180°

設定したいスピーカーの  または  にタッチして、位相（0° または 180°）を切りかえる

■ Memo

- 「ディフェルト設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。

グラフィック EQ の調整 (G-EQ)

フロント (L/R) / リア (L/R) / センター独立で 31 バンド、サブウーハーは 10 バンドのレベル調整を行えますので、思い通りの音場を再現することができます。

設定項目：G-EQ

設定内容：スピーカー選択 → 周波数設定 (Freq.) / レベル調整 (Level)

1 G-EQ の または にタッチして、L+R または L/R を選びます

L/R : チャンネル L/R で独立した調整値に設定できます。

L+R : チャンネル L/R で同じ調整値に設定されます。

P-EQ は調整される時、この設定は OFF になります。

2 G-EQ >> にタッチする

G-EQ リスト画面に切りかわります。

3 お好みのスピーカーのバー（例：Front L >>）にタッチする

G-EQ 調整画面に切りかわります。

4 ◀ または ▶ にタッチして、各バンドのレベル（Level）を調整します

■ Memo

- 「ディフィート設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- スピーカーが OFF モードの時は、そのスピーカーのグラフィック EQ は設定できません。「スピーカーの設定をする」(63 ページ) を参照してください。
- イコライザーの調整は、接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。スピーカーの再生周波数が「55Hz ~ 30kHz」の場合、40Hz や 20Hz のレベル調整を行っても効果がない場合もあります。
- パラメトリック EQ の調整を行うとグラフィック EQ の調整は OFF になります。
- グラフィック EQ の調整を行うと、パラメトリック EQ での調整は無効になります。

パラメトリック EQ の調整 (P-EQ)

グラフィック EQ では隣接する帯域まで変化するため、ピーク（山）やディップ（谷）での急峻な特性の乱れをスポット的に補正するには限界があります。パラメトリック EQ は、中心周波数、Q（帯域幅）、レベルがそれぞれ任意に調整可能ですので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うにはこのパラメトリック EQ が有効なのです。

設定項目：P-EQ

設定内容：スピーカー選択 → バンド設定 (Band) / 周波数設定 (Freq.) / レベル調整 (Level) / バンド幅設定 (Q)

1 P-EQ の ◀ または ▶ にタッチして、L+R または L/R を選びます

L/R：チャンネル L/R で独立した調整値に設定できます。

L+R：チャンネル L/R で同じ調整値に設定されます。

G-EQ は調整される時、この設定は OFF になります。

2 P-EQ >> にタッチする

P-EQ リスト画面に切りかわります。

3 お好みのスピーカーのバー（例：Front L >>）にタッチする

P-EQ 調整画面に切りかわります。

4 ◀ または ▶ にタッチして、お好みで調整する

■ Memo

- 「ディフィート設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- スピーカーが OFF モードのときは、そのスピーカーのパラメトリック EQ は設定できません。「スピーカーの設定をする」(63 ページ) を参照してください。
- 隣り合うバンドの周波数は 7 ステップ以内に調整することはできません。
- イコライザーの調整は、接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。スピーカーの再生周波数が「55Hz ~ 30kHz」の場合、40Hz や 20Hz のレベル調整を行っても効果がない場合もあります。
- グラフィック EQ の調整を行うとパラメトリック EQ の調整は OFF になります。
- パラメトリック EQ の調整を行うと、グラフィック EQ での調整は無効になります。

スピーカーの設定をする

設定項目	： Speaker Select
設定内容	： スピーカー選択 → 下記設定
Front1	： OFF/Full(Full Range)/TW(Tweeter)
Front2	： OFF/ON
Rear	： OFF/ON
Center	： OFF/ON
Subwoofer	： OFF/Mono/Stereo

◀ または ▶ にタッチして、設定をかえる。

■ Memo

- 「ディフィート設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- 接続していないスピーカーは OFF に設定する。
- 「スピーカーセットアップ」(65 ページ) で設定したスピーカーが OFF の状態でも上記設定はできます。
- PXA-H700 または PXA-H701 接続時、サブウーハーを Mono で使用する時には、PXA-H700 または PXA-H701 側のサブウーハー出力端子へサブウーハーを接続してください。

ドルビーデジタルを設定する

設定項目：Multi Ch Setup

設定内容：Bi-Phantom/Rear Mix/Listening Mode/Output Level

■ Memo

- 「ディフェイト設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。

音像を調整する

臨場感ある音声を再現するには、センタースピーカーをリスニングポジションの真正面に置かなくてはなりません。この機能で仮想的に、センタースピーカーの音を両サイドに振り分けることにより、センタースピーカーが真正面にあるような音像を作り出すことができます。(「PRO LOGIC II を使う」(61 ページ) で「PLII Music」を選択し、センター幅の調整機能が動作中は、この機能で調整を行っても効果がありません。)

Bi-Phantom の ◀ または ▶ にタッチして、設定をかえる。

設定内容 : Off / -5 ~ +5

レベルは -5 ~ +5 まで調整でき、レベルが大きくなると、音像はセンタースピーカーの位置から両サイドに移ります。◻ Off にタッチすると、Bi-Phantom 機能は OFF になります。

■ Memo

- 本設定を調整中は、本機側でストップ/ポーズ(一時停止)/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。
- スピーカーセットアップでセンタースピーカーの設定を「Small」や「Large」にすると効果が得られます。
- 「スピーカーの設定をする」(63 ページ)にて、設定したスピーカーが Center で OFF の時には、効果はありません。
- 本機設定後の DVD 再生時は、その性質上、他のソースよりも音楽信号レベルが低下しますが故障ではありません。「DVD レベルを調整する」(65 ページ)でレベル調整を行ってください。

リアに低域音声をミキシングする

リアスピーカーから出力される音声信号に、フロントの音声信号をミキシングします。

後部座席でより聴きやすくなります。

Rear Mix の ◀ または ▶ にタッチして、設定をかえる。

設定内容 : Off / -6 / -3 / ±0 / +3 / +6

レベルは -6、-3、±0、+3、+6 まで調整できます。レベルが大きくなると、リアスピーカーから出力される低域の音声が増加します。(効果は、DVD などのソフトによって異なる。) ◻ Off にタッチすると Rear Mix 機能は OFF になります。

■ Memo

- 本設定を調整中は、本機側でストップ/ポーズ(一時停止)/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。
- スピーカーセットアップの設定がリア「OFF」の時は調整を行っても効果がありません。
- リニア PCM 信号の場合は、Rear Fill や Rear Mix の設定に関わらずリアスピーカーから音声が出力されます。

迫力のある大音量再生を楽しむには

ドルビーデジタルでは通常の音量で十分な迫力が楽しめるように「ダイナミックレンジ」が圧縮されています。この圧縮を解除することにより、更に迫力のある「映画館のようなエネルギー感」のある音を楽しむことができます。

Listening Mode の ◀ または ▶ にタッチして、設定をかえる。

設定内容 : STD / MAX.

STD : 通常の音量で迫力のある音を楽しむとき

MAX. : 大音量で迫力のある音を楽しむとき

■ Memo

- この機能は、ドルビーデジタルの場合のみ有効です。
- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。
- DVD ソフトなどのソースの種類によっては効果がないものがあります。

スピーカーレベルを調整する

本機から出力されるテストトーンで各スピーカーの音量が同じ大きさになるように調整します。各スピーカーの音量をリスニングポジションにおいて同じ大きさに調整することで高い臨場感が得られます。

設定内容 : On → -10 ~ +10

1 Output Level の ◻ On にタッチする

テストトーンが各スピーカーチャンネル順に繰り返し出力されます。チャンネルは 2 秒間何も操作を行わないと次のチャンネルに移行します。

L(左フロント) → C(センター) → R(右フロント) → Rs(右サラウンド) → Ls(左サラウンド) → L(左フロント)

2 各スピーカーからテストトーンが鳴っているときに Output Level の ◀ または ▶ にタッチして、それぞれの音量が同じになるように出力レベルを調整する

- 各スピーカーは -10dB ~ +10dB の範囲で調整できます。
- フロントスピーカーを基準に調整を行ってください。

■ Memo

- 本設定を調整中は、本機側でストップ/ポーズ(一時停止)/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。
- スピーカーが「OFF モード」のときは、そのスピーカーのレベル調整はできません。「スピーカーセットアップ」(65 ページ)を参照してください。
- 設定を終了させるには [⏏] に 2 秒以上タッチしてください。

スピーカーセットアップ

お使いになるスピーカーの再生周波数帯域に応じて、PXA-H700 または PXA-H701 を設定することができます。この操作を行う前に、各スピーカー（サブウーハー以外）の再生周波数帯域を調べて低音再生が可能かを確認してください（80Hz 以下が目安です）。

設定項目：Speaker Setup

お好みのスピーカの ◀ または ▶ にタッチして、調整します。

OFF^{※1}：スピーカーを接続していない場合

Small：低域（80Hz 以下）が再生できないスピーカーを接続している場合

Large^{※2}：低域（80Hz 以下）が再生できるスピーカーを接続している場合

※1 フロントスピーカーは、OFF にはできません。

※2 フロントスピーカーが Small のときはリアスピーカーとセンタースピーカーを Large にできません。

■ Memo

- ・本設定を調整中は、本機側でストップ／ポーズ（一時停止）／曲の頭出し／早送り／音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。
- ・「ディフィート設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- ・サブウーハーは、ON/OFF のみの設定になります。
- ・センタースピーカーを OFF にすると、フロントスピーカーから出力される音声信号に、センターの音声信号をプラスします。
- ・スピーカー特性を OFF に設定した場合はスピーカー設定も OFF に設定してください。(63 ページ参照)
- ・セットアップは「フロント」「センター」「リア」「サブウーハー」の全てを行ってください。セットアップを行わなかった場合は「フロント」「センター」「リア」「サブウーハー」のバランスが崩れることがあります。
- ・センターを OFF に設定した場合は、この機能で「センター」の設定を行っても効果がありません。
- ・各スピーカーの設定を変更すると、その設定条件により変更したスピーカー以外の出力も変化することがあります。
- ・PRO LOGIC II でご使用の場合、リアスピーカーを「Large」に設定するとサブウーハーは出力されません。

DVD レベルを調整する

ドルビーデジタル / Dolby PL II / DTS / PCM それぞれのモードでの音量信号レベルを設定することができます。

設定項目：DVD Level

お好みのモードの ◀ または ▶ にタッチして、レベル (-5 ~ +5) を調整します。

■ Memo

- ・本設定を調整中は、本機側でストップ／ポーズ（一時停止）／曲の頭出し／早送り／音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。
- ・「ディフィート設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。

リニア PCM の設定

リニア PCM で記憶されたディスクの再生時の出力を 2CH または 3CH に設定することができます。

設定項目：PCM Mode

設定内容：2CH / 3CH

2CH：2CH 出力 (L/R)

3CH：3CH 出力 (L/R/CENTER)

■ Memo

- ・「ディフィート設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- ・「スピーカーの設定をする」(63 ページ) にて、設定したスピーカーが Center で OFF の時には、効果はありません。

調整内容の記憶と呼び出し

調整 / 設定した内容を記憶することができます。但し、組み合わせるオーディオプロセッサにより、記憶できる内容は異なります。

調整内容を記憶する

1 A.Processor (オーディオプロセッサ) リスト画面 MEMORY にタッチする

2 5 秒以内に A.Processor (オーディオプロセッサ) リスト画面 PSET 1 ~ PSET 6 のいずれかにタッチし続ける

調整した内容がタッチしたプリセット No. に記憶される。

■ Memo

- ・「ディフィート設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- ・記憶した内容はバッテリー電源コードを外したときでも消去されません。

調整内容を呼び出す

「調整内容を記憶する」(65 ページ) で記憶した内容を呼び出すことができます。

1 A.Processor (オーディオプロセッサ) リスト画面 PSET 1 ~ PSET 6 のいずれかにタッチする

記憶した調整内容を呼び出す。

■ Memo

- ・「ディフィート設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- ・記憶したプリセットメモリーを呼び出すには、多少時間がかかります。
- ・「ショートカット画面」(12 ページ) で、◀ にタッチし、直接呼び出すこともできます。

IMPRINT 操作

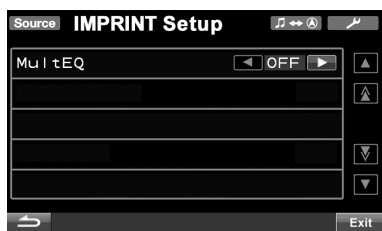
別売の IMPRINT オーディオプロセッサー (PXA-H100) と組み合わせることで、車内の最適音響空間を創り出すことができます。

MultEQ の ON/OFF

MultEQ とは、Audyssey 社が開発した Automatic Room Correction (自動室内音響補正) テクノロジーです。車室内の音響を自動測定したデータをもとに、どの座席においても最適な音響効果を得ることができるシステムです。MultEQ を使用するには、事前に車室内の音響測定が必要になります。詳しくは、お買い上げ店にお問合せください。

1 42 ページ手順 2 で IMPRINT Setup を選ぶ

IMPRINT セットアップモードになります。



2 ◀ または ▶ にタッチして、MultEQ モードを選ぶ

設定内容 : OFF / Curve1 / Curve2

OFF : マニュアルモード
Curve1 / Curve2 : MultEQ ON

3 ⏮ に2秒以上タッチする

元のモードに戻ります。

■ Memo

- 設定の調整は、車を停止させてから行ってください。
- MultEQ を Curve1 または Curve2 にすると、MX、X-Over、Time Correction (タイムコレクション)、F-EQ、パラメトリック EQ、グラフィック EQ、Subwoofer Phase、Subwoofer Channel、TW Setup は調整できません。
- MultEQ を OFF にすると、「バス/トレブル調整 (Bass/Treble)」(43 ページ) で Bass/Treble は調整できません。
- 「ショートカット画面」(12 ページ) で、⏮ にタッチし、直接呼び出すこともできます。

サウンド調整 (マニュアルモード)

MultEQ を OFF (マニュアルモード) に設定した場合、さまざまな設定/調整を行い自分好みのサウンドを創り出すことができます。

1 42 ページ手順 2 で Audio Setup を選ぶ

Audio セットアップモードになります。

2 A.Processor >> にタッチする

A.Processor 選択モードになります。

3 お好みの設定項目 ◀ または ▶ にタッチし、設定をかえる。

[>>] があればそのバー (例: Media Xpander >>) にタッチし、設定画面に切りかわります。

サウンド調整項目の一覧 (60 ページ) も参照してください。
Media Xpander/X-Over /Time Correction /T.Corr Parameter /G-EQ/P-EQ/F-EQ/TW Setup *

※ 別売 PXA-H100 接続時で 2.2CH (3WAY) モード設定時に表示されます。

4 ⏮ に2秒以上タッチする

元のモードに戻ります。

■ Memo

- 設定中に ⏮ にタッチすると、1 つ前の項目に戻ります。

サウンド調整項目一覧 (IMPRINT)

設定項目	切替内容	参照ページ
A.Processor		
Media Xpander	ON/OFF	67 ページ
	MX CD/MX CMPM/ MX FM/MX DVD/ MX AUX (ON 時のみ設定可)	詳細は、MX レベル設定参照 67 ページ
X-Over	L+R	69 ページ
	Low/Mid/High	
	Low/Mid-L/Mid-H/ High	
	L/R	
	Low-L/Low-R/Mid-L/ Mid-R/High-L/High-R	
	Low-L/Low-R/ Mid-L-L/Mid-L-R/ Mid-H-L/Mid-H-R/ High-L/High-R	
Time Correction	距離 (時間) 補正	68 ページ
T.Corr Parameter	cm/Inch	68 ページ
G-EQ *1	OFF / L+R	68 ページ
	Band	
	Level	Band1 ~ Band7 - 6dB ~ + 6dB
P-EQ *1	OFF / L+R	67 ページ
	Band	
	Freq.	Band1 ~ Band5 20Hz ~ 20kHz *2
	Level	- 6dB ~ + 6dB
	Q	1/1.5/3
F-EQ *1	Flat/Pops/Rock/News/ Jazz&Blues/ Electrical Dance/ Hip Hop&Rap/Easy Listening/Country/ Classical/User1 ~ 6	ON/OFF 67 ページ
TW Setup *3	Factory's/User's	69 ページ

※ 1 G-EQ/P-EQ/F-EQ いずれかを選択している場合は、選択している EQ のみ設定できます。

※ 2 調整する周波数 (BAND) により設定値は異なります。

※ 3 IMPRINT オーディオプロセッサ (PXA-H100) 側の X-Over 切りかえスイッチが 3WAY に設定されている場合のみ、TW Setup 設定を選択することができます

MX モードの設定

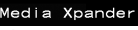
MX (Media Xpander) モードの ON/OFF を設定します。OFF に設定した場合は、すべての音楽モードで MX OFF となります。

Media Xpander の  または  にタッチし、設定をかえる。

設定内容 : ON/OFF

MX レベルの設定

MX (Media Xpander) モードでは、FM ラジオ / CD / iPod/iPhone など音楽モードごとにボーカルや各楽器の音を最適化し、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

Media Xpander ON 設定後、 にタッチする。Media Xpander 設定画面に切りかわります。

- OFF を選ぶと MX の効果が OFF になります。
- 現在選んでいる音楽モード (FM ラジオ / MP3 など) についてのレベルを調整できます。

MX CD : OFF/CD MX1 ~ 3

情報量豊富な CD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生する。

MX CMPM : OFF/CMPM MX1 ~ 3

圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生する。

MX FM : OFF/FM MX1 ~ 3

こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生する。

MX DVD (Video CD) : OFF/Movie MX1 ~ 2/DVD Music

MOVIE MX1 ~ 2 : 映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生する。

DVD Music : ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生する。

MX AUX : OFF/CMPM MX/Movie MX/Music MX

接続するメディアに対応した MX モード (CMPM、Music、Movie) が選べる。

■: Memo

- AM ラジオは MX を設定できません。
- MX レベルは 1 → 3 の順に効果が大きくなります。
- 「ディフィート設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- iPod、BT Audio、USB メモリモード時は「MX CMPM」に割り当てられます。
- 「ショートカット画面」(12 ページ) で、 にタッチし、直接調整することもできます。

イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ (F-EQ)

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、好みの音質に設定することができます。

設定項目 : F-EQ

設定内容 : Flat / Pops / Rock / News / Jazz&Blues / Electrical Dance / Hip Hop&Rap / Easy Listening / Country / Classical / User1 ~ 6 *

※ User1 ~ User6 は、「調整内容の記憶と呼び出し」(70 ページ) で記憶した EQ 調整値を呼び出します。

 または  にタッチし、お好みで調整をします。

■: Memo

- 「ディフィート設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。

パラメトリック EQ の調整 (P-EQ)

グラフィック EQ では隣接する帯域まで変化するため、ピーク (山) やディップ (谷) での急峻な特性の乱れをスポット的に補正するには限界があります。パラメトリック EQ は、中心周波数、Q (帯域幅)、レベルをそれぞれ調整できるので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うことができます。「周波数帯域と音質について」(75 ページ) も調整の際の参考にしてください。

(次ページへつづく)

設定項目 : P-EQ → L + R

設定内容 : バンド選択 (Band) / 周波数設定 (Freq.) /
レベル調整 (Level) / バンド幅設定 (Q)

1 P-EQ の にタッチして、L+R を選びます

G-EQ は調整される時、この設定は OFF になります。

2 にタッチする

P-EQ 調整画面に切りかわります。

3 または にタッチして、お 好みで調整する

バンド設定 (Band)

バンドを選びます。

設定内容 : Band 1 ~ 5

周波数設定 (Freq.)

周波数を選びます。

設定内容 : Band1	20Hz ~ 80Hz
Band2	50Hz ~ 200Hz
Band3	125Hz ~ 3.2kHz
Band4	315Hz ~ 8kHz
Band5	800Hz ~ 20kHz

レベル調整 (Level)

各バンドのレベルを調整します。

設定内容 : - 6 ~ + 6dB

バンド幅設定 (Q)

バンド幅 (Q) を設定します。

設定内容 : 1/1.5/3

■ Memo

- 「ディフィート設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- 隣り合うバンドの周波数は、4 ステップ以内に調整することはできません。
- 調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。

グラフィック EQ の調整 (G-EQ)

7 つに分割された帯域範囲内で、思いどおりのきめ細かいレベル調整が可能です。

設定内容 : バンド選択 (Band) /
レベル調整 (Level)

1 G-EQ の にタッチして、L+R を選びます

P-EQ は調整される時、この設定は OFF になります。

2 にタッチする

G-EQ 調整画面に切りかわります。

3 または にタッチして、お 好みで調整する

バンド設定

バンドを選びます。

設定内容 : Band1(63Hz)/Band2(150Hz)/
Band3(400Hz)/Band4(1kHz)/
Band5(2.5kHz) /Band6(6.3kHz)/
Band7(17.5kHz)

レベル調整 (Level)

レベルを調整します。

設定内容 : - 6 ~ + 6dB

■ Memo

- 「ディフィート設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。

タイムコレクション調整単位の設定 (T.Corr Parameter)

タイムコレクションの時間補正值の単位を cm または inch に変更することができます。

設定項目 : T.Corr Parameter

設定内容 : cm/inch

cm : タイムコレクションの時間補正值の単位が「cm」になります。
inch : タイムコレクションの時間補正值の単位が「inch」になります。

タイムコレクション (Time Correction) の設定

お好みのリスニングポジションへの音の到達時間差を設定します。操作の前に「タイムコレクション (時間補正) について」(71 ページ) を参照して、各スピーカーの距離を測定して設定します。

設定項目 : Time Correction

設定内容 : スピーカー選択 →
距離 (時間) 補正 (0.0cm ~ 336.6cm)

お好みのスピーカーの または にタッチして、時間補正値を調整する

X-Over (フィルタータイプ) の調整

X-Over 調整の際に、チャンネル L と R を同じ数値に設定するか個別に設定するかを設定することができます。ここで設定した内容によって「X-Over(クロスオーバー)の調整」(69 ページ参照) のバンド設定内容が変わります。

設定項目 : X-Over

設定内容 : L + R / L/R

L+R : X-Over 調整でチャンネル L/R が同じ調整値に設定されます。

L/R : X-Over 調整でチャンネル L/R を独立した調整値に設定できます。

X-Over の  または  にタッチし、設定をかえる。

X-Over (クロスオーバー) の調整

スピーカー特性に合った最適な音響空間を設定することができます。操作の前に、「X-Over について」(73 ページ) を参照してください。

設定内容 : 周波数選択 (Freq.) / レベル調整 (Level) / スロープ設定 (Slope)

1  にタッチし、スピーカーリストに切りかわります

2 お好みのスピーカのバー (例 : ) にタッチする

X-Over 調整画面に切りかわります。

3  または  にタッチし、お好みで調整をします

■ FRONT/REAR/SUBW. システム/フィルタータイプ : L+R の設定

設定内容 : Low(SUB-W)/Mid(REAR)/High(FRONT)

■ FRONT/REAR/SUBW. システム/フィルタータイプ : L/R の設定

設定内容 : Low(SUB-W)-L/Low(SUB-W)-R/
Mid(REAR)-L/Mid(REAR)-R/
High(FRONT)-L/High(FRONT)-R

■ 3WAY システム/フィルタータイプ : L+R の設定

設定内容 : Low/Mid-L/Mid-H/High

■ 3WAY システム/フィルタータイプ : L/R の設定

設定内容 : Low-L/Low-R/Mid-L(Low)-L/
Mid-L(Low)-R/Mid-H(High)-L/
Mid-H(High)-R/High-L/High-R

■ Memo

- 現在のシステムによって選択できるバンドの内容が異なります。「X-Over (フィルタータイプ) の調整」(69 ページ) と IMPRINT オーディオプロセッサー側の X-Over 切りかえスイッチを参照してください。

◆ 周波数選択 (Freq.)

■ FRONT/REAR/SUBW. システム時

設定内容 : 20Hz ~ 200Hz

■ 3WAY システム時

設定内容 : Low / Mid-L(Low) 20Hz ~ 200Hz,
Mid-H(High) 20Hz ~ 20kHz,
High *1 1kHz ~ 20kHz
High *2 20Hz ~ 20kHz

※ 1 「ツイーター設定 (TW Setup)」(69 ページ) を Factory's に設定した場合。

※ 2 「ツイーター設定 (TW Setup)」(69 ページ) を User's に設定した場合。

■ Memo

- カットオフ周波数は、1/3 オクターブステップで変化します。

◆ スロープ設定 (Slope)

スロープ (Slope) を設定します。

設定内容 : FLAT* / - 6/ - 12/ - 18/ - 24dB/oct

※ 3WAY システムでの High の場合は、「ツイーター設定 (TW Setup)」(69 ページ) で User's に設定した場合にのみ FLAT (0dB/oct) 設定が可能になります。ただし、FLAT (0dB/oct) に設定するとツイーターを破壊する恐れがありますので、利用用途に応じて調整してください。FLAT (0dB/oct) にセットされる場合、メッセージが表示されます。設定には細心の注意を払ってください。

◆ レベル調整 (Level)

レベルを調整します。

設定内容 : - 12 ~ 0dB

ツイーター設定 (TW Setup)

「X-Over(クロスオーバー)の調整」(69 ページ) において、3WAY モード時のハイレンジスピーカー (HPF) のスロープ設定を 0dB/oct (FLAT) に設定できます。ただし、0dB/oct (FLAT) に設定するとツイーターを破壊する恐れがありますので、利用用途に応じて設定してください。

設定項目 : TW Setup

設定内容 : Factory's / User's

Factory's : ツイーター保護のため、3WAY モード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定では 0dB/oct に設定できません。

User's : 3WAY モード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定を 0dB/oct に設定できます。設定には細心の注意を払ってください。

(次ページへつづく)

■ Memo

- IMPRINT オーディオプロセッサー (PXA-H100) 側の X-Over 切りかえスイッチが 3WAY に設定されている場合のみ、TW Setup モードを選択することができます。
- 3WAY モード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定を 0dB/oct に設定する場合、メッセージが表示されます。

調整内容の記憶と呼び出し

マニュアルモードで調整した X-Over/Time Correction/G-EQ または P-EQ を 1 つのプリセットにまとめて記憶することができます。プリセットは 6 つまで使用することができます。

調整内容を記憶する

1 A.Processor (オーディオプロセッサー) リスト画面 **MEMORY** にタッチする

2 5 秒以内に A.Processor (オーディオプロセッサー) リスト画面 **P.SET 1** ~ **P.SET 6** のいずれかにタッチし続ける

調整した内容がタッチしたプリセット No. に記憶される。

■ Memo

- 「ディフィート設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- 記憶した内容はバッテリー電源コードを外したときでも消去されません。
- 「イコライザー (メーカー設定) を選ぶ (F-EQ)」(67 ページ) でイコライザー (Pops など) を選ぶと操作を受け付けません。

調整内容を呼び出す

「調整内容を記憶する」(70 ページ) で記憶した内容を呼び出すことができます。

A.Processor (オーディオプロセッサー) リスト画面 **P.SET 1** ~ **P.SET 6** のいずれかにタッチする

記憶した調整内容を呼び出す。

■ Memo

- 「ディフィート設定 (Defeat)」(45 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- 記憶したプリセットメモリーを呼び出すには、多少時間がかかります。
- 「ショートカット画面」(12 ページ) で、 にタッチし、直接呼び出すこともできます。

タイムコレクション (時間補正) について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正值の算出方法について説明します。

1 リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離（m）を測定する

2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する

$L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$

■ 具体例

右記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正值を算出する。

(条件) :

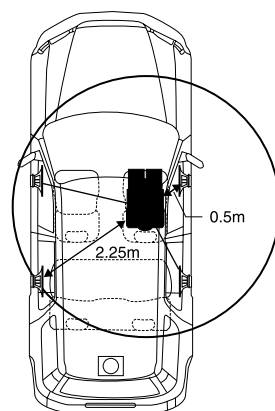
一番遠いスピーカー～リスニングポジション : 2.25m

フロント右側スピーカー～リスニングポジション : 0.5m

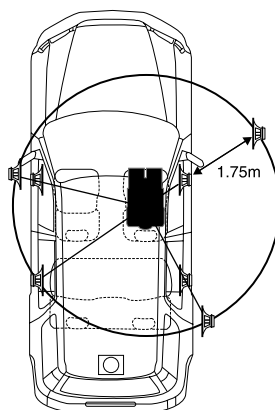
(算出) :

$L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

つまり、フロント右側スピーカーへ見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。右前スピーカーと左後スピーカーでは 1.75m の差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。
右前スピーカーに 1.75m の距離（時間）補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

■時間差表

STEP 数	時間補正 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)	STEP 数	時間補正 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)
1	0.0	0.0	0.0	51	5.0	170.0	67.0
2	0.1	3.4	1.3	52	5.1	173.4	68.3
3	0.2	6.8	2.7	53	5.2	176.8	69.7
4	0.3	10.2	4.0	54	5.3	180.2	71.0
5	0.4	13.6	5.4	55	5.4	183.6	72.4
6	0.5	17.0	6.7	56	5.5	187.0	73.7
7	0.6	20.4	8.0	57	5.6	190.4	75.0
8	0.7	23.8	9.4	58	5.7	193.8	76.4
9	0.8	27.2	10.7	59	5.8	197.2	77.7
10	0.9	30.6	12.1	60	5.9	200.6	79.1
11	1.0	34.0	13.4	61	6.0	204.0	80.4
12	1.1	37.4	14.7	62	6.1	207.4	81.7
13	1.2	40.8	16.1	63	6.2	210.8	83.1
14	1.3	44.2	17.4	64	6.3	214.2	84.4
15	1.4	47.6	18.8	65	6.4	217.6	85.8
16	1.5	51.0	20.1	66	6.5	221.0	87.1
17	1.6	54.4	21.4	67	6.6	224.4	88.4
18	1.7	57.8	22.8	68	6.7	227.8	89.8
19	1.8	61.2	24.1	69	6.8	231.2	91.1
20	1.9	64.6	25.5	70	6.9	234.6	92.5
21	2.0	68.0	26.8	71	7.0	238.0	93.8
22	2.1	71.4	28.1	72	7.1	241.4	95.1
23	2.2	74.8	29.5	73	7.2	244.8	96.5
24	2.3	78.2	30.8	74	7.3	248.2	97.8
25	2.4	81.6	32.2	75	7.4	251.6	99.2
26	2.5	85.0	33.5	76	7.5	255.0	100.5
27	2.6	88.4	34.8	77	7.6	258.4	101.8
28	2.7	91.8	36.2	78	7.7	261.8	103.2
29	2.8	95.2	37.5	79	7.8	265.2	104.5
30	2.9	98.6	38.9	80	7.9	268.6	105.9
31	3.0	102.0	40.2	81	8.0	272.0	107.2
32	3.1	105.4	41.5	82	8.1	275.4	108.5
33	3.2	108.8	42.9	83	8.2	278.8	109.9
34	3.3	112.2	44.2	84	8.3	282.2	111.2
35	3.4	115.6	45.6	85	8.4	285.6	112.6
36	3.5	119.0	46.9	86	8.5	289.0	113.9
37	3.6	122.4	48.2	87	8.6	292.4	115.2
38	3.7	125.8	49.6	88	8.7	295.8	116.6
39	3.8	129.2	50.9	89	8.8	299.2	117.9
40	3.9	132.6	52.3	90	8.9	302.6	119.3
41	4.0	136.0	53.6	91	9.0	306.0	120.6
42	4.1	139.4	54.9	92	9.1	309.4	121.9
43	4.2	142.8	56.3	93	9.2	312.8	123.3
44	4.3	146.2	57.6	94	9.3	316.2	124.6
45	4.4	149.6	59.0	95	9.4	319.6	126.0
46	4.5	153.0	60.3	96	9.5	323.0	127.3
47	4.6	156.4	61.6	97	9.6	326.4	128.6
48	4.7	159.8	63.0	98	9.7	329.8	130.0
49	4.8	163.2	64.3	99	9.8	333.2	131.3
50	4.9	166.6	65.7	100	9.9	336.6	132.7

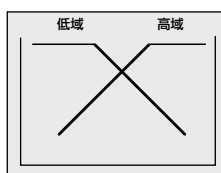
X-Over について

本機は、パワーアンプで増幅される前の帯域分割が可能なアクティブ デバイディング ネットワークを搭載しています。そのため、スピーカーとアンプの間に置かれたパッシブネットワークは不要となり、各アンプは完全に独立した動作が可能です。干渉問題がなくなり、スピーカーの能力に見合った再生周波数を分割することで最適な音響空間を再現します。

各バンドの HPF (ハイパスフィルター) / LPF (ローパスフィルター) の調整、スロープ (フィルター特性の減衰の傾き)、レベルを設定します。

接続しているスピーカーの再生周波数帯域や特性に合わせて調整してください。

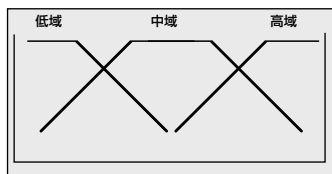
F/R/SUBW. モード	カットオフ周波数帯域 (1/3 オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
リアハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB
フロント ハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB



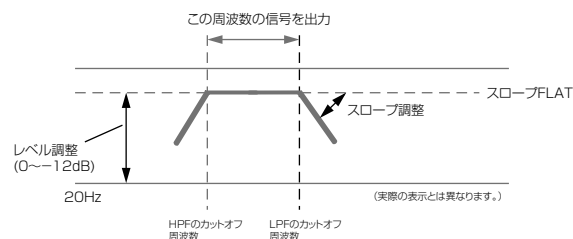
(実際の表示とは異なります。)

3WAY モード	カットオフ周波数帯域 (1/3 オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
ミッドレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	20Hz ~ 20kHz	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
ハイレンジ スピーカー	1kHz ~ 20kHz (20Hz ~ 20kHz)*	—	FLAT(OFF)*, 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB

※「ツイーター設定 (TW Setup)」(69 ページ) を User's に設定した場合のみ。



(実際の表示とは異なります。)



(実際の表示とは異なります。)

■ Memo

- HPF (ハイパスフィルター) はある周波数より下の音域 (低域) をカットして、高域の成分を通すフィルターです。
- LPF (ローパスフィルター) はある周波数より上の音域 (高域) をカットして、低域の成分を通すフィルターです。
- スロープとは周波数が 1 オクターブ高くまたは低くなったとき、信号が何 dB 減衰するかを表す値です。
- スロープの数値が大きいくほど傾きは急になります。
- スロープを 0dB/oct (FLAT) にすると、信号がフィルターを通過しないため効果はなくなります。ツイーターは低域信号入力によって、故障の原因になる危険性があります。
- 同じチャンネル内で HPF と LPF の周波数を重ねる調整は行わないでください。また、HPF と LPF の周波数を超える調整はできません。

X-Over (クロスオーバーネットワーク) はなぜ必要か？

スピーカーは一つの振動板で可聴帯域すべてをフラットに再生することが理想です。しかし、耳で聞こえる音の周波数は 20Hz ~ 20kHz 位と言われ、一つのスピーカーでは、この幅広い周波数を再生することは困難です。そこでクロスオーバーを使用しスピーカーを各周波数帯域 (低域、中域、高域など) に別けて各スピーカーの能力に見合った再生周波数に分割します。クロスオーバーには低音域を再生するための「ローパスフィルター (LPF)」と高音域を再生するための「ハイパスフィルター (HPF)」があります。中域は、ローパスフィルターとハイパスフィルターを組み合わせ利用します。この LPF/HPF を利用することで信号に対して忠実な再生ができるようになります。

スピーカーについて

■ ハイレンジスピーカー

シンバルなど、主に高音域を出力するスピーカー。

■ ミッドレンジスピーカー

ボーカルの声 / メロディ音など、主に中音域を出力するスピーカー。ローレンジ (サブウーハー) が用意されない場合は、このミッドレンジが低音域まで再生することになります。

■ ローレンジスピーカー (サブウーハー)

ベースやドラムの音など、主に低音域を出力するスピーカー。人間の耳は 80Hz 以下の音に方向性を感じにくいいため、LPF の設定は 80Hz 以下にするのが一般的です。80Hz 以上の音がローレンジスピーカー (サブウーハー) からなってしまうと、前方定位が崩れてしまう場合があります。

スロープ調整について

- 例えば、HPFを調整した場合、その周波数より低い周波数をまったく再生しないわけではありません。スロープを設定することで、特定の周波数より低くなればなるほど、出力（音量）が低くなっていくという減衰特性を調整します。
- フィルターのスロープ特性は 6dB、12dB、18dB、24dB/oct. を内蔵しており、スロープの数値が大きいほど、傾きが急となり隣の帯域からの音の混ざりもなく、狙った帯域だけを再生できますが、各スピーカー間のつながりが悪くなる場合や歪みが発生する場合がありますので、各スピーカー間の音を聴きながら調整してください。
- フルレンジスピーカーを使用している場合、スロープ設定は 0dB/oct (FLAT) にします。

調整のコツ

注意：接続しているスピーカーの推奨クロスオーバー周波数にあわせて調整してください。スピーカーの推奨クロスオーバーを必ず確認してください。推奨クロスオーバー範囲外の調整は、スピーカー破損の原因となります。弊社製品のクロスオーバー周波数推奨値については、スピーカーの説明書を参照してください。クロスオーバー推奨値以外のご使用により製品の破損 / 故障等が生じてても、責任は負いかねますのでご注意ください。

■ 3WAY の場合

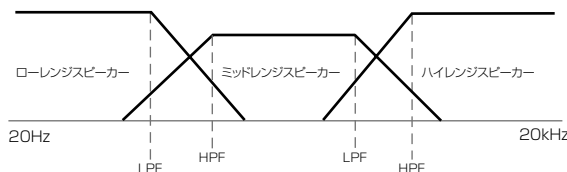
使用するスピーカーの再生可能な周波数特性にもよりますが、まずは、3 つに分割してみます。

例えば、

- ・ローレンジスピーカー：20Hz ～ 80Hz
- ・ミッドレンジスピーカー：80Hz ～ 4kHz
- ・ハイレレンジスピーカー：4kHz ～ 20kHz

とします。

このときの本機側の調整は、ローレンジスピーカーの LPF を 63Hz または 80Hz、ミッドレンジスピーカーの HPF を 80Hz または 100Hz、LPF を 2kHz ～ 4kHz、ハイレレンジスピーカーの HPF は 4kHz を目安とし、次にスロープを設定、そしてスピーカー全体の音のバランスを聴きながら出力レベルの調整を行います。後は、実際に試聴しながら、繰り返し周波数やスロープの調整などをお好みに合わせて行き最も最適な調整を探します。



■ FRONT/REAR/SUBW. の場合

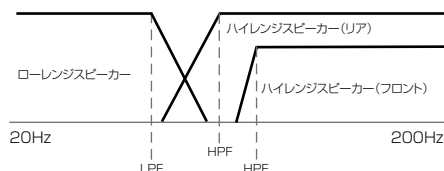
F/R/SUBW. の場合は、2 つに分割してみます。

例えば、

- ・ローレンジスピーカー：20Hz ～ 80Hz
- ・ハイレレンジスピーカー：80Hz 以上
(フロント / リア)

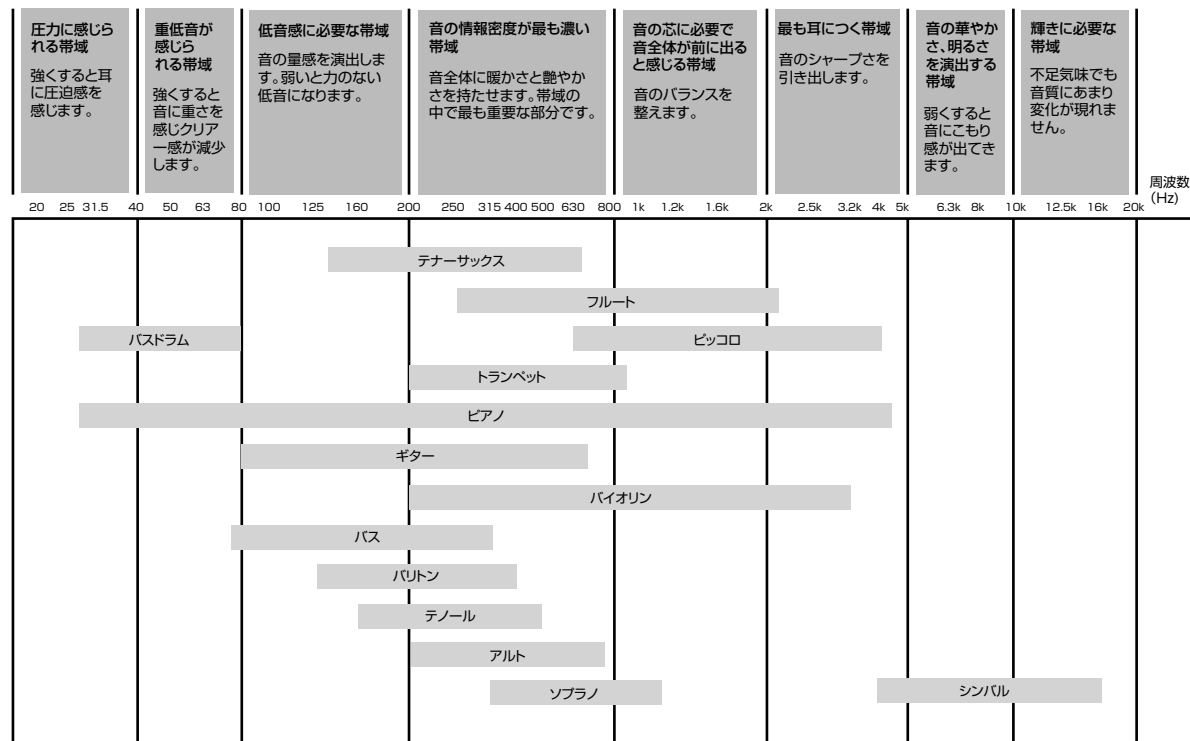
とします。

本機側の調整は、ローレンジスピーカーの LPF を 63Hz または 80Hz、ハイレレンジスピーカーの HPF はフロント / リアそれぞれ 80Hz または 100Hz を目安とし、左記 3WAY と同じようにスロープを設定、出力レベルの調整を行います。



周波数帯域と音質について

一般的に周波数には次のような音質の特徴があり、各帯域を強調／減衰することによりさまざまな音質が楽しめます。調整の際の参考にしてください。



BLUETOOTH 操作

別売の BLUETOOTH INTERFACE（KCE-400BT）と組み合わせると、BLUETOOTH 搭載携帯電話でハンズフリー通話ができます。

BLUETOOTH 機能を使用する前に、別売の BLUETOOTH INTERFACE（KCE-400BT）の取扱説明書を必ずお読みになり、注意事項などを確認してください。

ハンズフリー電話 / オーディオ機器を登録する（ペアリング）

BLUETOOTH 対応の携帯電話 / オーディオ機器を初めて接続する場合は、以下の手順で登録を行ってください。

本機のシステム設定

本機の SYSTEM SETUP 機能を必ず次のように設定してください。

BLUETOOTH IN 設定 : Adapter（「BLUETOOTH 接続設定」（58 ページ））

- ・ 設定後は、必ず ACC を OFF にしてから再び ON にしてください。

BLUETOOTH の設定

「検索モードの設定（Visible Mode）」（78 ページ）が ON になっていることを確認します（初期設定は ON）。

BLUETOOTH 対応機器の接続

BLUETOOTH 対応機器から BLUETOOTH 接続の設定を行い、KCE-400BT を探索します。

BLUETOOTH パスキー（パスコード）の確認

本機のディスプレイにパスコード（“0000”）が表示されることを確認します。

- ・ パスコードの初期値は “0000” です。

BLUETOOTH 対応機器に BLUETOOTH パスキー（パスコード）入力

BLUETOOTH 対応機器にパスコード（“0000”）を入力します。

- ・ パスコード入力はセキュリティ確保のため、約 30 秒以内に入力してください。
- ※ BLUETOOTH 対応機器のパスコードが “0000” 以外の固定コードの場合は、接続することができません。

登録完了

BLUETOOTH 対応機器と接続が完了すると、ペアリングしたデバイス名と登録番号（1 ～ 5）が表示されます。

- ・ 本機からも接続可能な BLUETOOTH 対応機器を周辺から探索することができます。詳しくは「BLUETOOTH 対応機器の探索（Device Search）」（78 ページ）を参照してください。
- ・ 新しい機器を接続する場合は、他の BLUETOOTH 接続をすべて切断してください。
- ・ ペアリング（登録）は、登録番号 1 から順に登録されます。任意の番号を選んで登録することはできません。
- ・ 携帯電話に BLUETOOTH 自動接続設定機能がある場合は、携帯電話の BLUETOOTH 自動接続設定を有効にしておくと、電源を ON したときに自動的に接続されます。
- ・ 携帯電話によっては、自動接続機能を有効に設定していても自動で接続できない場合があります。そのときは、手動で接続をしてください。
- ・ BLUETOOTH 対応機器リスト 5 件目で登録した内容は ACC を OFF にすると消去されます。
- ・ 自動接続は、前回接続していた携帯端末を対象に、行います。イグニッション ON 後に、自動接続をおこないますが、接続できない場合 10 秒毎に 5 回まで自動接続を継続します。

BLUETOOTH Setup (セットアップ)

BLUETOOTH Setup 操作

- ・通話中やハンズフリー電話モード、BLUETOOTH オーディオソース選択時には、BLUETOOTH SETUP の操作はできません。

1 にタッチする

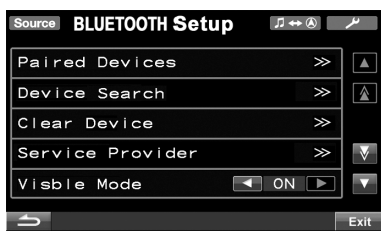
Setup 選択画面が表示されます。

2 にタッチする

Source Setup モードになります。

3 にタッチする

BLUETOOTH Setup モードになります。



4 お好みの設定項目のバー（例：）または 、 にタッチし、設定を切りかえる。

設定項目：Paired Devices / Device Search / Clear Device / Service Provider / Visible Mode / Auto Answer / Speaker Select / MIC Input / Firmware Version / Firmware Update

5 に2秒以上タッチする

元のモードに戻ります。

■: Memo

- ・本機のセットアップで BLUETOOTH IN 設定を OFF から Adapter に変更しても、そのままでは本機の認識は行われません。Adapter に設定した状態で、ACC を OFF にしてから再び ON にしてください。本機は認識され BLUETOOTH 機能が使用できます。
- ・セットアップ中に [

BLUETOOTH Setup 項目一覧

設定項目	切替内容	参照ページ
Source Setup		
BLUETOOTH Setup	Paired Devices	77 ページ
	Device Search	78 ページ
	Clear Device	78 ページ
	Service Provider	78 ページ
	Visible Mode	78 ページ
	Auto Answer	78 ページ
	Speaker Select	78 ページ
	MIC Input	79 ページ
	Firmware Version	79 ページ
	Firmware Update	79 ページ

BLUETOOTH 機器の設定 (Paired Devices)

以前に接続した BLUETOOTH 対応機器を5件まで登録しています。使用する BLUETOOTH 対応機器を選択します。

設定項目：Paired Devices

■: Memo

- ・切りかえが成功すると“Connected (/ 機器名)”のメッセージが2秒間表示され、その後 SETUP 画面に戻ります。
- ・誤ったパスコード入力または通信が失敗したときには、“Failed”と表示されます。
- ・ペアリング（登録）の際、携帯電話毎に Phone Book（電話帳）は 1,000 件、発信履歴／着信履歴／不在着信履歴は、それぞれ 80 件まで自動で登録されます。また携帯電話側で更新された内容も再接続した際に自動で更新を行います。
- ・接続する携帯電話によっては Phone Book（電話帳）を自動で取得できない場合があります。
- ・別な BLUETOOTH 対応機器と接続したい場合には、現時点で接続している BLUETOOTH 対応機器との接続を解除してから、切りかえたい BLUETOOTH 対応機器と接続してください。パスコードの初期値は“0000”です。
- ・ハンズフリー電話と BLUETOOTH オーディオ機能を持つ携帯電話の場合、ハンズフリー電話とオーディオはそれぞれで接続設定が必要です。
- ・Paired Device 設定でほかの登録機種に接続を変更した場合、BLUETOOTH オーディオの接続は自動で行われません。BLUETOOTH オーディオプレーヤーを再生にした状態でプレーヤーから BLUETOOTH 接続を行ってください。
- ・BLUETOOTH 対応機器リスト 5 件目で登録した内容は ACC を OFF にすると消去されます。また、5 件まで登録済みの場合、6 件目以降登録することはできません。新たに登録する場合は、BLUETOOTH 対応機器リスト 1 ～ 5 に登録されている対象機器を 1 台以上削除し再度登録が必要です。

BLUETOOTH 対応機器の探索 (Device Search)

本機から接続可能な BLUETOOTH 対応機器を周辺から探索します。

探索終了後、使用する BLUETOOTH 対応機器を選択します。

設定項目：Device Search

■ Memo

- 探索中は、“Now Searching” と表示されます。
- BLUETOOTH 対応機器を認識するとデバイス名リストが表示されます。
- 認識された BLUETOOTH 対応機器が既に本機に登録されている場合は、使用する BLUETOOTH 対応機器を選択してください。新たに認識した場合は、パスキー（パスコード）の入力が必要です。使用する BLUETOOTH 対応機器を選択し 10 キーでパスキー（パスコード）を入力してください。
- 探索結果、認識できる BLUETOOTH 対応機器がない場合、“Failed” を表示し BLUETOOTH Setup 画面へ戻ります。

BLUETOOTH 機器をリストから消去 する (Clear Device)

本機にペアリング（登録）した BLUETOOTH 対応機器を消去することができます。消去する BLUETOOTH 対応機器を選択してください。

設定項目：Clear Device

■ Memo

- 5 件目で登録した内容は、ACC を OFF にすると消去されます。
- 消去する BLUETOOTH 対応機器を選択すると確認メッセージ画面へ切りかわります。消去する場合は、**Yes** にタッチしてください。対象の BLUETOOTH 対応機器が消去され前のモードに戻ります。

プロバイダー名を表示する (Service Provider)

現在接続されている携帯電話のプロバイダ名を確認することができます。

設定項目：Service Provider

■ Memo

- BLUETOOTH 対応機器が接続されていない場合は、“ID UNSENT” と表示されます。
- 接続側の製品によっては、プロバイダー名が表示されない場合があります。

探索モードの設定 (Visible Mode)

BLUETOOTH 対応機器から KCE-400BT が認識できるかどうかを設定します。必ず「ON」に設定してください。

設定項目：Visible Mode

設定内容：ON / OFF（出荷時の設定：ON）

ON : BLUETOOTH 対応機器から KCE-400BT の認識を可能にします。

OFF : BLUETOOTH 対応機器から KCE-400BT の認識を不可能にします。

■ Memo

- 携帯電話によっては、パスキー（パスコード）の入力が必要になる場合があります。携帯電話からのパスキー（パスコード）入力操作については、携帯電話側の取扱説明書をご覧ください。

自動着信の設定 (Auto Answer)

電話がかかってきたときに、自動的に電話を受けるかどうかを設定します。

設定項目：Auto Answer

設定内容：ON / OFF（出荷時の設定：OFF）

ON : 電話がかかってくると、約 5 秒後に自動で通話状態になります。

OFF : 電話がかかっても自動で受けることはできません。着信時に  にタッチすると電話を受けることができます。

■ Memo

- 本設定が OFF の場合でも、携帯電話側の自動着信設定が ON の場合は自動で通話状態になります。

音声出力スピーカーの設定 (Speaker Select)

BLUETOOTH モード時の音声出力スピーカーを設定します。

設定項目：Speaker Select

設定内容：All / F-L / F-R / F-LR（出荷時の設定：All）

All : 全てのスピーカーから音声が出力されます。

F-L : フロント左側のスピーカーから音声が出力されます。

F-R : フロント右側のスピーカーから音声が出力されます。

F-LR : フロント左右のスピーカーから音声が出力されます。

■ Memo

- 通話中は設定できません。
- 別売の IMPRINT オーディオプロセッサー（PXA-H100）、または外部オーディオプロセッサーと接続している場合、設定は「All」に固定されます。

マイク感度の設定 (MIC Input)

ハンズフリーマイクの音声認識感度を設定します。

設定項目 : MIC Input

設定内容 : 0 (弱) ~ 15 (強) (出荷時の設定 : 10)

■ Memo

- ・通話中は設定できません。

ファームウェアバージョンを確認する (Firmware Version)

現在のファームウェアバージョンを確認することができます。

設定項目 : Firmware Version

ファームウェアバージョンをアップデートする (Firmware Update)

ファームウェアバージョンのアップデート時に使用します。

設定項目 : Firmware Update

■ Memo

- ・ファームウェアバージョンのアップデートについて、詳しくはインフォメーションセンターへお問い合わせください。

ハンズフリー電話

ハンズフリー電話について

※ ハンズフリー通話には、HFP (Hands-Free Profile) または HSP (Head Set Profile) 準拠の携帯電話が必要です。

- ・ 交通量の多い市街地や狭い道でのご利用は避けてください。
 - ・ 通話中は窓を閉めてお話をください。
 - ・ ハンズフリー電話同士の通話、騒音の大きい場所での通話など、使用状況によっては相手の声が聞こえにくい場合や、相手に声が伝わりにくい場合があります。
 - ・ 利用できる携帯電話の特長は、お客様と契約会社との接続環境と設定に依存しています。さらに、契約会社によっては、それらの特長が利用できない場合もあります。あるいは契約会社との接続の設定方法で、特長の利用を制限する場合があります。携帯電話が利用できる特長と機能については、契約会社にお問い合わせください。
- 取扱説明書に記載されている情報と同様に全ての特長、機能や他製品の仕様は、取扱説明書の作成時に利用できる最新の情報に基づいています。アルパインは、情報や仕様を予告なく変更する場合があります。

ディスプレイ表示について

- ・ 日本語、英数字、記号が表示されます。本機はプロポーションアルフォントを使用しているため、文字サイズにより表示される文字数が異なります。例えば、全て漢字の場合は最大 14 文字表示されます。
- ・ PHONE BOOK (電話帳) を表示するには、「電話をかける」(80 ページ) を参照してください。

画面の見かた

■ 着信表示画面例



- 1 着信名 / 着信番号表示
相手の電話番号が通知されてきたときに、相手の名前と電話番号が電話帳に登録されている場合は、相手の名前と電話番号が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、相手の電話番号が表示されます
- 2 電波レベル
電波強度を 6 段階で表示します
- 3 不在着信アイコン
不在着信があったときに表示します (最大 4 件)
- 4 電話を受けるときにタッチします
- 5 電話を切るときにタッチします

電話を受ける

電話がかかってくると着信音が鳴り、着信を知らせる内容 (着信者名 / 電話番号) が表示されます。



電話機にタッチする

通話が始まります。

■ Memo

- ・ 「自動着信の設定 (Auto Answer)」(78 ページ) を ON に設定している場合は、着信してから約 5 秒で自動的に通話状態になります。
- ・ 通話中は、本機側のソース音声はミュートされます。

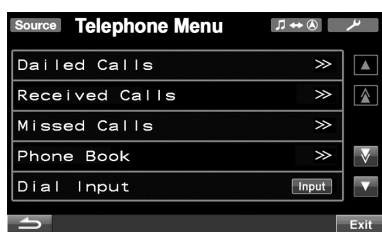
電話をかける

着信履歴／発信履歴／不在着信履歴／電話帳のリストから相手を選択して電話をかけたり、直接番号を入力し電話をかけることができます。

1 メニュー画面の **Source** にタッチする

2 **Phone** にタッチする

ハンズフリー画面に切りかわります。



- | | |
|----------------|--|
| 項目 | : Dialed Calls/Received Calls/
Missed Calls/Phone Book/
Voice Dial |
| Dialed Calls | : 発信履歴（以前かけた相手の電話番号リスト） |
| Received Calls | : 着信履歴（以前にかかってきた相手の電話番号リスト） |
| Missed Calls | : 不在着信履歴（かかってきた電話に出られなかった相手の電話番号リスト） |
| Phone Book | : 電話帳（登録件数は、ペアリングしている携帯電話 1 台につき 1,000 件です） |
| Dial Input | : 電話番号入力 |
| Voice Dial | : 音声操作で電話をかけることができます。
詳しくは「ボイスダイヤル操作」(81 ページ) を参照してください。 |

3 お好みの項目のバー（例：**Dialed Calls**）にタッチし、リストが表示されます。

4 電話をかけたい相手の電話番号の **Call** にタッチする

電話が発信されます。

Memo

- 発信履歴／着信履歴／不在着信履歴は、それぞれ 80 件まで登録されます。80 件を超えた場合は、古い順から書きかえられます。
- ペアリングしている携帯電話から直接電話をかけた場合は、電話番号などの表示はありません。また、リダイヤルもできません。
- 通話中のディスプレイ表示については、「ディスプレイ表示について」(79 ページ) を参照してください。
- リスト上に相手の名前／電話番号が取得できないときは、「ID UNSENT」と表示されます。
- Phone Book（電話帳）や履歴更新中に **Call** にタッチした場合や Phone モード画面の **Call** にタッチした場合 "Now Updating" と表示されハンズフリー電話モードは受け付けません。

電話番号を入力し電話をかける

1 **Input** にタッチし、電話番号を入力する

2 **Call** にタッチする

電話がかかります。

Memo

- **Back** にタッチすると、1 つ前の番号を消去します。
- **Delete All** にタッチすると、入力中の番号を全消去します。
- **X** にタッチすると、10キー入力画面が閉じます。
- 携帯電話側に記憶されている短縮ダイヤルを本体 10 キーに入力し、発信することができます。

電話を切る

通話中に **Call** にタッチする

通話が終了します。

■通話終了後、5 秒間表示画面例



1 リダイヤルできます

リダイヤル機能

通話していた相手に、電話をかけなおすことができます。

通話終了後、5秒以内に にタッチする

電話が発信されます。

■: Memo

- 非通知で着信した相手には、リダイヤルできない場合があります。

受話音量の調整

通話中の受話音量を調整します。調整した音量値は記憶されます。

を回して、音量調整をする

■: Memo

- 受話音量は、通常聴いているオーディオの音量より極端に大きくし過ぎると、音が反響する場合があります。その場合は、音量を適度まで小さくすることによりその反響をなくすことができます。マイクを車のメインスピーカーから離して設置すると(サンバイザーに取り付けるなど)、音量を大きくしても反響を少なくすることができます。

音声を切りかえる

BLUETOOTH 接続時、携帯電話の音声を車のスピーカーから出力するか携帯電話から出力するか選ぶことができます。

にタッチする毎に音声出力方法が切りかわる

■ 通話画面例



■: Memo

- 携帯電話によっては、本設定ができない場合があります。

ボイスダイヤル操作

音声操作で電話をかけることができます。

1 ハンズフリー電話モードで Voice Dial を選択する

2 メッセージが表示され、 にタッチする

発話モードになり、“Speak” と表示されます。

3 マイクに向かってかけたい電話番号または名前を発話する

■: Memo

- 発話認識がされない場合、30 秒後に通常モードに戻ります。
- BLUETOOTH オーディオモード時に本操作はできません。
- ボイスダイヤル対応携帯電話接続時のみ操作することができます。携帯電話がボイスダイヤル未対応の場合は、2 秒間 “Failed” と表示されます。
- ボイスダイヤル操作は携帯電話の機能に依存します。詳しくは携帯電話の取扱説明書を参照してください。

BLUETOOTH オーディオ操作

BLUETOOTH 対応の携帯電話やポータブルプレーヤーなどの音楽情報をワイヤレスで本機から操作/再生* することができます。

* 音楽再生については A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) または AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) 準拠の携帯電話およびポータブルプレーヤーが必要です。

■: Memo

- 接続するプレーヤーによっては、操作できない場合があります。
- 通話中は、BLUETOOTH オーディオソースの音声はミュートされます。

再生する

Source 選択画面で  にタッチして
BT Audio（BLUETOOTH オーディオ
モード）にする

BLUETOOTH オーディオモードに切りかわり再生が開始
されます。

■ Memo

- 接続するプレーヤーによっては、再生されない場合があります。
そのときは、プレーヤー側で再生を開始してください。
- BLUETOOTH オーディオの曲名は表示されません。

聴きたい曲を選ぶ

 にタッチする

再生中の曲の頭に戻ります。

 にタッチする

次の曲に進みます。

一時停止

 にタッチする

再生が一時停止します。

再度、タッチすると再生を開始します。

ナビゲーション画面に切りかえる（オプション）

当社のナビゲーション製品が接続されている場合、本機にナビゲーション画面を表示させることができます。

また、ナビゲーション側の電源が ON の状態ならば、ナビゲーションの映像と音声が入り込みます。（設定については、ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。）

1 各メインソース画面の **Source** にタッチする

ソース選択画面が表示されます。

2 にタッチする

ナビゲーション画面が表示されます。

ナビゲーション付属リモコンで操作を行います。

詳しい操作については、ナビゲーション側の取扱説明書をご覧ください。

■ Memo

- ・メインメニュー画面上で、ナビゲーションモードが表示されない場合は、「ナビゲーションモードを設定する (Nav. IN)」(56 ページ) の Nav. IN を ON に設定してください。
- ・タッチパネル対応ナビゲーションと接続している場合の操作については、ナビゲーション側の取扱説明書をご覧ください。
- ・NVA-HD55S が接続されている場合は、HDD Audio 機能に対応できません。

AUX（外部入力）操作 （オプション）

外部機器（ビデオデッキなど）を接続した場合にご使用ください。

- 1 各メインソース画面の **Source** に
タッチする。

ソース画面が表示される。

- 2  ※ 1、 または  にタッチ
する。

外部入力画面が表示される

- 3  ※ 2 にタッチする

外部入力画面に切りかわります。

※ 1：外部入力の設定で AUX1 IN を ON に設定し、または AUX2 IN を AUX に設定後、外部入力製品の表示名設定で設定した名称がソース名として表示されます。詳しくは 57 ページを参照してください。

※ 2：NTSC/PAL を調整したい場合、「外部入力の設定（AUX1 IN）」同様に操作することができます。詳しくは 57 ページを参照してください。

■ Memo

- ・停車時に、AUX 操作画面上の **WIDE** にタッチすると、表示モードが切りかわります。詳しくは「表示モードを切りかえる」(40 ページ) を参照してください。

リアカメラの操作（オプション）

リアカメラの操作（オプション）

別売の RCA またはダイレクト接続専用リアビューカメラ（HCE-C107D など）を装着した場合、バックギアにシフトすると、本機の画面に自動で後方のカメラ映像を映すことができます。

■ Memo

- 接続しているカメラ側の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 接続されたリアビューカメラによって、「カメラ入力設定（Camera IN）」（56 ページ）を Direct または AUX に設定してください。

ご注意

- カメラは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- リアカメラで映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用しながら目視で確認し、後方および周囲の安全を十分確保してください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - ・ 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・ ドアが完全に閉まっていないとき
 - ・ タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
 - ・ 坂道など平坦でない道
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- 寒いときにお湯をかけるなど、カメラに急激な温度変化をあたえると、カメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- リアカメラ接続時、バックギアにシフトした瞬間は、一旦黒画面になりますが、その後次第に安定します。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
- 湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。

リアカメラの映像

リアカメラの操作については、リアカメラ側の取扱説明書を参照してください。

後方の映像を映す

- 1 シフトレバーをバックギア（R）に入れる

後方の映像が自動で画面に映し出されます。

- 2 シフトレバーをバックギア（R）以外に入れる

通常画面に戻ります。

リアカメラの映像を確認する

シフトレバーの位置に関係なく、カメラの映像を表示し確認することができます。

- 1  を押す

ソース選択画面が表示されます。

- 2  にタッチする

リアカメラの映像が表示されます。

- 3  または  にタッチする

リアカメラのガイド線は表示するか表示しないかを切りかえます。

- 4  にタッチし、VISUAL 選択画面に切りかわる

- 5  にタッチし、元のモードに戻る
リアカメラガイドマークは表示されるかされないかに設定します。

地上デジタルテレビの操作（オプション）

別売の地上デジタル対応TVチューナー（TUE-T220/TUE-T440）を接続した場合、本機から地上デジタルテレビの操作ができます。

地上デジタルテレビのソースを呼び出すには、System Setupの「外部入力の設定（AUX1 IN）」（57ページ）を「DTV」に設定してください。

1 各メインソース画面の **Source** にタッチする

ソース選択画面が表示されます。

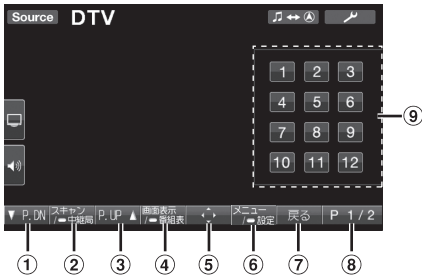
2 にタッチする

地上デジタルテレビ画面に切りかわります。

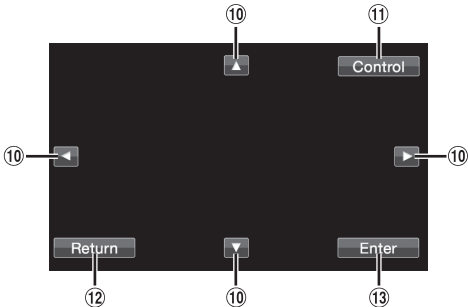
Memo

- 5秒間何も操作をしないとファンクションメニューは消えます。再度ファンクションメニューを表示させるには、ディスプレイ（画面）にタッチしてください。

地上デジタルテレビのメイン操作画面例



メニューコントロール画面例



地上デジタルテレビ操作一覧表

	タッチ
①	プリセットチャンネルダウン
②	自動的にドライブモード（初期スキャン）のチャンネルを記憶する 2秒以上タッチして、受信中の放送局に複数のチャンネル（中継局）があれば、受信状態が最適な中継局を検索して受信します
③	プリセットチャンネルアップ
④	現在受信中の番組名、チャンネル番号などの表示/非表示 2秒以上タッチして、番組表の表示
⑤	メニューコントロール画面の切りかえ
⑥	「信号切換え」画面表示 2秒以上タッチして、地上デジタルテレビの設定画面表示
⑦	元のモードに戻る
⑧	プリセットスイッチの表示 / 非表示
⑨	プリセットスイッチ
⑩	カーソル移動
⑪	メイン操作画面の切りかえ
⑫	1つ前の画面に戻る
⑬	項目を決定

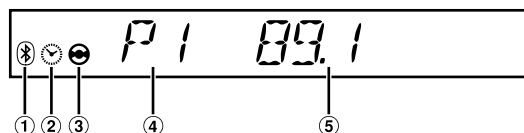
サブディスプレイ表示について

サブディスプレイ表示について

1 モニター（メインディスプレイ）が閉じた時に、を押す

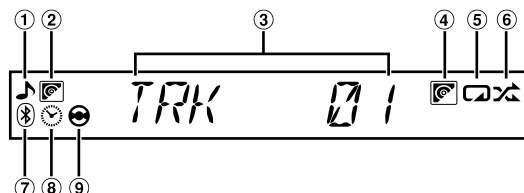
押すたびに表示が切りかわる。

<ラジオモード時表示例>



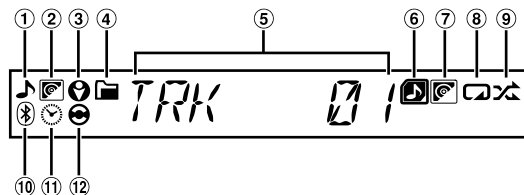
- 1 BLUETOOTH 機能が使用できる時に点灯
- 2 時計表示時に点灯
- 3 リアカメラモード時に点灯
- 4 プリセット No. を表示
- 5 周波数を表示

<CDモード時表示例>



- 1 トラック情報表示時に点灯
- 2 ディスクテキスト表示時に点灯
- 3 トラック No. を表示
- 4 リpeatミックスディスク時に点灯
(CD チェンジャーが接続された時)
- 5 リpeat動作時に点灯
- 6 ミックス動作時に点灯
- 7 BLUETOOTH 機能が使用できる時に点灯
- 8 時計表示時に点灯
- 9 リアカメラモード時に点灯

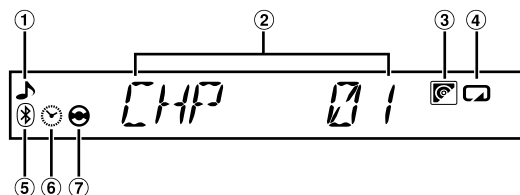
<MP3/WMA/AAC/DivX®モード時表示例>



- 1 ソング / ファイル情報表示時に点灯
- 2 アルバムネーム表示時に点灯
- 3 アーティストネーム表示時に点灯
- 4 フォルダ情報表示時に点灯

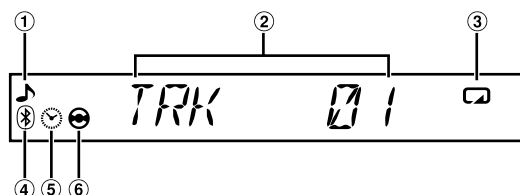
- 5 ソング / ファイル No. を表示
 - 6 リpeat / ミックスソング時に点灯
 - 7 リpeatディスク時に点灯
(MP3 チェンジャーが接続された時)
 - 8 リpeat動作時に点灯
 - 9 ミックス動作時に点灯
 - 10 BLUETOOTH 機能が使用できる時に点灯
 - 11 時計表示時に点灯
 - 12 リアカメラモード時に点灯
- ・ DivX モード時に、ミックス動作はありません。

<DVDモード時表示例>



- 1 チャプター情報表示時に点灯
- 2 チャプター No. を表示
- 3 リpeatプログラム時に点灯
- 4 リpeat動作時に点灯
- 5 BLUETOOTH 機能が使用できる時に点灯
- 6 時計表示時に点灯
- 7 リアカメラモード時に点灯

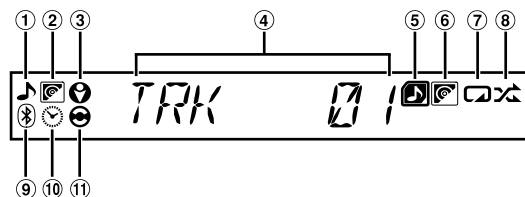
<ビデオCDモード時表示例>



- 1 トラック情報表示時に点灯
- 2 トラック No. を表示
- 3 リpeatトラック時に点灯
- 4 BLUETOOTH 機能が使用できる時に点灯
- 5 時計表示時に点灯
- 6 リアカメラモード時に点灯

サブディスプレイ表示について

< iPod モード時表示例 >



- 1 ソング情報表示時に点灯
- 2 アルバムネーム表示時に点灯
- 3 アーティストネーム表示時に点灯
- 4 トラック No. を表示
- 5 ミックスソング時に点灯
- 6 ミックスアルバム時に点灯
- 7 リピート動作時に点灯
- 8 ミックス動作時に点灯
- 9 BLUETOOTH 機能が使用できる時に点灯
- 10 時計表示時に点灯
- 11 リアカメラモード時に点灯

■ Memo

- 曲情報など正しく表示されないことがあります。
- 接続する製品によって、表示が異なる場合があります。



取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～6ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。

- RCAコード、ピンコード

家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。

9) スピーカーの接続

- 純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。
- スピーカーは、インピーダンスが3.2～8Ωのものをお使いください。

10) 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。

11) 取り付け場所について

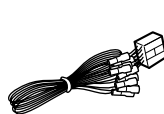
本機の操作の際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。

12) 水平に対して30度以内に付けてください。

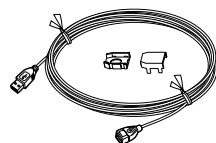
13) 不明な点はお買い上げ店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。
電源コード USBケーブル(2m)(固定ケース付属)

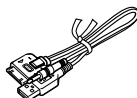


iPod Dockインターフェースケーブル (30cm)

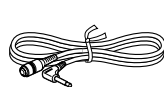


iPod Video用AV延長ケーブル (2m)

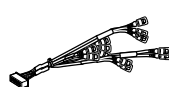
プリアウト/AUXコード (30cm)



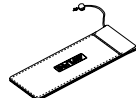
バンドネジ (M4×6)



携帯バッグ



×4



- バッテリーのマイナス端子を外す。
- 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
- 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
- オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。
(ブラケットは、4. 取り付けるの手順3で利用します。)

3. 接続する

- 91～92ページの基本接続図を参照して接続する。
 - 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
 - 誤接続を防ぐために、接続することに✓点をつけてください。
- 本機に電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓点があるかを確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。

(次ページへつづく)



取り付けと接続

5. イグニッションキーを ON にして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
6. 本機の電源を切る。
7. イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

4. 取り付ける

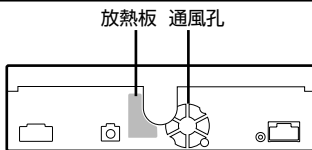


注意

通風孔や放熱板をふさがない。

通風孔・放熱板をふさがないでください。

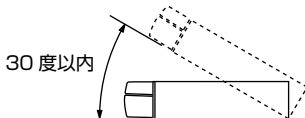
通風孔・放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になります。



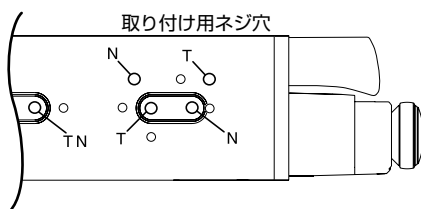
<製品裏側>

取り付けの際は必ず、フロントパネルを付けた状態で行ってください。フロントパネルを外した状態で取り付けると故障の原因となります。

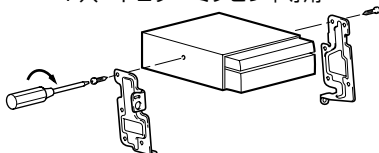
1. 本機操作の際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。



2. 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。



N 穴→ニッサン車専用
T 穴→トヨタ・ミツビシ車専用



3. 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
4. インパネを取り付ける。
5. コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
6. バッテリーマイナス端子を接続する。

■ Memo

- ・車両雑音から守るために
 - ・アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。
 - ・本機や本機からのコードを車両配線から離す。
 - ・バッテリー電源コードと PIN コードは離す。
 - ・ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

5. 確認する

1. イグニッションキーを ON にして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

■ Memo

IN-INT の接続について

IN-INT コードは次の組み合わせ時に使用します。

- ・音声認識対応のナビゲーションと組み合わせる。
音声認識対応のナビゲーションのミュートコードに接続します。
音声認識操作のとき本機の音量をミュートさせます。
詳しくはナビゲーション側の説明書を参照してください。
- ・BLUETOOTH INTERFACE（別売）と組み合わせる。
BLUETOOTH INTERFACE の MUTE コードに接続します。
携帯電話の音声などを本機に割り込ませます。
詳しくは BLUETOOTH INTERFACE の取扱説明書を参照してください。

スイッチ切りかえについて

取り付け前やシステムアップを行うとき、スイッチの切りかえが必要になる場合があります。

(本機の側面部に 2 箇所スイッチがあります。)

切りかえは次の手順で行ってください。

- 1) 電源コードを抜く。
- 2) 棒状のものをスイッチに対して垂直に挿入する。
- 3) 指定のポジションに切りかえる。
- 4) 電源コードを接続する。

システムスイッチ

本機に IMPRINT オーディオプロセッサーや、Ai-NET 対応のイコライザー、オーディオプロセッサー等を接続するときは、2 箇所のスイッチともに「EQ/DIV」側に切りかえます。



NORM ↔ EQ/DIV
(出荷時)

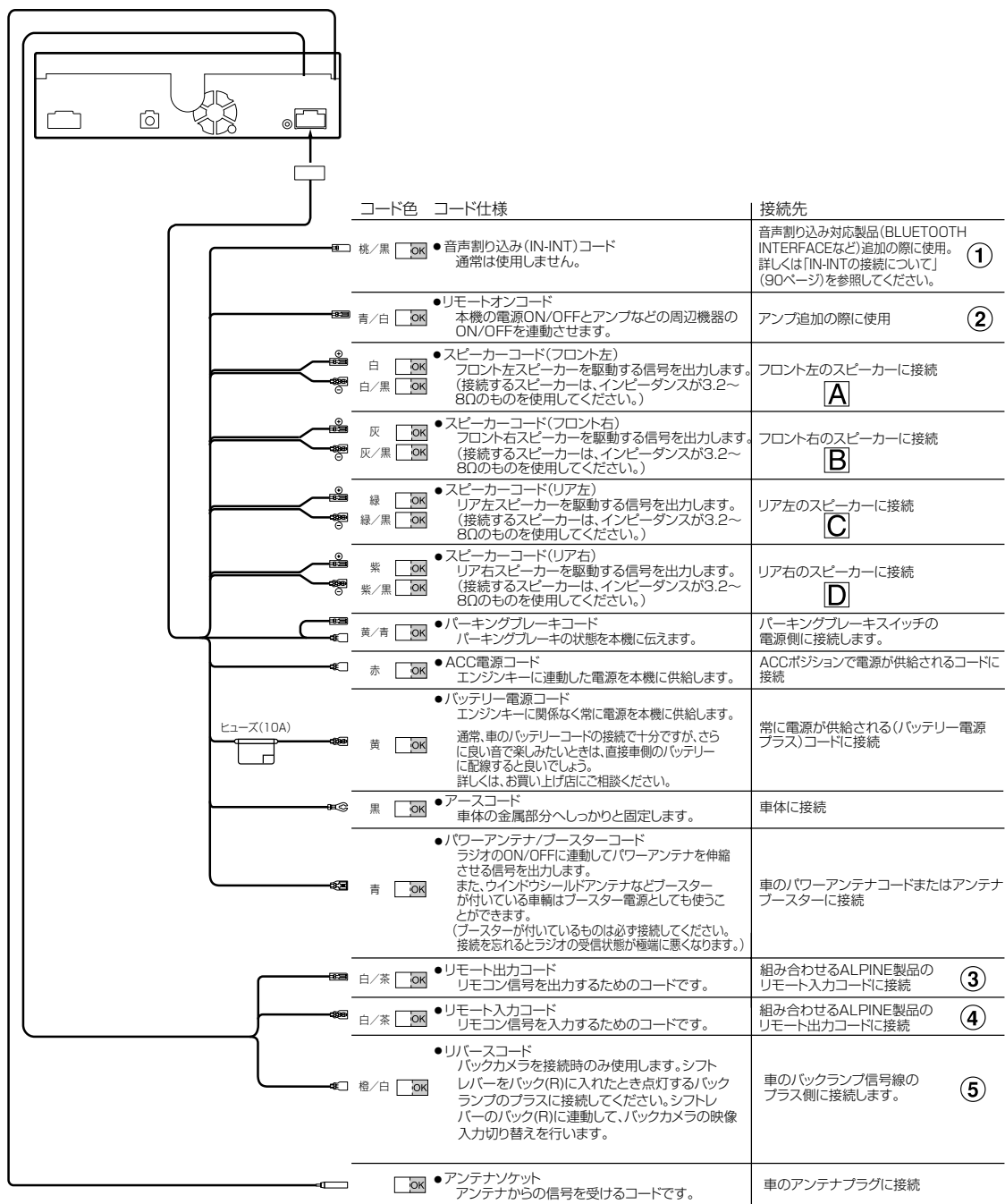
(本体側面部に 2 箇所)

■ Memo

- ・チェンジャーのみを接続する (Ai-NET 対応イコライザーを使わない) 場合、システムスイッチは 2 箇所とも「NORM」に設定してください。

基本接続図

- 92 ページの接続図と合わせて、正しい接続をおこなってください。

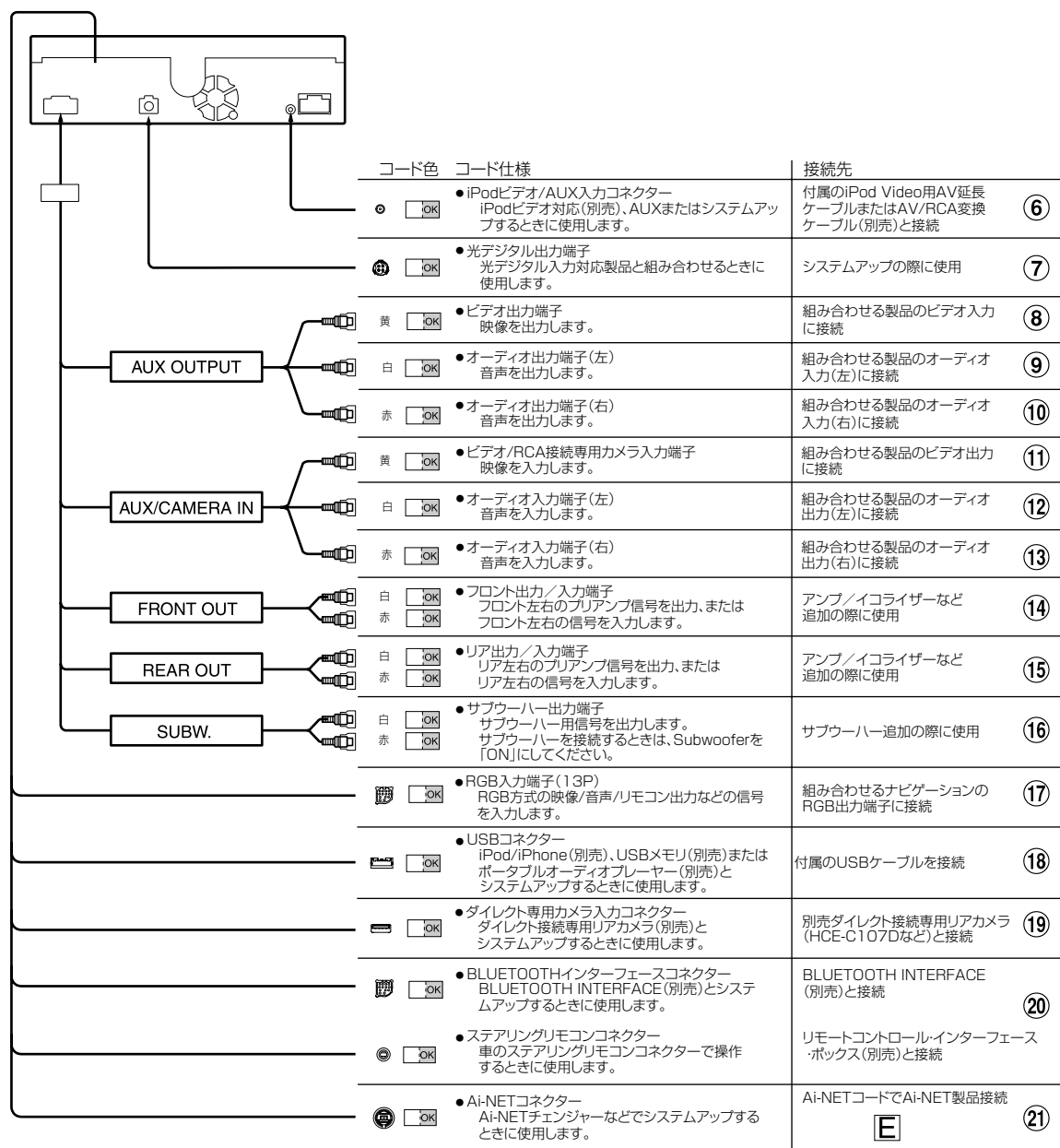


Memo

- 上記接続先の丸番号は、**6. システムアップの例**で使用します。
- DHA-S690 を接続する場合の注意: DHA-S690 側の「製品セットアップ」(MODEL SETUP)を「DVD CHG」に設定してください。



取り付けと接続



6. システムアップの例

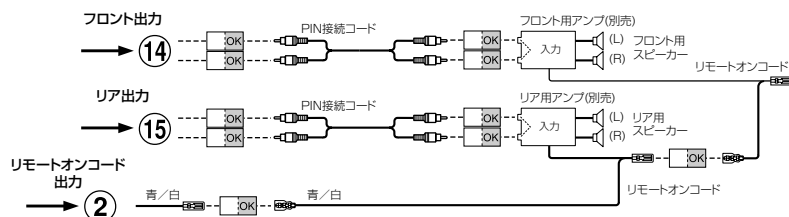
重要

- オーディオプロセッサ（PXA-H100 など）と組み合わせる場合には、システムスイッチの切りかえが必要になります。
- 正しい切りかえを行わないと、爆音など、不具合が発生します。
- 詳しくは、「スイッチ切りかえについて」（90 ページ）を参照してください。



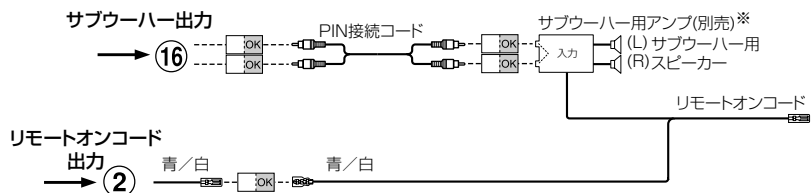
1) 外部アンプを接続する

システムスイッチ NORM



2) サブウーハーアンプを接続する

システムスイッチ NORM



※ローパスフィルター内蔵のアンプを使用してください。

■ Memo

- ・「サブウーハー接続（Subwoofer）」（43 ページ）を参照してください。



取り付けと接続

3) Ai-NET 対応オーディオプロセッサー（光デジタル対応）およびチェンジャー、DVD プレーヤーを接続する。

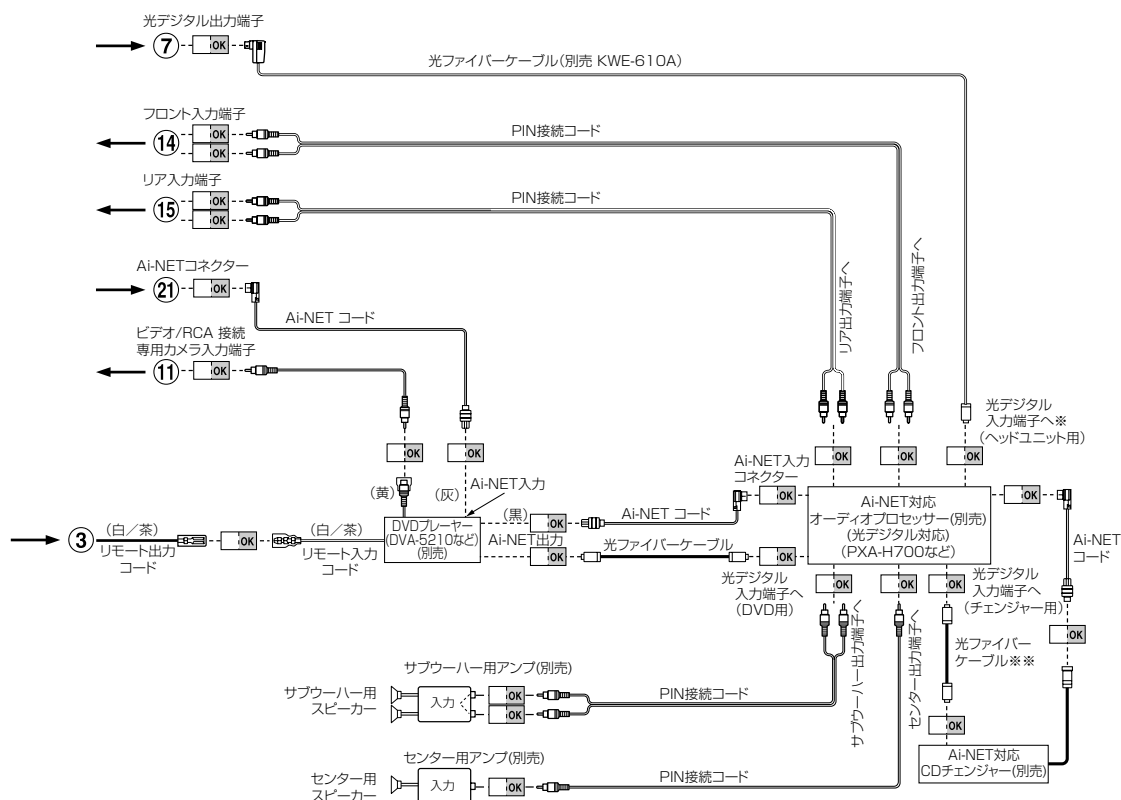
システムスイッチ EQ/DIV



注意

光ファイバーケーブルをご使用になるときは、次の点に注意してください。

- 光ファイバーケーブルを束ねるときには、小さく束ねないでください。（最小曲げ半径は、30mm です）
- 光ファイバーケーブルに製品などを載せないでください。



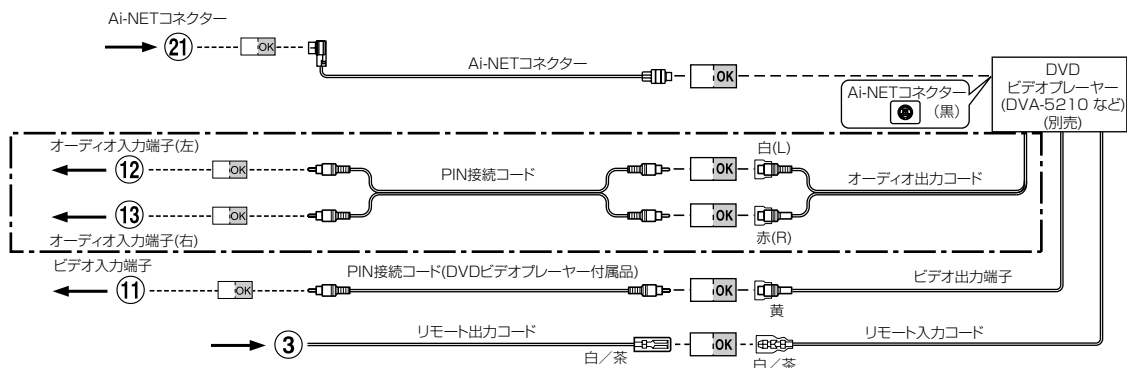
Memo

- ⑪の詳細については「カメラ入力設定 (Camera IN)」(56 ページ) を参照してください。

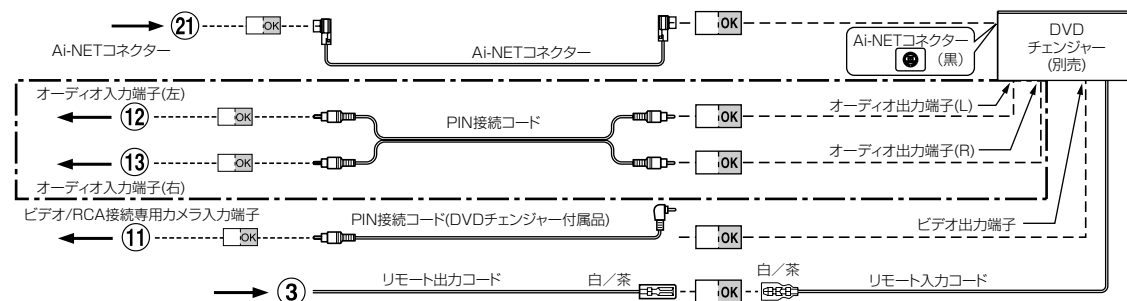
4) Ai-NET 対応 DVD ビデオプレーヤーまたは、DVD チェンジャーを接続する。

システムスイッチ NORM

● DVD ビデオプレーヤーの接続図



● DVD チェンジャーの接続図



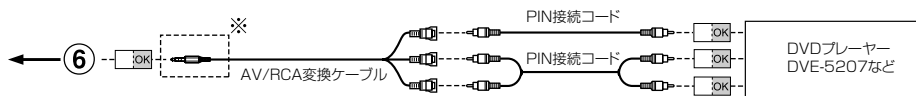
■ Memo

- ⑪の詳細については「カメラ入力設定 (Camera IN)」(56 ページ) を参照してください。
 - 本機 + DVD ビデオプレーヤー / DVD チェンジャー + デジタルオーディオプロセッサーを組み合わせる場合は、本機のシステムスイッチを「EQ/DIV」ポジションに設定してください。(接続については、DVD ビデオプレーヤー / DVD チェンジャー側の説明書をご覧ください。)
 - リアモニターを接続する場合：リアモニターへ DVD ビデオプレーヤーまたは DVD チェンジャーの音声を出力させるには、DVD ビデオプレーヤーまたは DVD チェンジャーのオーディオ出力コードを本機のオーディオ入力端子 ⑫、⑬ へ接続してください。
 - DVA-5210 と接続した場合：接続終了後、DVA-5210 のシステム設定が必要になります。製品を固定する前に、システム設定を変更してください。
- システムスイッチ：1 (Ai-NET)
Ai-NET 設定：FULL
詳細は、DVA-5210 側の取扱説明書をご覧ください。

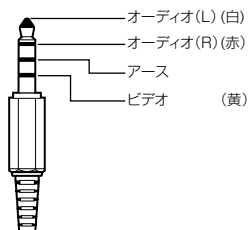


5) RCA 入力に DVD プレーヤーを接続する

システムスイッチ NORM



※ <4 電極 AV ミニプラグピン配列図面例>

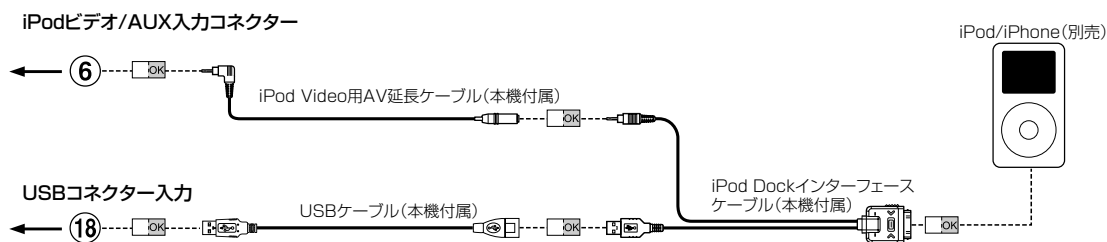


Memo

- 市販の4電極 AV ミニプラグの形態は違う場合があります。

6) 「iPod/iPhone」を接続する。

システムスイッチ NORM

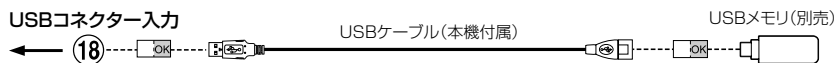


Memo

- 「外部入力の設定 (AUX2 IN)」(57 ページ) を参照してください。
- 付属の USB ケーブルと iPod Dock インターフェースケーブルをご使用ください。
- 付属の USB ケーブル以外をご使用の場合、動作の保証は致しかねます。
- iPod と USB メモリを同時に接続することはできません。

7) 「USB メモリ」を接続する

システムスイッチ NORM

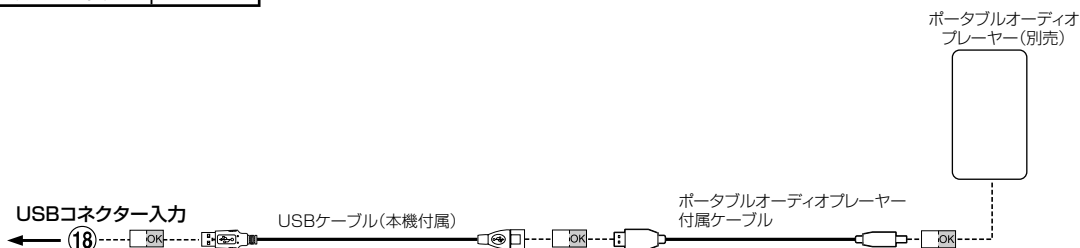


Memo

- 付属の USB ケーブルをご使用ください。
- 付属の USB ケーブル以外をご使用の場合、動作の保証は致しかねます。
- USB ケーブルは他のコード類から離して配線してください。

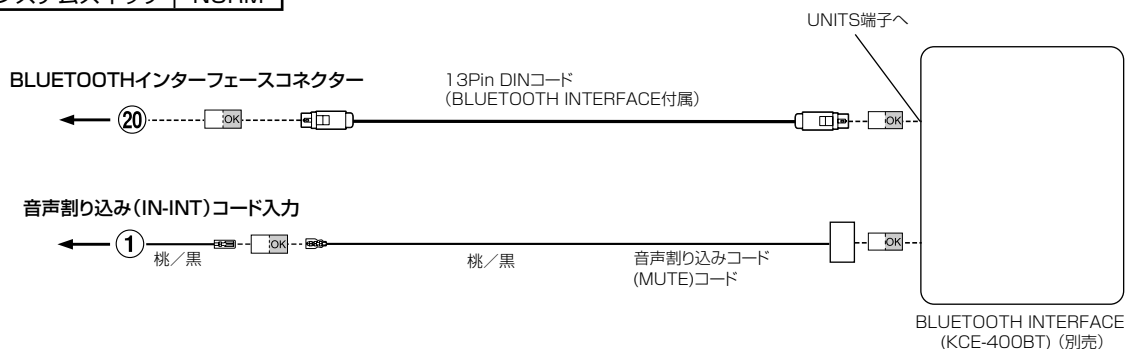
8) ポータブルオーディオプレーヤーを接続する

システムスイッチ NORM



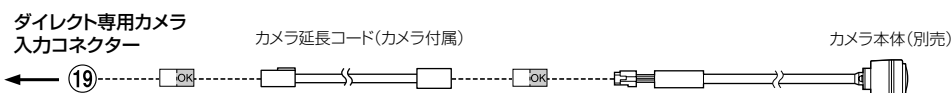
9) BLUETOOTH INTERFACE を接続する

システムスイッチ NORM



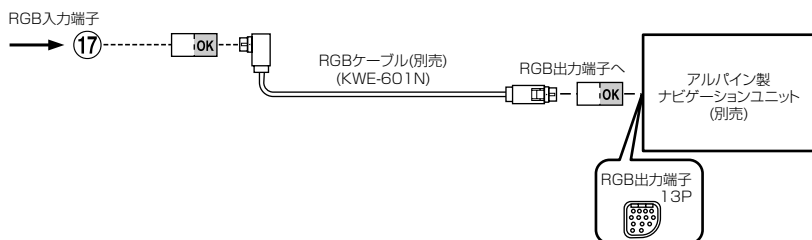
10) リアカメラ (ダイレクト接続専用) を接続する

システムスイッチ NORM



11) ナビゲーション (RGB 出力端子 13P) を接続する (RGB 接続)。

システムスイッチ NORM



Memo

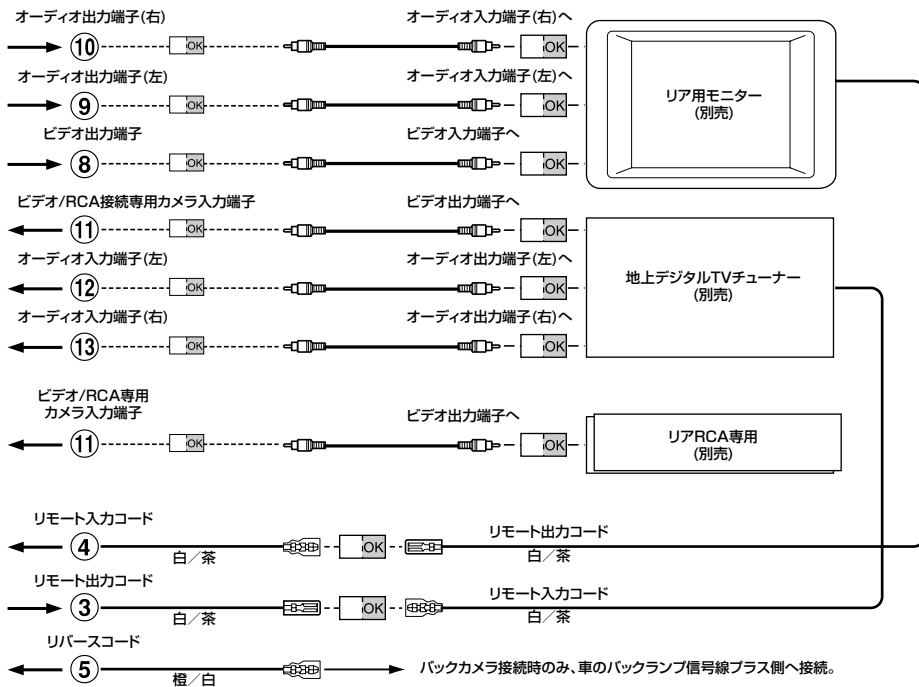
- 本機とナビゲーションシステムを接続する場合、別売またはナビゲーション製品付属の RGB ケーブルを使用してください。RCA で接続した場合には、本機からのナビゲーションや割り込み機能の操作はできません。



取り付けと接続

12) リアモニターおよび地上デジタルTVチューナーとリアカメラ（RCA 接続専用）を接続する

システムスイッチ NORM



Memo

- ⑪の詳細については「カメラ入力設定 (Camera IN)」(56 ページ) を参照してください。



お知らせ

- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- KCA-410C (Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー 2 台の製品を接続することができます。詳しくは KCA-410C の説明書を参照してください。

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？



接続・配線は正しく行われていますか？



下の表をもう一度ご確認ください。



それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口 (P104) にご相談ください。

- 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源を OFF → ON してください。それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行ってください。

共通部

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ヒューズが切れている。
 - ・ 規定容量のヒューズと交換する。(→ P91)
- 内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
 - ・ リセットスイッチをボールペンの先などで押す。(→ P10)
- BLACK OUT 機能が動作している。(ディスプレイが暗くなっている)
 - ・ BLACK OUT 機能を解除する。(→ P41)

電源が入るが音が出ない。

- 音量レベルが最小になっている。
 - ・ 音量レベルを上げる。(→ P15)
- フェダーの設定が適切でない。
 - ・ 2 スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。(→ P43)

記憶させた内容が消えてしまった。

- リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
 - ・ もう一度記憶する。(→ P10)
- バッテリーコードの接続ミス
 - ・ 接続を確認する。(→ P91)

ディスプレイが暗い。

- 気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
 - ・ しばらく待つ。

サブウーハーの音が出ない。

- サブウーハーの設定が OFF になっている。
 - ・ サブウーハーの設定を ON にする。(→ P43)
- サブウーハー出力レベル調整を行っていない。
 - ・ サブウーハー出力レベル調整を行う。(→ P43)

CD/MP3/WMA/AAC 部 /DVD/ ビデオ CD 部

ディスクが入らない。

- すでに別のディスクが入っている。
 - ・ ディスクを取り出してから入れ直す。

演奏が始まらない。/ 音がとぶ。/ 音が歪む。/ 早送り / 早戻しができない。

- 車内温度が 50℃ 以上ある。
 - ・ 車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
- ディスクに傷が付いている。
 - ・ ディスクがひどく汚れている。録音状態が良くない。
 - ・ 本機対応のディスクでない。
 - ・ 他のディスクを再生してみる。
- 結露している。
 - ・ しばらく放置してから使う。
- ピックアップレンズが汚れている。
 - ・ メンテナンスをする。(お問い合わせ窓口へ) (→ P104) レンズクリーナーを使用する場合は、必ずアルパイン専用の「KAE-125C」(別売) を使用してください。

ディスクが勝手にイジェクトする。

- ディスクの側面 / センターホールにバリがある。
 - ・ ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除く。



CD-R/CD-RW が再生できない。

- クローズセッション (ファイナライズ処理) を行っていない。
 - ・ クローズセッション (ファイナライズ処理) を行い、再度、試してみる。

MP3/WMA/AAC が演奏されない。

- 書き込みに失敗している / 対応フォーマット以外で書き込まれている
 - ・ 書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3/WMA/AAC について」を参照し本機対応のフォーマットで書き込みを行う。(→ P108)

ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- アンテナが接続されていない。
 - ・ アンテナが確実に接続されているか確認する。
- アンテナが伸びていない。
 - ・ アンテナを伸ばす。
 - ・ パワーアンテナ / プースターコードが接続されているか確認する。
- 放送局の周波数が合っていない。
 - ・ 周波数を正しく合わせる。(→ P16)
- 周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
 - ・ 見通しが良いところに移動する。
- アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
 - ・ アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。

FM は受信できるが、AM は受信できない。

- パワーアンテナ / プースターコードが正しく接続されていない。
 - ・ 接続を確認する (→ P91)

自動的に放送局が選べない。

- 電波の弱い地域にいる。
 - ・ ディスタンスモードまたはマニュアルモードで受信する。(→ P16)

iPod/iPhone 部

iPod/iPhone が再生しない。

- iPod/iPhone が認識されていない。
 - ・ 本機と iPod/iPhone をリセットする。(→ P9)
 - ・ iPod/iPhone のリセットについては、iPod/iPhone 側の説明書を参照してください。

メッセージが表れたら… (CD/MP3/WMA/AAC 部)

No Disc	● ディスクが入っていない。 ・ ディスクを入れる。 ● ディスクが入っているが、「No Disc」と表示され、演奏または、イジェクトができない。 ・ 次の方法でディスクを取り出す。 「▲」を3秒以上押す。
Mech Error	● メカニズムエラー。 ① 「▲」を押して、ディスクを取り出す。 - イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ
Loading Error	② ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。
Eject Error	③ 何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。
Disc Error	● ディスク傷、ディスク汚れ。／録音状態が良くない。／本機対応のディスクでない。 ・ 「▲」を押して、ディスクを交換する。
Protect	● コピープロテクト（著作権保護）されているWMA ファイルを演奏した。 ・ コピープロテクトされていないファイルを演奏する。
Unsupported	● 本機指定のMP3/WMA/AAC フォーマットで書き込みされていない。 ・ 本機指定のフォーマットで書き込みを行う。

メッセージが表れたら… (DVD/ビデオ CD 部)

No Disc	● ディスクが入っていない。 ・ ディスクを入れる。 ● ディスクが入っているが、「No Disc」と表示され、演奏または、イジェクトができない。 ・ 次の方法でディスクを取り出す。 「▲」を3秒以上押す。
	● リモコン（別売）操作を受け付けない。 ・ ディスクまたは再生状態によっては、その操作を受け付けられない場合があります。故障ではありません。
Regional Code Violation	● ディスクの地域コード番号が合っていない。 ・ 地域コード番号が対応しているディスクを入れる。（→ P5）
Mech Error	● メカニズムエラー。 ① 「▲」を押して、ディスクを取り出す。 - イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ
Loading Error	② ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。
Eject Error	③ 何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。
Disc Error	● ディスク傷、ディスク汚れ。／録音状態が良くない。／本機対応のディスクでない。 ・ 「▲」を押して、ディスクを交換する。
Eject Disc Before Using DVD-Setup	● ディスクが再生停止されていない状態でDVD セットアップの操作を行った。 ・ ディスクを再生停止または、ディスクを取り出してから操作を行う。
Unsupported	● 本機指定のMP3/WMA/AAC フォーマットで書き込みされていない。 ・ 本機指定のフォーマットで書き込みを行う。

DRM がかかっている DivX® ファイル再生について

次のメッセージ表示中は、一部の操作を受け付けることができません。

Authorization Error	● 本機の登録コードが承認されていない否認の DRM がかかっている。 ・ DivX® ファイルを再生した場合は、「Authorization Error」と2秒間メッセージが表示され、そのファイルは再生できません。メッセージ表示後、自動的に次のファイルの先頭から再生を始める。
Rental Expired	● DivX® ファイルには、視聴回数が設定されているレンタルファイルがあります。視聴回数が0回の場合は、「Rental Expired」と2秒間メッセージが表示され、そのファイルは再生できません。メッセージ表示後、自動的に次のファイルの先頭から再生を始める。
Rental countdown OK?	● レンタルファイル再生中に、B.SKIP、ファイル選択メニューでのENTER 確定の操作をしたときに、「Rental countdown OK?」とメッセージが表示され、レンタルファイル再生を中断（視聴回数が1回減）します。この時は一時停止（PAUSE）状態になっています。再生を中断するには[Yes]を選び、中断しないときは[No]を選ぶ。
This rental has (残回数) views left. View DivX® VOD Rental?	● 視聴回数がまだ残っている場合は、残回数がメッセージ表示されます。 ・ 再生するには[Yes]を選ぶ。次のファイルを再生するなら[No]を選ぶ。

メッセージが表れたら… (iPod/iPhone 部(オプション))

No USB Device	● iPod/iPhone が接続されていない。 ・ iPod/iPhone が正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する。
No Song	● iPod/iPhone に曲（ファイル）が入っていない。 ・ iPod/iPhone に曲（ファイル）を転送してから接続する。
Error 01	● データベースエラーまたはデコーダーエラー。 ・ 別の音楽モードを切りかえる。
Error 02	● 通信エラーまたはブートエラーなど。 ・ 一度本機からiPod/iPhoneを外し、再接続する。 ・ 別の音楽モードを切りかえる。
Error 03	● iPod/iPhone が認証されていない。 ・ 一度本機からiPod/iPhoneを外し、再接続する。
Current Error	● USB 端子接続機器に異常な電流が流れている（本機動作対象外のUSB機器を接続すると表示される可能性があります）。 ・ 別の音楽モードを切りかえる。
USB Device Error	● 本機対象外のUSB製品が接続されている。 ・ 本機対象のUSBメモリを接続する。

メッセージが表れたら… (USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー部)

Current Error	● USB 端子接続機器に異常な電流が流れている (本機動作対象外の USB 機器を接続すると表示される可能性があります)。 ・別の音楽モードを切りかえる。
Device Error	● 本機対象外の USB 製品が接続されている。 ・本機対象の USB メモリを接続する。
No USB Device	● USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤーが接続されていない。 ・USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤーが正しく接続されているか確認する。 また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する。
No Song	● USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤーに曲 (ファイル) が入っていない。 ・USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤーに曲 (ファイル) を書き込んでから接続する。
Unsupported	● 本機指定の MP3/WMA/AAC フォーマットで書き込みされていない。 ・本機指定のフォーマットで書き込みを行う。
Protect	● コピープロテクト (著作権保護) されている WMA ファイルを演奏した。 ・コピープロテクトされていないファイルを演奏する。
Error 01	● データベースエラーまたはデコーダーエラー。 ・別の音楽モードを切りかえる。
Error 02	● 通信エラーまたはフートエラーなど。 ・一度本機から USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤーを外し、再接続する。 ・別の音楽モードを切りかえる。
Error 03	● ポータブルオーディオプレーヤーが認証されていない。 ・一度本機からポータブルオーディオプレーヤーを外し、再接続する。

メッセージが表れたら… (チェンジャー部)

No Magazine	● マガジンが CD チェンジャーにセットされていない。 ・マガジンを CD チェンジャーにセットする。
No Disc	● ディスクが入っていない。 ・ディスクを入れる。
HI-TEMP	● 車内温度が高すぎる。 ・車内温度を常温まで下げる。
Error 01	● ディスクがマガジンに戻っていない。 ① 「▲」を押す。 ② 空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押しディスクを回収する。 ● メカニズムエラー。 ① 「▲」を押す。 ② 表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。 ③ それでも復旧しない…修理ご相談窓口へ。
Error 02	● ディスクがマガジンに戻っていない。 ① 「▲」を押す。 ② 空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押しディスクを回収する。

規格

チューナー部

受信周波数	AM ; 522 ~ 1629kHz FM ; 76.0 ~ 90.0MHz
実用感度	AM ; 22.5 μ V FM ; 0.8 μ V (75 Ω) :9.3dBf (新 IHF)
ステレオセパレーション	FM ; 35dB 以上
SN 比	FM ; 65dB 以上
イメージ妨害比	FM ; 80dB 以上
IF 妨害比	FM ; 80dB 以上

USB 部

USB 規格	USB 1.1 / 2.0
最大供給電流	500mA
ファイルシステム	FAT 12/16/32
MP3 デコード	MPEG-1/2 AUDIO Layer-3 準拠
WMA デコード	Windows Media™ Audio 準拠 (WMDRM10 に対応)
AAC デコード	AAC-LC 形式 “.m4a” ファイル
チャンネル数	2 チャンネル (ステレオ)
周波数特性 ^{*1}	5Hz ~ 20kHz (± 1dB)
ダイナミックレンジ	95dB (1kHz) 以上
SN 比	105dB (1kHz) 以上
高周波歪率	0.008% (1kHz) 以下
チャンネルセパレーション	85dB (1kHz) 以上

^{*1} 周波数特性はエンコードソフト/ビットレートにより異なる場合があります。

CD/DVD 部

方式	光学式 (コンパクトディスク方式)
チャンネル数	2 チャンネル (ステレオ)
ダイナミックレンジ	95dB (1kHz) 以上
高周波歪率	0.008% (1kHz) 以下
チャンネルセパレーション	85dB (1kHz) 以上
ワウフラッター	測定限界以下
信号システム	NTSC/PAL 規格
水平解像度	500 本以上
画像出力レベル	1Vp-p (75 Ω)
画像 SN 比	DVD ; 65dB
音声 SN 比	105dB 以上
周波数特性	5 ~ 20kHz

表示部

画面サイズ	7.0 インチ
表示方式	透過型 TN 液晶
駆動方式	TFT アクティブマトリクス
画素数	384,000 個 (800 × 480) (有効画素数 : 99.99% 以上)
照明方式	LED バックライト

一般

使用電源	DC14.4V (動作範囲 : 11 ~ 16V)
アース方式	マイナスアース
最大出力	50W × 4
音声出力レベル	プリアウト : 2V / 10K Ω (最大) (フロント/リア/サブウーハー) AUX OUT 1.2V/10K Ω Ai-NET ; 850mV
動作温度範囲	0° C ~ 45° C
外形寸法	178 (幅) × 50 (高さ) × 165 (奥行) mm (収納時)
重量	2.65 kg

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPod もしくは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

Windows Media および Windows は、米国及びその他の国で登録されている Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson から実施許諾されています。

本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、<http://mp3licensing.com> にアクセスしてください。

本機は、米国特許及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載している。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks, & DTS 2.0+ Digital Out and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

Audyssey MultEQ XT は Audyssey Laboratories Inc. の登録商標です。

BLUETOOTH® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アルパイン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

DivX®, DivX Certified®, および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。
- 液晶パネルは、非常に精度の高い技術で作られており、99.99% 以上の有効画素数がありますが、0.01% の画素欠けや常時点灯する画素があり得ますので、あらかじめご了承ください。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- **調子が悪いとき**
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも調子が悪いとき**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または 104 ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口にて、修理を依頼してください。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理**
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- **補修性能部品**
製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または 104 ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

(AV/NAVI/MD/3D)

(平成24年2月現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL：0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
（一部回線でつながらない場合があります。）
＜携帯電話、IP電話、光電話等をご利用のお客様用＞
TEL：048-662-6636

- 電話受付時間（日、祝日、弊社休業日を除く）
月～金：9：30～17：30
土曜日：9：30～12：00 13：00～17：00
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX：048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

修理ご相談窓口

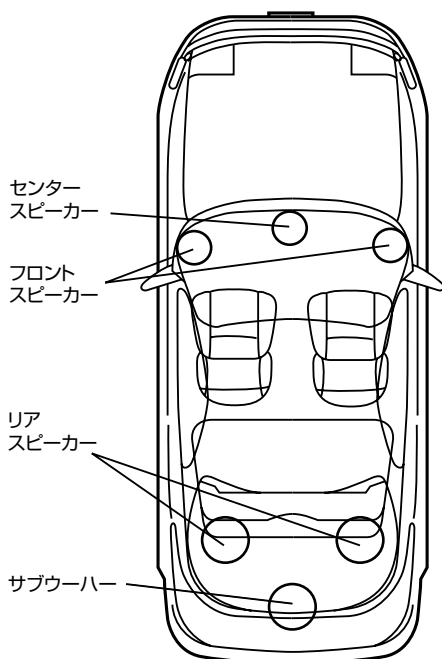
問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス（株） 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道/青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県/ 栃木県/茨城県/群馬県/東京都/神奈川県/埼玉県/ 千葉県/新潟県/長野県/山梨県
アルパインカスタマーズサービス（株） 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3-18-14	静岡県/愛知県/三重県/岐阜県/福井県/富山県/石川県/ 滋賀県/京都府/大阪府/和歌山県/奈良県/兵庫県/ 岡山県/島根県/鳥取県/広島県/山口県/香川県/愛媛県/ 徳島県/高知県/福岡県/佐賀県/大分県/熊本県/長崎県/ 鹿児島県/宮崎県/沖縄県

用語解説

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルはドルビー研究所が開発したデジタルオーディオ圧縮技術で、大量のオーディオデータを効率的にディスクに記録できるようにします。モノラル（1チャンネル）から5.1チャンネルのサラウンドサウンドにいたるすべてのオーディオ信号に適合しています。異なるチャンネルへの信号は完全に独立し、さらに高品質のデジタルサウンドのため音質の低下はまったくありません。

※完全な5.1チャンネル・サラウンドサウンドを楽しむには、別売のデジタルオーディオプロセッサー（PXA-H701 など）が必要です。



ドルビーデジタル／DTSを楽しむための
スピーカーレイアウト

DTS

DTS 社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTS サウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTS は6本の独立した音声トラックを持ち、劇場公開映画などで使われている高品位の臨場感あふれるDTSサラウンドを楽しめます。

DTS は Digital Theater System の略。

※DTS サラウンドを楽しむには別売のDTS デジタルオーディオプロセッサー（PXA-H701 など）が必要です。
また、DVD ビデオソフトもDTSに対応したものをお使いください。

本機は、DTS2 チャンネルデコーダーを内蔵しており、アナログ信号を出力します。

Dolby PRO LOGIC II

Dolby PRO LOGIC II は、2チャンネルソースを5チャンネルで全帯域再生します。それを行うのが、ソースにない音や音の色付けを加えることなく、オリジナル録音の空間的特質を引き出す先進的で高音質のマトリックスサラウンドデコーダです。

※Dolby PRO LOGIC II サウンドを楽しむには、別売のデジタルオーディオプロセッサー（PXA-H701 など）が必要です。

リニア PCM 音声 (LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式。音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit～96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生ができます。

視聴規制 (パレンタルロック)

国ごとに規制した視聴年齢制限をするためのDVDの機能。DVDにより制限のしかたは異なり、全く再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生をします。

言語コード表

(詳しくは 47 ページをご覧ください。)

記号	コード	言語
AA	6565	アフアル語
AB	6566	アブバジア語
AF	6570	アフリカーンス語
AM	6577	アムハラ語
AR	6582	アラビア語
AS	6583	アッサム語
AY	6589	アイマラ語
AZ	6590	アゼルバイジャン語
BA	6665	バシキール語
BE	6669	ベラルーシ語
BG	6671	ブルガリア語
BH	6672	ビハーリー語
BI	6673	ビスラマ語
BN	6678	ベンガル語、バングラ語
BO	6679	チベット語
BR	6682	ブルトン語
CA	6765	カタロニア語
CO	6779	コルシカ語
CS	6783	チェコ語
CY	6789	ウェールズ語
DA	6865	デンマーク語
DE	6869	ドイツ語
DZ	6890	ブータン語
EL	6976	ギリシャ語
EN	6978	英語
EO	6979	エスペラント語
ES	6983	スペイン語
ET	6984	エストニア語
EU	6985	バスク語
FA	7065	ペルシャ語
FI	7073	フィンランド語
FJ	7074	フィジー語
FO	7079	フェロー語
FR	7082	フランス語
FY	7089	フリジア語
GA	7165	アイルランド語
GD	7168	スコットランドゲール語
GL	7176	ガルシア語
GN	7178	グアラニ語
GU	7185	グジャラート語
HA	7265	ハウサ語
HI	7273	ヒンディー語
HR	7282	クロアチア語
HU	7285	ハンガリー語
HY	7289	アルメニア語
IA	7365	国際語
IE	7369	国際語

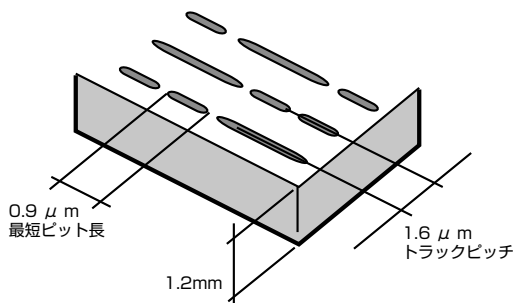
記号	コード	言語
IK	7375	Inupiak語
IN	7378	インドネシア語
IS	7383	アイスランド語
IT	7384	イタリア語
IW	7387	ヘブライ語
JP	7465	日本語
JL	7473	イディッシュ語
JW	7487	ジャワ語
KA	7565	グルジア語
KK	7575	カザフ語
KL	7576	グリーンランド語
KM	7577	カンボジア語
KN	7578	カンナダ語
KO	7579	韓国語
KS	7583	カシミール語
KU	7585	クルド語
KY	7589	キルギス語
LA	7665	ラテン語
LN	7678	リンガラ語
LO	7679	ラオス語
LT	7684	リトアニア語
LV	7686	ラトビア語、レット語
MG	7771	マダガスカル語
MI	7773	マオリ語
MK	7775	マケドニア語
ML	7776	マラヤーラム語
MN	7778	モンゴル語
MO	7779	モルダビア語
MR	7782	マラータ語
MS	7783	マレー語
MT	7784	マルタ語
MY	7789	ミャンマー語
NA	7865	ナウル語
NE	7869	ネパール語
NL	7876	オランダ語
NO	7879	ノルウェー語
OC	7967	プロバンス語
OM	7977	(アフアン)オロモ語
OR	7982	オリヤー語
PA	8065	パンジャブ語
PL	8076	ポーランド語
PS	8083	バシュトー語
PT	8084	ポルトガル語
QU	8185	ケチュア語
RM	8277	ラエティ＝ロマン語
RN	8278	キルンディ語
RO	8279	ルーマニア語

記号	コード	言語
RU	8285	ロシア語
RW	8287	キニヤルワンダ語
SA	8365	サンスクリット語
SD	8368	シンド語
SG	8371	サンゴ語
SH	8372	セルビアクロアチア語
SI	8373	シンハラ語
SK	8375	スロバキア語
SL	8376	スロベニア語
SM	8377	サモア語
SN	8378	ショナ語
SO	8379	ソマリ語
SQ	8381	アルバニア語
SR	8382	セルビア語
SS	8383	シスワティ語
ST	8384	セストゥ語
SU	8385	スندا語
SE	8386	スウェーデン語
SW	8387	スワヒリ語
TA	8465	タミール語
TE	8469	テルグ語
TG	8471	タジク語
TH	8472	タイ語
TI	8473	ティグリニャ語
TK	8475	トゥルクメン語
TL	8476	タガログ語
TN	8478	セツワナ語
TO	8479	トンガ語
TR	8482	トルコ語
TS	8483	ツォンガ語
TT	8484	タタール語
TW	8487	トウィ語
UK	8575	ウクライナ語
UR	8582	ウルドゥー語
UZ	8590	ウズベク語
VI	8673	ベトナム語
VO	8679	ボラビュク語
WO	8779	ウォロフ語
XH	8872	コーサ語
YO	8979	ヨルバ語
CN	9072	中国語
ZU	9085	ズール語

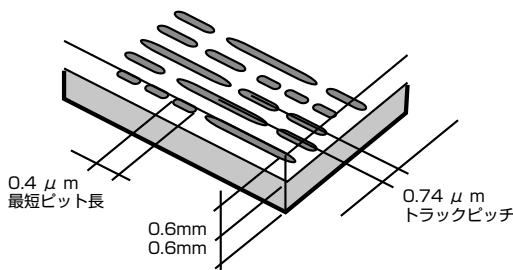
DVD について

音楽 CD や DVD 等のディスクには、情報を記録するための溝（トラック）があります。そこに、0 と 1 のデジタル情報を凹凸で表した細かいピットが作られ、それをレーザー光で読み取り再生します。DVD は、トラック間隔を CD の半分以下に狭め、ピットもより細かくして高密度でより多くの情報を記録させています。

CD



DVD



12cm のディスクに映画なら 1 本分、音楽なら約 4 時間を収録できます。

さらに水平解像度 500 本以上の高画質により透明感のある画質、鮮やかな色合いを再現します。また、別売りのデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H701 など）と組み合わせることによりドルビーデジタル 5.1ch サラウンドで劇場の迫力と臨場感を再現することができます。

さらに、DVD ディスクにはいろいろな機能があります。

● マルチ音声機能*（29 ページ）

1 本の映画の中に最大 8 つの言語を収録できます。本機のボタン操作でお好みの音声で再生することができます。

● サブタイトル（字幕）機能*（29 ページ）

映画の字幕スーパーなら 32 カ国語まで収録できます。本機のボタン操作でお好みの字幕で再生することができます。

● マルチアングル機能*（29 ページ）

複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、本機のボタン操作でお好みのアングル（角度）で再生することができます。

● マルチストーリー機能*

1 本の映画の中にいくつものストーリーが入っていて、お好みのストーリーを選ぶことにより何通りものストーリーを楽しむことができます。

操作方法はディスクによって異なりますが、再生中にストーリー選択画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- これらの機能は、ディスクによって収録されている音声言語、字幕、アングルなどが異なります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

DivX について

DivX® とは、高画質を維持しながら動画を圧縮・伸張するプログラムのコーデックの一種です。圧縮効率や動作速度に優れています。

- Official DivX® Certified 製品
 - 標準の DivX® メディアファイル再生機能が付いた DivX® ビデオを再生（DivX® 5 も含むすべてのバージョンに対応）
 - DivX®, DivX Certified®, および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。
- プレミアムコンテンツを含む DivX® ビデオ再生用 DivX Certified® です。

本機では、拡張子(avi または divx)が付いている DivX® モードで記録された CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD + R/DVD + RW ディスクを再生することができます。

● 本機で DivX® ディスク再生可能な範囲について：

映像サイズ：
横 32 ～ 720pixel × 縦 32 ～ 576 pixel (NTSC)

映像ビットレート：
" 平均 4 Mbps , Peak 8 Mbps" . Home Theater Profile 対応。

● 音声記録方式は、下記に対応しています。

MPEG1 Layer II	64 ～ 384 kbps
MPEG1 Layer III	32 ～ 320 kbps
MPEG2 Layer III	8 ～ 160 kbps
MPEG2.5 Layer III	8 ～ 160 kbps
Dolby Digital	64 ～ 448 kbps (Max. 5.1ch)

● DivX® ビデオについて

DivX® は、DivX, Inc. 社が開発したデジタルビデオフォーマットです。本機は、DivX ビデオの再生が可能な、公式 DivX Certified® 機器です。DivX® についての詳細や、DivX ビデオへの変換ソフトウェアについては、divx.com をご覧ください。

● DivX ビデオ・オン・デマンドについて

購入した DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) コンテンツを再生するには、DivX Certified® 機器の登録が必要です。本機の登録コードは、セットアップメニューの DivX VOD 項目でご確認ください。登録方法の詳細については、vod.divx.com をご覧ください。

MP3/WMA/AAC について

注意 : 個人で楽しむ以外は、オーディオデータ (MP3/WMA/AAC データ含む) を著作権者に無断で複製し、有料無料で問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3 とは？

正式には「MPEG-1, 2, 2.5 Audio Layer3」といい、国際標準化団体の ISO と IEC の共同活動機関である MPEG が定めた圧縮規格です。MP3 は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。また、CD クオリティに近い音質を実現しても約 1/10 の圧縮率を得ることができます。(サンプリング周波数 44.1kHz、ビットレート 128kbps の場合) このような高圧縮率を実現している MP3 フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

WMA とは？

WMA または「Windows Media™ Audio」は、圧縮されたオーディオデータです。WMA は MP3 オーディオデータと同様に小さいファイルサイズで CD 同等の音質を実現しています。

AAC とは？

AAC とは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮の基本フォーマットです。

MP3/WMA/AAC へ圧縮する方法

MP3/WMA/AAC 専用ソフトを使い圧縮します。詳しくは専用ソフトの説明書を参照願います。

WMA は Windows Media Audio Professional 形式、Windows Media Audio 9 Voice 形式、Windows Media Audio 9 Pro Lossless 形式には対応していません。

また、本機で再生可能な MP3/WMA/AAC ファイルの拡張子は「mp3」/「wma」/「m4a」です。(WMA は Ver.7.1、8、9、9.1、9.2 に対応)

■ 注意

・AAC ファイルを作成したソフトによってはファイル形式と拡張子が異なります。本機では、iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルのみの再生に対応しています。

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

サンプリングレート

MP3 : 48kHz、44.1kHz、32kHz、24kHz、22.05kHz、16kHz、12kHz、11.025kHz、8kHz
WMA : 48kHz、44.1kHz、32kHz
AAC : 48kHz、44.1kHz、32kHz、24kHz、22.05kHz、16kHz、12kHz、11.025kHz、8kHz

ビットレート

MP3 : 32kbps ~ 320kbps、WMA: 48kbps ~ 192kbps
AAC : 16kbps ~ 320kbps

ただし、サンプリングレートとビットレートの組み合わせによっては正常に再生されない場合があります。

上記記載以外は動作を保証致しかねます。

ID3 タグ / WMA タグについて

ID3 タグは、ID3 Tag v1、v2 に対応しています。圧縮化、暗号化、グループ化、非同期化はサポートしていません。

MP3/WMA/AAC ファイルにタグ情報が入っていれば、タイトル (曲名)、アーティスト名、アルバム名のタグ情報を表示できます (最大 128 文字)。

本機で日本語のひらがな / カタカナ / 第一水準漢字 / 一部の第二水準漢字に対応します。また、第二水準漢字に対応しない場合、<■>と表示されます。対応文字以外の場合、「No Support」が表示されます。

また、タグ情報によっては、文字数が制限されたり正しく表示されないことがあります。

MP3/WMA/AAC ディスクを作成するには

MP3/WMA/AAC ファイルを用意し、CD-R ライティングソフトを利用して、CD-R・CD-RW(DVD-R/DVD-RW) メディアに書き込みます。ファイル/フォルダ数 (ルートフォルダを含めて) は、最大フォルダ数は 256 個、最大ファイル数は 4096 個です。

上記の制限以外で書き込まれたディスクは、再生できない場合があります。MP3 作成ソフトの 1 部にはライティングソフトが同梱されているものもあります。このようなソフトを使用した場合、本機で再生ができないことがあります。このような場合は他のライティングソフトを使用して MP3 フォルダ (ファイル) のみを記録してください。

対応メディア

再生できるメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW です。

対応ファイルシステム

ISO9660 レベル 1、レベル 2 でフォーマットされたディスクに対応しています。

ISO9660 規格では、フォルダのディレクトリ階層 (最大 8 階層) やフォルダ/ファイル名の文字数、フォルダ/ファイル名で使える文字 (A ~ Z、0 ~ 9、_ (アンダーバー)) などの制限があります。また、Romeo、Joliet などの ISO9660 準拠であれば、再生は可能です。ただし、ファイル名/フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

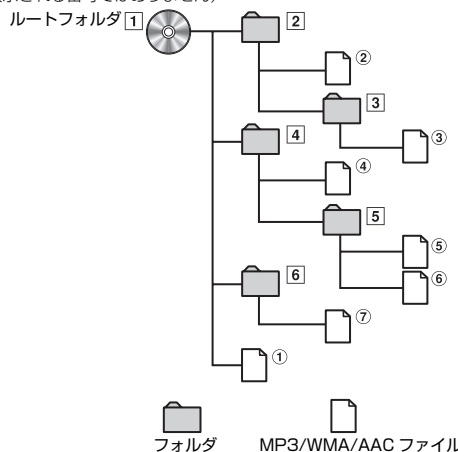
対応フォーマット

CD-ROM XA、Mixed Mode CD、Enhanced CD (CD-Extra)、及びマルチセッションに対応しています。

但し、Track At Once やバケットライトで作成された CD の場合、正常に再生できません。

演奏される順番

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。下図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです。(実際に表示される番号ではありません)



■ 注意

・USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤーの再生順は、本体のデータベース登録により変わります。

用語説明

ビットレート

エンコードするときに指定する「音」の圧縮率で、ビットレートが高いほど高音質になるが、ファイルサイズも大きくなる。

サンプリングレート

データを 1 秒間に何回サンプリング (記録) するかを示す値のことで、たとえば、音楽 CD は 44.1kHz で、1 秒間にデータを 4 万 4100 回サンプリング (記録) していることになります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード

音楽 CD や WAVE ファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換すること。

タグ

曲名やアルバム名、アーティスト名など、MP3/WMA/AAC ファイルに書き込まれた楽曲情報。

ルートフォルダ

ファイルシステムの最上階層のフォルダ。全てのフォルダ/ファイルはルートフォルダに含まれています。

索引

五十音順

あ 行

アーティスト / アルバムのプレイリスト作成	37
明るさの調整	52
アクションインジケータ	9
圧縮ファイル再生データの設定	51
アルファベットのスキップ機能	33、38
アングル切りかえ	29
イコライザーモードの選択	45
位相切りかえ (外部オーディオプロセッサ)	62
色あいの調整	53
色の濃さの調整	52
映像表示輝度ショートカット	12
お問い合わせ窓口	104
音声言語切りかえ	28
音声言語の設定	47
音量調整	15

か 行

ガイドラインの座標調整	56
外部オーディオプロセッサについて	59
外部オーディオプロセッサを設定する	59
外部入力の設定	57
外部モニター出力の設定	57
外部割り込みモードの設定	55
画質の調整	53
カメラ入力設定	56
画面の見かた	16、22、30、42、79
カントリコード設定を変更する	47
規格	102
基本接続図	91
グラフィック EQ の調整	45、62、68
繰り返し聴く	19、21、31、36
言語コード表	106
言語設定を変更する	47
故障かな?と思ったら	99
コマ送り / 戻し再生 (DVD / ビデオ CD)	26
コントラストの調整	53

さ 行

サーチ機能	39
サーチポジションメモリー	34、38
再生中止 (DVD / ビデオ CD)	25
再生停止 (DVD / ビデオ CD)	25
サイマル機能	40
サウンドセットアップショートカット	12
サウンド調整 (IMPRINT)	66
サブウーハー接続	43
サブウーハーレベル調整	43
サブタイトル (字幕言語) 切りかえ	29
サブディスプレイ	9
サブディスプレイ表示について	87
サウンド調整 (外部オーディオプロセッサ)	59
時間表示の設定	54
システムアップの例	93
システムスイッチ	90
視聴規制を設定する	48
自動着信の設定	78
字幕言語の設定	47
照光ボタンの明るさ調整	54
照光ボタンの色をかえる	58
ショートカット画面	12
スローモーション再生 (DVD / ビデオ CD)	26
静止する	26
セットアップ	42
操作音設定	54
ソース選択画面	11

た 行

タイムコレクションの設定	44、62、68
ダイレクト UP/DOWN	34、38
ダイレクトサーチ	33、38
ダイレクトメニュー操作 (DVD)	23
ダウンミックスモード	50
タッチスイッチ操作について	11
タッチパネルの調整	54
地上デジタルテレビ	86
着信履歴	80
ウィーター設定 (IMPRINT)	69
ディスクスロットインジケータ	9

ディスタンスモード.....	16
ディスプレイ	9
ディスプレイの明るさ調整	53
ディスプレイの角度調整	51
ディフュージョン設定.....	45
デジタルアウトの設定	58
デジタル出力設定.....	48
デモンストレーション機能	54
電源の ON/OFF.....	10
電話帳	80
電話を受ける	79
電話をかける	80
電話を切る	80
道路交通情報	17
時計を調整する.....	15
時計を表示する.....	54
トラフィックインフォメーション.....	17
取り扱い上のご注意.....	3
取り付けと接続.....	89
トレブル調整	43

な 行

ナビゲーション音声の割込み設定.....	57
ナビゲーションモードを設定する.....	56

は 行

パスキー	76
パスコード	76
バス調整	43
パスワードを変更する	48
バックライトの最低レベルを調整する	53
発信履歴	80
パラメトリック EQ の調整	45、63、67
バランス調整	43
ハンズフリー電話 / オーディオ機器を登録する	76
ハンズフリー電話について	79
表示輝度の調整.....	52
表示モード.....	40
ファームウェアバージョン確認.....	79
ファームウェアバージョンのアップデート	79
ファンクションガイド.....	53
フェダー調整	43
フォントバック表示色を切りかえる.....	53
不在着信履歴	80
プリセット	16、46、65、70
ペアリング	76、77、78、80
ポータブルオーディオプレーヤーについての ご注意	6

ポータブルオーディオプレーヤーを 接続する	14、97
ボーナスグループを再生する	50
保証について	103
本体キーの名称.....	9

ま 行

マニュアルモード.....	16、66
ミックス	18、20、36
ミュート	15
メインディスプレイ	9、10、11、52
メニュー言語の設定.....	47
メニュー操作 (DVD)	23

ら 行

リアエンター	39
リアカメラの映像	85
リアカメラの操作.....	85
リセットする	9
リダイヤル機能.....	81
リピート	19、21、31、36
リピート再生 (DVD / ビデオ CD)	27
ローカルモード.....	16
ロータリーエンコーダー / Audio Mode / MUTE.....	9

アルファベット

Albums.....	31、37	Episodes	31
Artists.....	31、37	Fader	42、43
Audiobooks	31	File Play Mode.....	46、50
Audio Language.....	46、47	FLAT ボタン	9
Audio Setup.....	42	General Setup.....	54
Auto Memory.....	17	Genres	31、37
Auto Scroll.....	54	H.P.F.....	42、45
AUX1 IN.....	57	HPF の設定	45
AUX2 IN.....	57	Illumi Color	55、58
AUX Out.....	57	IMPRINT セットアップ.....	66
Balance	43	IMPRINT 操作.....	66
BAND/TRF ボタン.....	9	IN Int.Icon.....	55
BANK 機能 (USB メモリ).....	35	IN Int.Mute.....	55
Base Color.....	53	iPod/iPhone についてのご注意	6
Bass	43	iPod/iPhone を接続する	13
Bass Focus.....	60	Live Contrast.....	51、52
Beep	54	Local.....	16
BLACK OUT	41	M.I.X.....	18、20、30、36
BLUETOOTH SETUP	77	M.I.X. ALBUMS.....	31
BLUETOOTH 接続設定	58	M.I.X. ALL.....	31、36
BLUETOOTH 操作.....	76	M.I.X. All.....	31
BLUETOOTH パスキー	76	M.I.X. FOLDER.....	36
Bright	52	M.I.X. ONE.....	36
Camera IN.....	56	M.I.X. SONGS	31、36
Clock.....	54	Manual	16
Clock Mode	54	Menu Language	46、47
Color	52	MP3/WMA/AAC について.....	108
Composers.....	31、37	MP3/WMA/AAC のご注意 (USB メモリ)	6
Contrast.....	53	MP3/WMA のご注意 (ポータブルオーディオプレーヤー)	6
Country Code.....	46、47	MultEQ とは	66
Defeat.....	42、45	MultEQ の ON/OFF.....	66
Demonstration.....	54	MX モード.....	44、60、67
Digital Out Mode.....	46、48	Nav. IN	55、56
Dimmer	51、53	NAV. LEVEL 調整	44
Display Setup.....	51	Nav. Mix.....	55、57
DivX について	107	Nav. Mix Level.....	42、44
Downmix Mode	46、50	OPEN/CLOSE ボタン	9
DVD Play Mode	46、51	Parental.....	46、48
DVD Setup.....	46	PBC.....	46、51
DVD オーディオ再生モード	50	Playlists	31、37
DVD セットアップ.....	46	Podcasts	31
DVD セットアップ画面	46	Pre Stop.....	25
DVD について.....	107	Radio Setup.....	51
DVD メイン画面.....	22	Radio セットアップ	51
DVD を再生する	22	REPEAT DISC.....	36、37
DX	16		

REPEAT FOLDER.....	36、 37
REPEAT ONE.....	31、 36、 37
Screen Alignment.....	51、 54
SETUP	54
Shuffle.....	30
Shuffle All.....	31
Songs.....	31、 37
Source Setup	46
SUBT. Language.....	46、 47
Subwoofer	42、 43
System Setup.....	55
Tilt.....	51
Tint.....	51、 53
Treble	42、 43
TRF.....	17
Tuner Condition	46、 51
TUNER(FM) 音質設定	51
TV スクリーン設定.....	50
TV Screen.....	46、 50
USB ケーブルを接続する.....	13
USB 端子についてのご注意.....	5
USB メモリについてのご注意.....	5
USB メモリを接続する.....	14
User Memory	51、 53
VISUAL ボタン	9
VISUAL EQ モード.....	52
VISUAL EQ モードを選ぶ（メーカー設定）	52
X-Over の 調整（IMPRINT）	69
X-Over の 調整（外部オーディオプロセッサ） ..	61
3WAY モード	73

MEMO

[illegible]

MEMO

お客様へ



このたびは、アルパイン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

充実したサポートとサービスのために是非お客様登録をお願いします。

アルパイン製品をご購入いただいたお客様を対象にしたサポート・サービスをはじめ、アルパインサイトの様々なオンラインサービスをご利用いただけます。

詳しくは以下のサイトまで！

https://secure.alpine.co.jp/cras/reg_top.html

◆アルパイン個人情報保護方針◆

1. 個人情報の利用目的

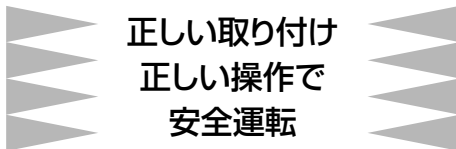
お客様の個人情報は、以下のような目的で利用されます。

- ・ 郵送及び電子メールによるお知らせやアンケートの発信。
- ・ アンケートのご回答やプレゼント応募に対する景品・商品等の発送。
- ・ お問合せに対する連絡・確認。

2. 個人情報の開示について

当社は、お客様からご提供頂いた個人情報を適切に管理します。当社は、以下のいずれかに該当する場合を除いて、お客様の個人情報を第三者に開示することは原則としていたしません。

- ・ お客様の同意がある場合。
- ・ お客様に明示した目的を実施するために、当社の業務委託先に開示する必要がある場合。尚、その場合当社は業務委託先に対して機密保持契約を締結する等の方法により、その業務委託先からの漏洩、再提供の防止を図ります。
- ・ お客様を識別することができない状態で開示する場合。



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL：0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
(一部回線でつながらない場合があります。)
＜携帯電話、IP 電話、光電話等ご利用のお客様用＞
TEL：048-662-6636



- 電話受付時間 9：30～12：00 13：00～17：30（土日、祝日、弊社休業日を除く）
- 電話は混雑が予想されます。FAX でのお問い合わせをおすすめします。
FAX：048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>
FAQ（よくあるご質問） <http://faq.alpine.co.jp>
アルパイン製品に関して、お客様からよくあるご質問と回答をご紹介します。

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in Japan (Y-720)

68-16909Z88-B